

令和2年度
浦安市児童育成クラブに係る評価事業
報 告 書

令和3年3月
浦 安 市

目次

第1章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像	1
1. 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の概要	2
2. 事業者自己評価の考え方	3
3. 利用者調査の考え方	9
4. 公表・フィードバックの考え方	12
第2章 令和2年度 児童育成クラブに係る評価結果	15
1. 調査の概要	16
2. 事業者自己評価の結果	17
3. 利用者調査の結果	23
4. クラブ別評価結果	33
資料	88
1. 令和2年度 事業者自己評価シート	89
2. 令和2年度 利用者調査	99

第 1 章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像

第1章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像

1. 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の概要

(1) 評価事業の目的

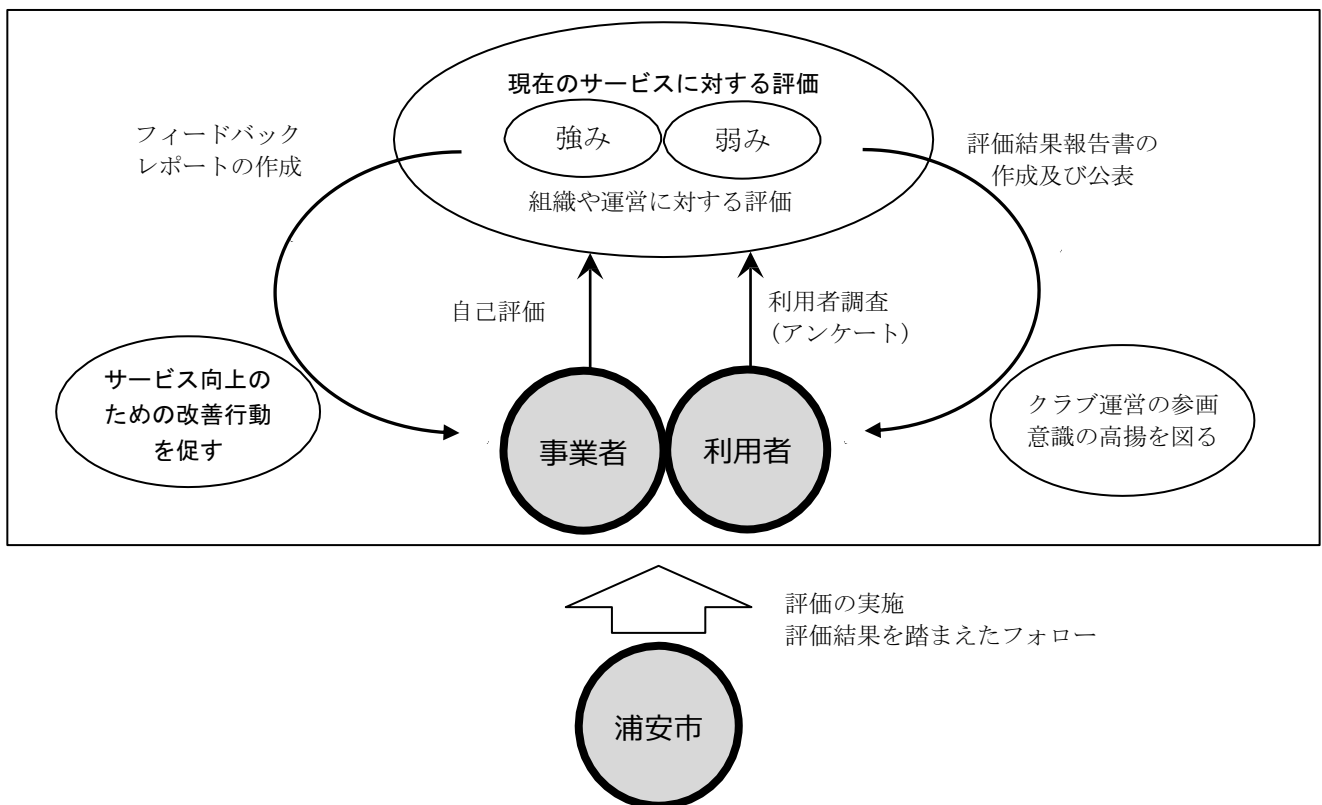
浦安市児童育成クラブに係る評価事業（以下、「本事業」と言う。）は、国が定める「放課後児童クラブ運営指針」の第7章3.（3）の「運営内容の評価と改善」にもとづき、児童育成クラブの運営について評価を行い、その結果をもとに運営の改善を進め、サービスの向上を図るとともに、これらを公表することにより、利用者から信頼される開かれた児童育成クラブを目指すものである。具体的には、次の目的を達成する。

- 各クラブにおけるサービスの強み（サービスの特徴）や弱み（改善の方向性）を洗い出し、運営事業者におけるサービス向上のための改善行動を促す。
- 利用者の声を吸い上げ、その結果を公表することにより、利用者のクラブ運営の参画意識の高揚を図る。

(2) 評価の仕組み

本事業では、児童育成クラブの運営事業者（以下、「事業者」と言う。）に対し事業者自己評価を、児童育成クラブの利用者（児童）とその保護者に対し利用者調査を実施することで、“事業者”と“利用者”の二者から見た評価を行った。

<本事業の全体イメージ>



2. 事業者自己評価の考え方

(1) 目的

事業者の職員がサービスの内容について振り返り、良い点、改善が必要な点を把握することを目的とする。

(2) 評価の対象

市内の児童育成クラブ 17 クラブに対して実施した。

※東小学校地区児童育成クラブは、1つのクラブであるが、評価結果は、本室と分室とで、分けて記載する。

(3) 事業者自己評価の実施方法

市が定めた事業者自己評価シートを使用して実施し、評価シートは、電子メールにより配布・回収した。実施方針については、以下のとおりである。

①事業者自己評価における客観性の確保

事業者自己評価を実施するにあたり、客観性を確保するために、事業責任者が単独で行うのではなく、可能な限り職員の参加による評価を行うことを前提とし、事業責任者およびサービスに関わる複数の職員、場合によっては全職員が相談をしながら評価を行い、評価シートに記入する方法を採用した。なお、ここでいう職員には、常勤者と同等にサービスに関わっている非常勤職員を含む。

<実施体制の例>

- ア. 幹部職員および一般職員による評価チームをつくり、自己評価を行う。
- イ. 通常の職員会議等の場を活用し、自己評価を行う。
- ウ. その他（ア、イ以外の方法で自己評価を行う）

②具体的な取り組みの事実に基づく評価

今回実施するこの事業者自己評価は、あくまで事業者の自己責任で実施するものであり、原則として、公開対象となっている項目は、記載内容をそのまま公表する。このため、事業者には具体的な取り組みの事実に基づいて評価を実施することを求めた。

(4) 事業者自己評価シートの構成

事業者自己評価シートの構成は、以下のとおりである。

①総合評価と事業プロフィール

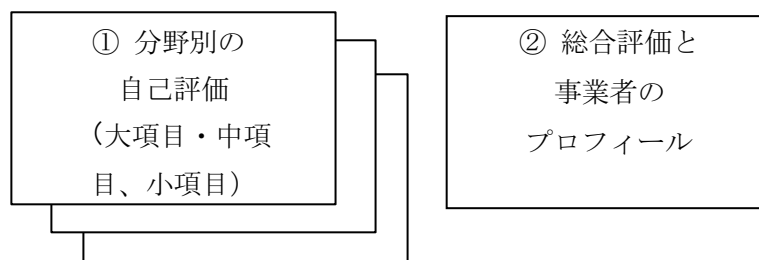
・総合評価

大項目のそれぞれについて総合的な評価を行う。大項目別の自己評価の結果に基づき、当該事業者の強みとサービス改善に向けた取り組みを具体的に記述し、大項目別に達成度を5段階で評価する。

・事業プロフィール

名称、所在地、連絡先、事業規模、サービスにあたって大切にしていることなど、当該事業の概要を記述する。

<事業者自己評価シートの構成>



②分野別の自己評価

大項目ごとに中項目、小項目を設定し、当該事業者の運営およびサービス提供について詳細な自己評価を行う。小項目ごとに設定された評価の視点（判断基準）と当該事業者における具体的な取り組みの事実を照らし合わせ、達成度を評価する。

(5) 評価項目

評価項目は、以下のとおりである。

大項目は 3 項目、中項目は 22 項目、小項目は 70 項目で構成される。

I 組織と運営

中項目 (6 項目)	小項目 (27 項目)
1 運営	① 理念・方針の職員への周知
	② 重要な意思決定時における職員や利用者への説明
	③ 職員が意見や提案を発言しやすい雰囲気づくり
	④ 利用者意見に対する適切な対応
	⑤ 利用者意向の事業計画への反映
	⑥ 全職員でのサービス改善への取り組み
	⑦ 市との連携や情報共有
	⑧ 学校との連携や情報共有
2 人事	① 職員研修の開催
	② 日常的な職員の意向把握
	③ 職員の適正な採用
	④ 職員の目標設定と達成度の評価
3 情報	① 指示・連絡・報告・相談の体制
	② 利用者の家族に対する定期的な情報提供
	③ 情報公開の仕組み
4 適正な会計事務の執行	① 現金取り扱ひの際の複数チェック体制の構築
	② 当施設の経費等の管理
5 危機管理	① 災害・緊急時の対策
	② 施設や設備の安全点検及び危険箇所への対処
	③ ケガや急病に対する救護対策
	④ 衛生管理（感染症の拡大防止）
	⑤ 衛生管理（食中毒の防止）
	⑥ ケガや事故の再発防止
6 個人情報保護	① 守秘義務の研修
	② 守秘義務のための取り組み
	③ 個人情報利用の利用者への説明
	④ プライバシーの確保

Ⅱ サービス提供のプロセス

中項目（7 項目）	小項目（18 項目）
1 利用希望者への対応	① 見学者の受け入れ、分かりやすい説明対応
	② 説明資料の読みやすさ
2 計画作成・見直し	① 子どもや保護者の意見を反映した計画作成
	② 利用書への計画説明及び同意
	③ 実施計画の定期的な見直し
3 サービスの標準化	① 個々のサービスに応じたマニュアル作成
	② 新人職員に対する実地指導
	③ 施設全体の底上げ
	④ 職員による児童や保護者対応の標準化
4 苦情解決	① 苦情の受付体制、職員への周知、サービスへの反映
	② 苦情の迅速な解決
	③ 苦情に関する情報共有
5 保護者に対するサポート	① 保護者からの相談対応
6 人権の尊重	① 虐待防止のための具体的な仕組み
	② 家庭等の虐待兆候の早期発見及び見守り
7 地域との連携・交流	① 施設外での活動範囲を広げるための取り組み
	② ボランティア・実習生に対する事前説明
	③ 関係諸機関・団体との連携のための取り組み

Ⅲ サービスの内容

中項目 (9 項目)	小項目 (25 項目)
1 基本原則	① 子どもの主体的な活動の援助
	② 子どもの状況や要望に応じた支援
	③ 提供したサービスの記録
2 コミュニケーション	① 子どもの自己決定の促進・受け止め
	② 子どもの人格や価値観を尊重した対応
3 相談等の援助	① 子どもからの相談対応
	② 子どもの生活状況の把握、職員間の情報共有、支援への反映
4 健康管理	① 適切な服薬管理
	② 子どものケガや急病時の対応及び報告
	③ アレルギー疾患への配慮
5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などに対する適切な対応
	② 専門家の協力を得た支援方法の工夫
6 活動	① 活動メニューの多様性や、子どもが選んで参加できる仕組み
	② 子どもが自由に遊べる時間の確保
	③ 学習活動を自主的に行える環境整備
	④ 子どもの豊かな人間関係が育つような配慮
	⑤ 互いに認め合い尊重し合える人間性が育つための支援
	⑥ 障がいのある子どもが活動する際の支援
7 おやつを提供	① 質の高いおやつの提供
	② 子どもの嗜好や成長に合わせたおやつの提供
	③ おやつを楽しむことが出来るような配慮
8 施設環境	① 子どもが快適に生活するための施設環境の配慮
	② 施設内の清掃・整理
	③ 安全に活動するための設備・備品への配慮
9 来所・帰宅	① 子どもひとりでの来所・帰宅に対する安全指導

(6) 事業者自己評価の基準

事業者自己評価は、下記の小項目の評価の視点（判断基準）を元にして、中項目と大項目の平均値を算出した。

◆小項目の評価の視点（判断基準）

[小項目の評価基準]

- 4 優れた取組が出来ている
- 3 おおむねできている
- 2 あまりできていない
- 1 まったくできていない

◆大項目は、平均値の値をもとに、下記のような基準により、4段階で評価した。

[大項目の評価基準]

- A = 大項目の平均値が 3.5 以上
- B = 大項目の平均値が 2.5 以上 3.5 未満
- C = 大項目の平均値が 1.5 以上 2.5 未満
- D = 大項目の平均値が 1.5 未満

◆小項目、中項目の評価点をつける中で気づいたこと、具体的な取り組みの事実などを勘案しながら、良いと思う点、改善が必要だと思う点について、コメントを記述できるようにした。

3. 利用者調査の考え方

(1) 目的

サービスについて利用者が日頃感じていることを把握し、サービス改善に向けた手がかりとしていくことを目的とする。

(2) 評価の対象

各児童育成クラブの利用者及び保護者を対象に実施した。

(3) 利用者調査の実施方法

インターネット経由で回答ができるWEBアンケートにより実施した。

「WEBアンケートによる回答方法」を、事業所から利用者へ直接配布し、記載されているURLもしくはQRコードからアクセスして回答していただいた。

(4) 調査項目

令和2年度の利用者調査における調査項目は、以下のとおりである。

調査項目	質問番号	質問事項
利用しているクラブの組織と運営について【◆保護者◆】	Q1	クラブの理念や方針について、保護者に十分な説明や情報提供がありましたか。
	Q2	支援員は、育成支援に関する専門的知識や技術を有していると思いますか。
	Q3	出席確認や不審者対応など、来所時や帰宅時の安全確保に向けた取り組みがなされていると思いますか。
	Q4	クラブ内の部屋について清掃・整頓が行き届いていると思いますか。
	Q5	支援員は、お子さんや保護者の個人情報の保護・取扱いに注意を払っていると思いますか。
	Q6	学校との連携や情報交換が適切に行われていると思いますか。
	Q7	Q1～Q6で、「いいえ」と回答した項目について、質問番号とその理由を記載してください。（自由記述）
サービス提供の手順について【◆保護者◆】	Q8	支援員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。
	Q9	あなたは、支援員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。
	Q10	連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。
	Q11	お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを支援員に相談しやすいですか。
	Q12	クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。
	Q13	Q8～Q12で、「いいえ」と回答した項目について、質問番号とその理由を記載してください。（自由記述）

調査項目	質問番号	質問事項
子どもの発達援助について【◆保護者◆】	Q14	支援員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。
	Q15	支援員は、遊びや生活を通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。
	Q16	支援員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に行える環境を整えていると思いますか。
	Q17	支援員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。
	Q18	季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。
	Q19	クラブにおける発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。
	Q20	支援員は、子どもの人権を尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。
	Q21	Q14～Q20 で、「いいえ」と回答した項目について、質問番号とその理由を記載してください。（自由記述）
新型コロナウイルス感染症対策について【◆保護者◆】	Q22	新型コロナウイルス感染症への対策を丁寧に行っていると思いますか。
	Q23	Q22 の評価をした理由を教えてください。（自由記述）
利用している児童育成クラブについて【◆保護者◆】	Q24	現在利用している児童育成クラブを総合的に見て、どのように感じていますか。
	Q25	Q24 の評価をした理由を記載してください。（自由記述）
サービス提供の手順及び発達援助について【◇児童◇】	Q26	クラブのおやつのはきはたのしみですか。
	Q27	クラブのへややトイレはきもちよくつかうことができますか。
	Q28	クラブはたのしいですか。
	Q29	クラブになかよしのともだちはいますか。
	Q30	クラブで、こまったことやいやなことがあったとき、クラブの先生は、どうしたらよいか、いっしょにかんがえてくれましたか。
	Q31	あなたのきもちやいけんをクラブの先生にじぶんでいうことができますか。
自由記述【◇児童◇】		じどういくせいクラブについてかんじていることを、なんでもかいてください。

(5) 利用者調査の基準

各質問について、利用者（児童）及び保護者が3段階で評価する。

回答結果を次のとおり点数換算し、全回答者の設問別平均点を算出する。

（-1点～1点の範囲）

[回答の判断基準]

1	は	い	（肯定的評価）	⇒	1点	換算	
2	どちらともいえない		（中間的評価）	⇒	0点	換算	
3	い	い	え	（否定的評価）	⇒	-1点	換算

◆設問別平均点を基に、次のテーマ別に平均点を算出する。その結果を基に、「テーマ別評価」を行う。

[評価区分]

評価者	テーマ	設問数	テーマ別平均点
◆保護者◆	利用しているクラブの組織と運営について	6問	-1点 }
	サービス提供の手順について	5問	
	子どもの発達援助について	7問	
◇児童◇	サービス提供の手順および発達援助について	6問	1点

[テーマ別評価の算出方法]

- | | | |
|---|-----------|---|
| A | 大変優れている | : 設問別平均点が全て 0.75 点以上 |
| B | 優れている | : テーマ別平均点が 0.5 点以上
(テーマ別評価Aとなる場合を省く) |
| C | 普通 | : テーマ別平均点が 0.0 点以上 0.5 点未満 |
| D | やや不十分である | : テーマ別平均点が -0.5 点以上 0.0 点未満 |
| E | 極めて不十分である | : テーマ別平均点が -0.5 点未満 |

4. 公表・フィードバックの考え方

(1) 評価結果の公表に関する考え方

① 評価結果の公表

事業者自己評価および利用者調査の結果は、「評価事業報告書」として、市のホームページ等で公表する。公表の範囲は、「クラブ・運営事業者のプロフィール」「運営事業者のサービス提供方針」「運営事業者による自己評価結果」「利用者による評価結果」をそれぞれ掲載する。

[公表フォームのイメージ]

令和2年度

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	
クラブの所在地	
クラブの連絡先	電話 FAX
当該クラブの運営開始日	
開設場所	
定員/現在の利用人数 (令和2年1月末現在)	
職員数 (令和2年1月末現在)	常勤 非常勤

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	
-----------------------	--

評価結果 ○○小学校地区児童育成クラブ

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

評価項目(大項目)	令和2年度	令和元年度
I 組織と運営	A	A
II サービス提供のプロセス	A	A
III サービスの内容	A	A

◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ	令和2年度	令和元年度
利用しているクラブの組織と運営について	B	B
保護者のサービス提供の手順について	B	B
子どもの発達援助について	B	B
児童サービス提供の手順及び発達援助について	B	B

児童育成クラブの利用者調査(設問別)

・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

サービス提供の手順について

II 児童の回答

子どもの発達援助について

サービス提供の手順及び発達援助について

児童育成

・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値と比べることで、運営面やサービスについて、4=優れた取り組みができています。

I. 組織と運営

III. サービスの内容

(2) 事業者へのフィードバックに関する考え方

① 事業者自己評価のフィードバック

事業者自己評価の結果については、サービスごとの全体集計結果と当該事業者の自己評価結果を対比できる資料を作成し、フィードバックする。これにより、事業者全体における当該事業者の位置づけが確認できる。

[事業者へのフィードバックレポートのイメージ (自己評価)]

令和2年度

事業者自己評価

小学校地区児童育成クラブ

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
 ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
 ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

評価項目(大項目)	令和2年度	令和元年度
I 組織と運営	A	A
II サービス提供のプロセス	A	A
III サービスの内容	A	A

児童育成クラブの自己評価(小項目評価)

・全クラブ平均もしくは前年度より低い値に網かけを入れています。
 ・各クラブの小項目の評価点と全クラブの平均値、令和2年度における評価点を示しています。
 ・評価:4=優れた取組ができて、3=おおむねできて、2=あまりできていない、1=まったくできていない

大項目	中項目	小項目	自己評価	全クラブ平均	R1年度	
I 組織と運営	1 運営	① 理念・方針の職員への周知	4	3.4	4	
		② 重要な意思決定時における職員や利用者への説明	3	3.6	4	
		③ 職員が意見や提案を発言しやすい雰囲気づくり	4	3.6	4	
		④ 利用者意見に対する適切な対応	4	3.7	4	
		⑤ 利用者意向の事業計画への反映	4	3.5	4	
		⑥ 全職員でのサービス改善への取り組み	4	3.8	4	
	2 人事	①				
		②				
		③				
		④				
		⑤				
		⑥				
3 情報	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
4 適正な会計事務の執行	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
5 危機管理	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
6 個人情報保護	①					
	②					
	③					
	④					

II サービス提供のプロセス

・各クラブの中項目の平均値と全クラブ平均値と比べることで、運営面やサービス提供の取組ができています。

・各クラブの中項目の平均値と全クラブ平均値と比べることで、運営面やサービス提供の取組ができています。

・評価:4=優れた取組ができて、3=おおむねできて、2=あまりできていない、1=まったくできていない

大項目	中項目	小項目	自己評価	全クラブ平均	R1年度
II サービス提供のプロセス	1 利用者希望者への対応	① 見学者の受け入れ、分かりやすい説明対応	4	3.8	4
		② 説明資料の読みやすさ	4	3.8	4
		③ 子どもの保護者の意見を反映した計画作成	4	3.7	4
	2 計画作成・見直し	① 利用者への計画説明及び同意	3	3.5	4
		② 実施計画の定期的な見直し	4	3.6	3
		③ 個々のサービスに応じたマニュアル作成	4	3.5	4
	3 サービスの標準化	① 新人職員に対する実地指導	4	3.4	4
		② 施設全体の底上げ	4	3.1	-
		③ 職員による児童や保護者対応の標準化	4	3.5	-
		④ 苦情の受付体制、職員への周知、サービスへの反映	3	3.6	3
	4 苦情解決	① 苦情の迅速な解決	4	3.9	4
		② 苦情に関する情報共有	4	3.7	4
③ 保護者からの相談対応		4	3.9	4	
5 保護者に対するサポート	① 虐待防止のための具体的な仕組み	4	3.5	4	
	② 家庭等の虐待発覚の早期発見及び見守り	4	3.9	4	
6 人権の尊重	① 施設外での活動範囲を広げるための取り組み	2	2.9	4	
	② ボランティア・実習生に対する事前説明	3	3.1	3	
7 地域との連携・交流	① 関係諸機関・団体との連携のための取り組み	4	3.6	4	
	②				
	③				

III サービスの内容

・各クラブの中項目の平均値と全クラブ平均値と比べることで、運営面やサービス提供の取組ができています。

・各クラブの中項目の平均値と全クラブ平均値と比べることで、運営面やサービス提供の取組ができています。

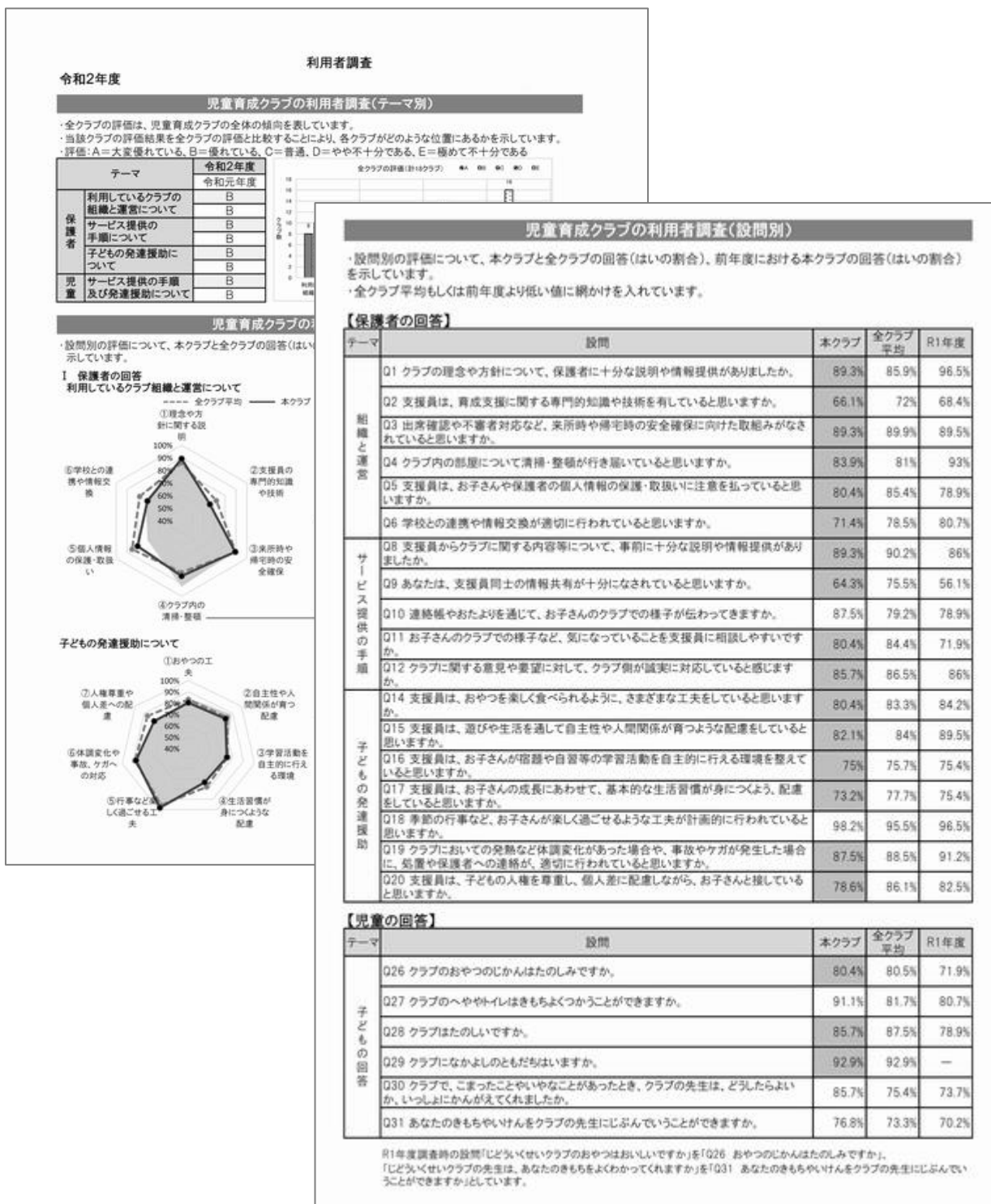
・評価:4=優れた取組ができて、3=おおむねできて、2=あまりできていない、1=まったくできていない

大項目	中項目	小項目	自己評価	全クラブ平均	R1年度
III サービスの内容	1 基本原則	① 子どもの主体的な活動の援助	4	3.8	4
		② 子どもの状況や要望に応じた支援	4	3.8	4
		③ 提供したサービスの記録	4	3.9	4
	2 コミュニケーション	① 子どもの自己決定の促進・受け止め	4	3.8	4
		② 子どもの人格や価値観を尊重した対応	4	3.8	4
	3 相談等の援助	① 子どもからの相談対応	4	3.8	4
		② 子どもの生活状況の把握、職員間の情報共有、支援への反映	4	3.8	4
	4 健康管理	① 適切な服薬管理	4	3.7	4
		② 子どものケガや急病時の対応及び報告	4	4.0	4
		③ アレルギー疾患への配慮	4	3.7	4
	5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などに対する適切な対応	4	3.8	4
		② 専門家の協力を得た支援方法の工夫	3	3.6	4
6 活動	① 活動メニューの多様性や、子どもが選んで参加できる仕組み	3	3.5	4	
	② 子どもが自由に遊べる時間の確保	4	4.0	4	
	③ 学習活動を自主的に行える環境整備	4	3.8	4	
	④ 子どもの豊かな人間関係が育つような配慮	4	3.8	4	
	⑤ 互いに認め合い尊重し合える人間性が育つための支援	4	3.6	4	
	⑥ 障がいのある子どもが活動する際の支援	4	3.8	4	
7 おやつ提供	① 質の高いおやつ提供	3	3.6	4	
	② 子どもの嗜好や成長に合わせたおやつ提供	4	3.6	4	
	③ おやつを楽しむことが出来るような配慮	4	3.9	4	
8 施設環境	① 子どもが快適に生活するための施設環境の配慮	4	3.8	3	
	② 施設内の清掃・整理	4	3.8	4	
	③ 安全に活動するための設備・備品への配慮	4	3.8	4	
9 来所・帰宅	① 子どもひとりでの来所・帰宅に対する安全指導	4	3.9	4	

②利用者調査結果のフィードバック

利用者調査の結果については、当該事業者の項目別・分野別に見た利用評価が分かる資料を作成し、フィードバックする。ただし、個人情報や、サンプル数および回収数が極端に少なく、利用者が特定される可能性のある場合は、非公開とする。

[事業者へのフィードバックレポートのイメージ（利用者調査）]



第2章 令和2年度児童育成クラブに係る評価結果

第2章 令和2年度児童育成クラブに係る評価結果

1. 調査の概要

(1) 事業者自己評価

①目的	事業所の職員がサービスの内容について振り返り、良い点、改善が必要な点を把握することを目的とする。
②対象	市が設置する児童育成クラブ17クラブ
③期間	令和3年1月20日(水)～令和3年2月10日(水)
④方法	事業者自己評価は、市が定めた事業者自己評価シートを使用して実施し、評価シートは、電子メールにより配布・回収した。

(2) 利用者調査

①目的	サービスについて利用者が日頃感じていることを把握し、サービス改善に向けた手がかりとしていくことを目的とする。
②対象	市が設置する児童育成クラブの利用者(児童)及び保護者
③期間	令和3年1月20日(水)～令和3年2月11日(木)
④方法	インターネット経由で回答ができるWEBアンケートにより実施した。 「WEBアンケートによる回答方法」を、事業所から利用者へ直接配布し、記載されているURLもしくはQRコードからアクセスして回答していただいた。

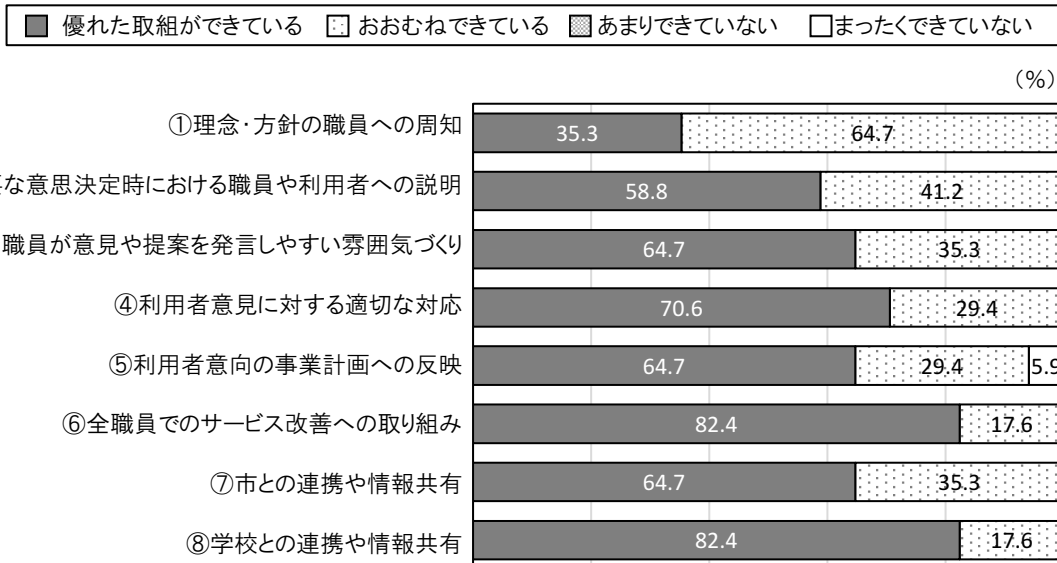
No.	児童育成クラブ名	事業者調査	利用者調査		
		回収状況	配布数	回答数	回答率
1	浦安小学校地区児童育成クラブ	○	73	56	76.7%
2	南小学校地区児童育成クラブ	○	168	134	79.8%
3	北部小学校地区児童育成クラブ	○	165	91	55.2%
4	見明川小学校地区児童育成クラブ	○	114	71	62.3%
5	富岡小学校地区児童育成クラブ	○	76	60	78.9%
6	美浜南小学校地区児童育成クラブ	○	70	53	75.7%
7	東小学校地区児童育成クラブ本室	○	113	83	73.5%
	東小学校地区児童育成クラブ分室	○	78	58	74.4%
8	舞浜小学校地区児童育成クラブ	○	149	91	61.1%
9	美浜北小学校地区児童育成クラブ	○	41	31	75.6%
10	日の出小学校地区児童育成クラブ	○	109	73	67.0%
11	明海小学校地区児童育成クラブ	○	94	69	73.4%
12	高洲小学校地区児童育成クラブ	○	120	79	65.8%
13	日の出南小学校地区児童育成クラブ	○	114	79	69.3%
14	明海南小学校地区児童育成クラブ	○	65	45	69.2%
15	高洲北小学校地区児童育成クラブ	○	93	63	67.7%
16	東野小学校地区児童育成クラブ	○	107	78	72.9%
17	入船小学校地区児童育成クラブ	○	135	101	74.8%
合計		17クラブ	1884	1315	69.8%

2. 事業者の自己評価の結果

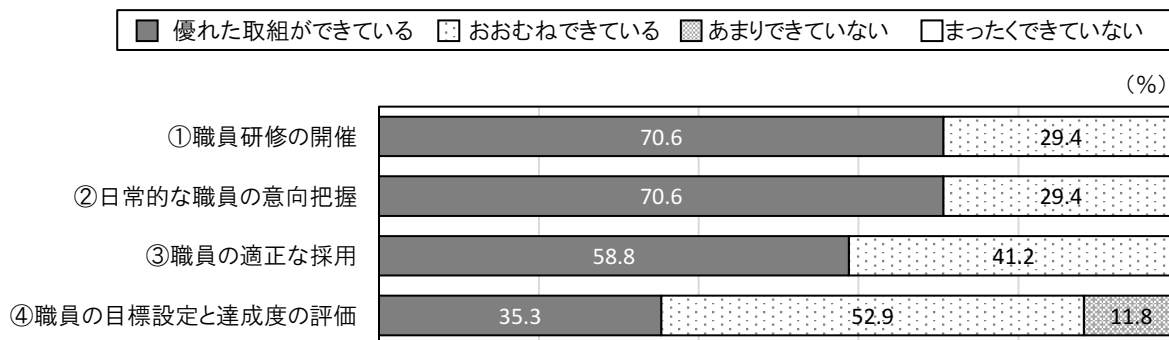
事業者自己評価について、全 17 クラブの単純集計の結果は以下のとおりである。

(1) 組織と運営

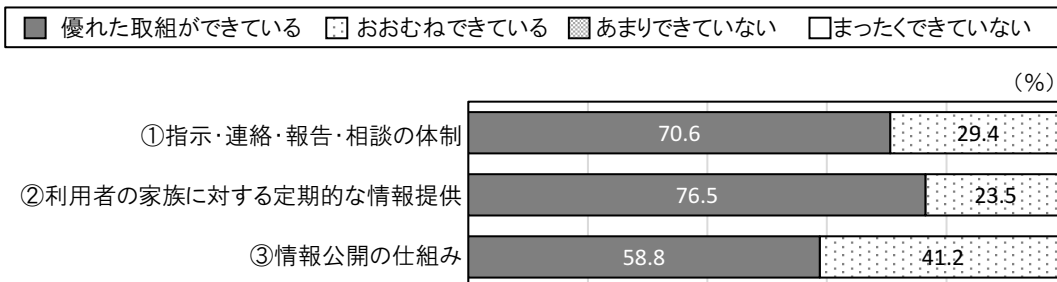
①運営



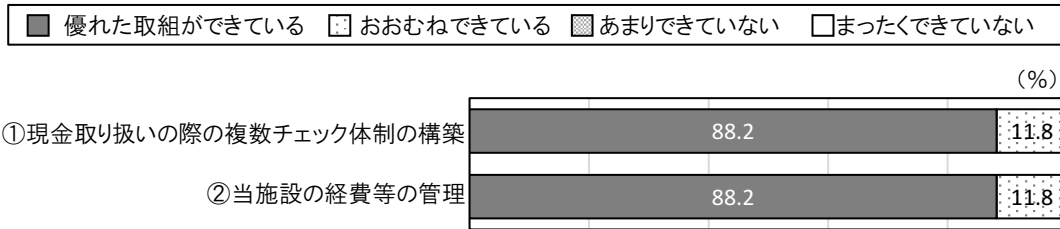
②人事



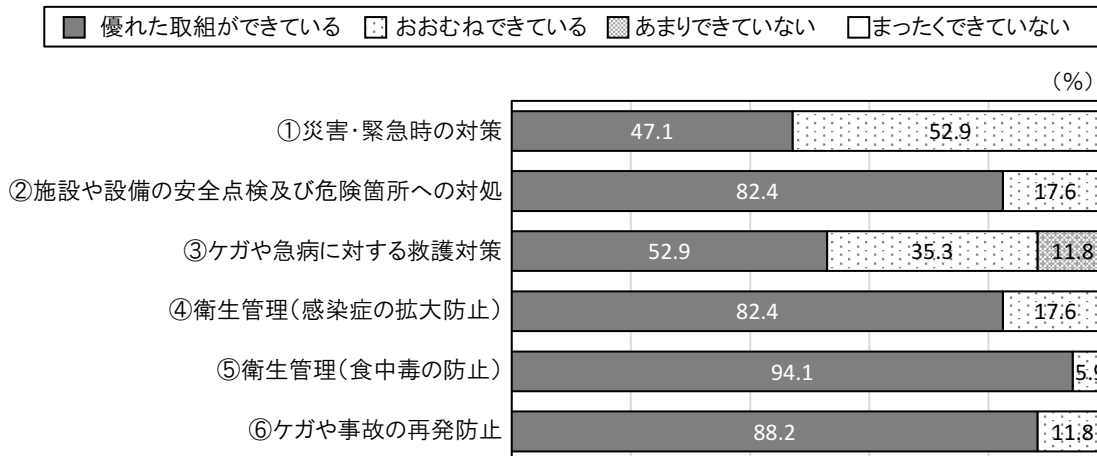
③情報



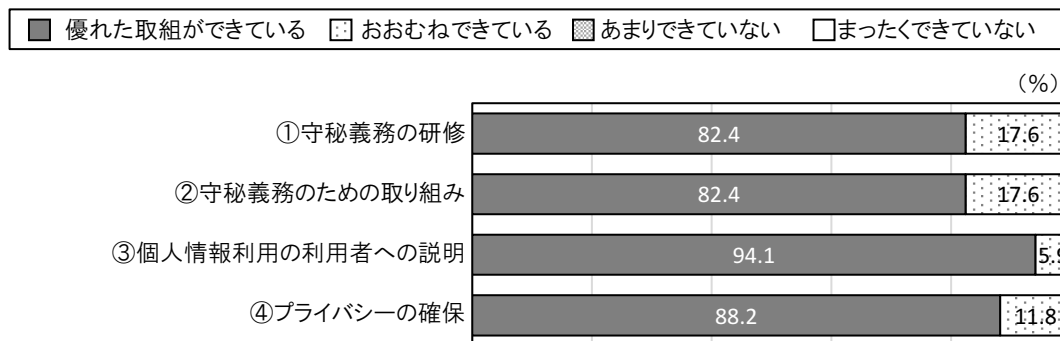
④適正な会計事務の執行



⑤危機管理

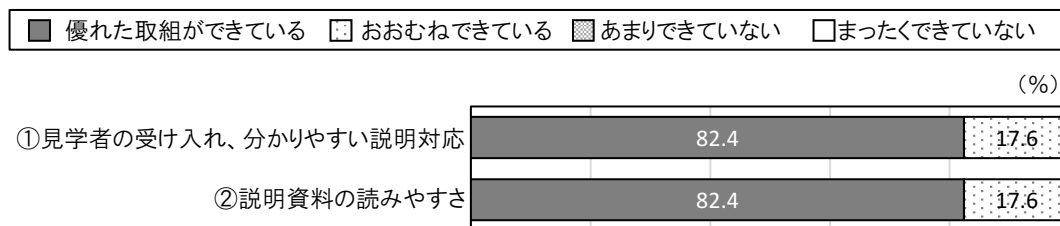


⑥個人情報保護



(2) サービス提供へのプロセス

①利用希望者への対応



②計画作成・見直し

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

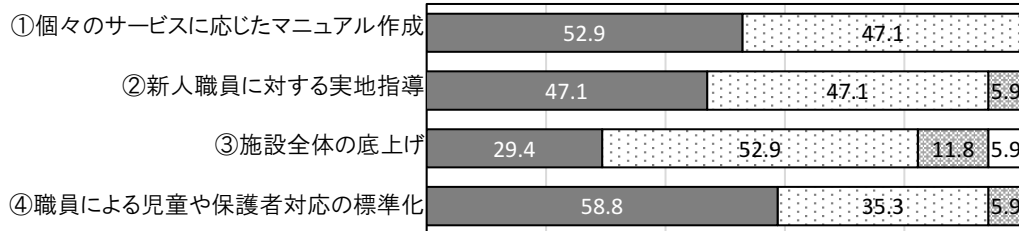
(%)



③サービスの標準化

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

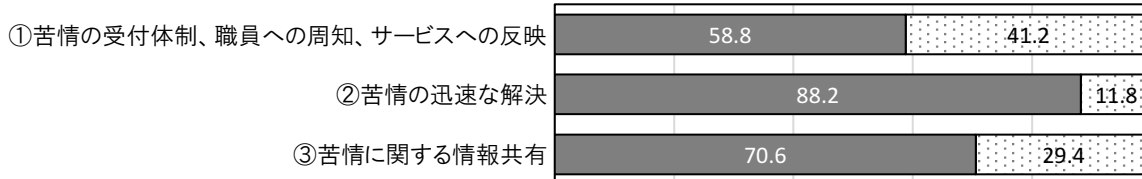
(%)



④苦情解決

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

(%)



⑤保護者に対するサポート

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

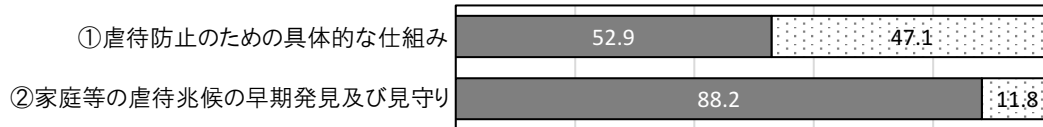
(%)



⑥人権の尊重

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

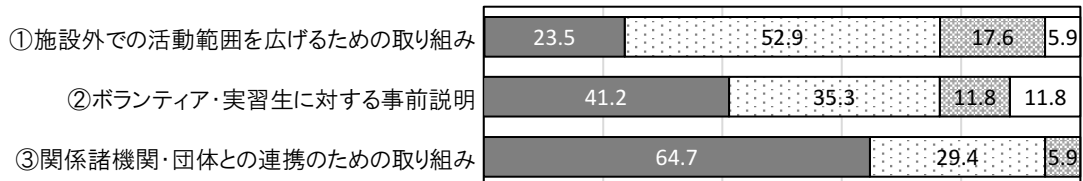
(%)



⑦地域との連携・交流

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

(%)

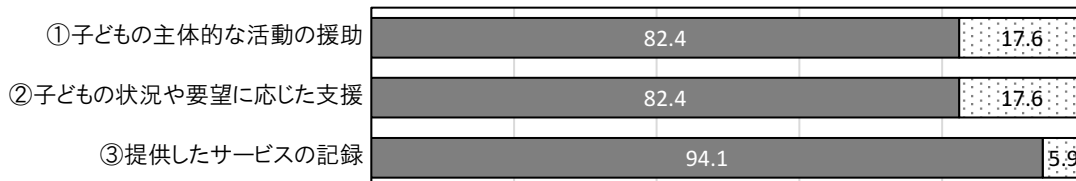


(3) サービスの内容

①基本原則

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

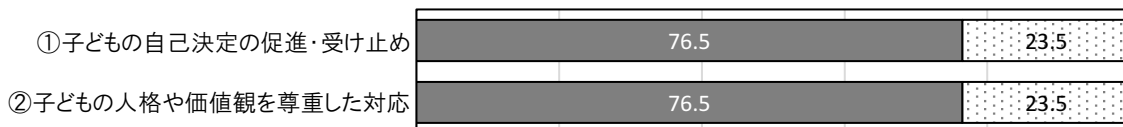
(%)



②コミュニケーション

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

(%)



③相談等の援助

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

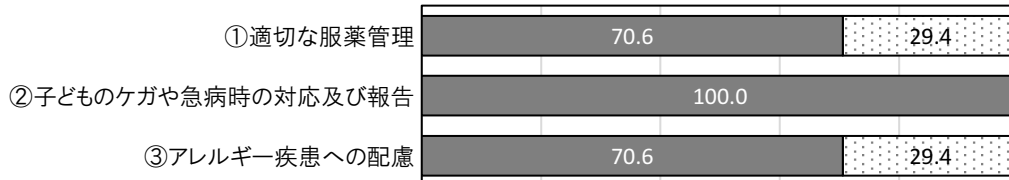
(%)



④健康管理

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

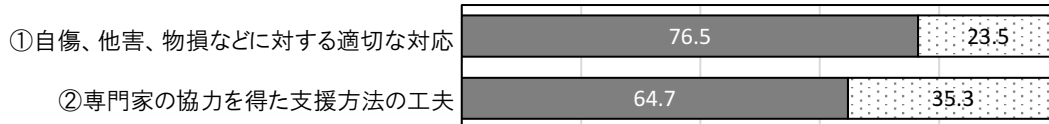
(%)



⑤自傷他害への対応

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

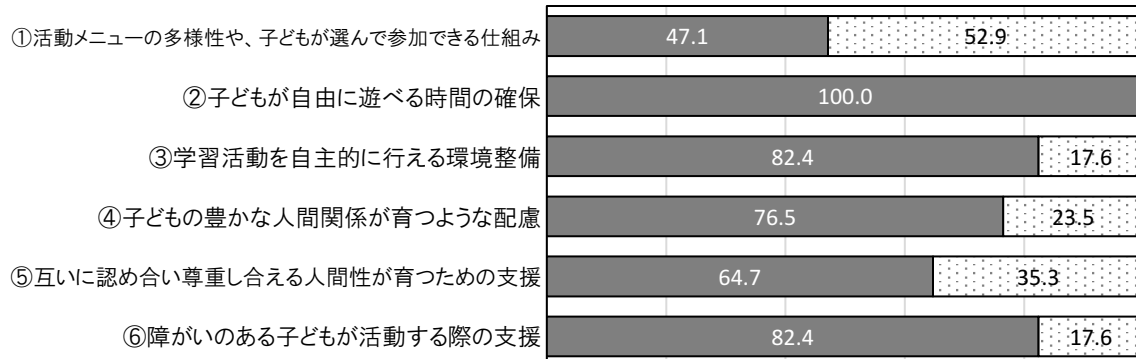
(%)



⑥活動

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

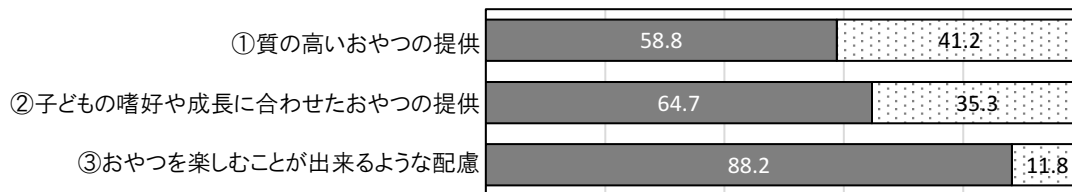
(%)



⑦おやつを提供

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

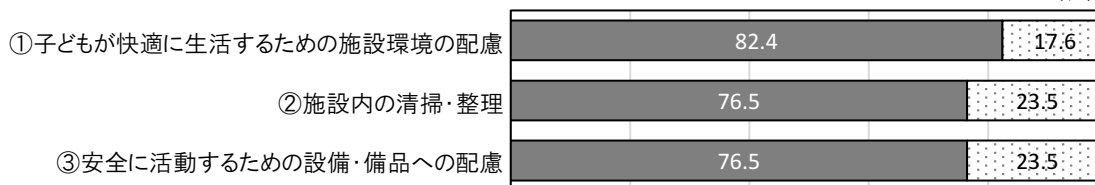
(%)



⑧施設環境

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

(%)



⑨来所・帰宅

■ 優れた取組ができている □ おおむねできている ■ あまりできていない □ まったくできていない

(%)

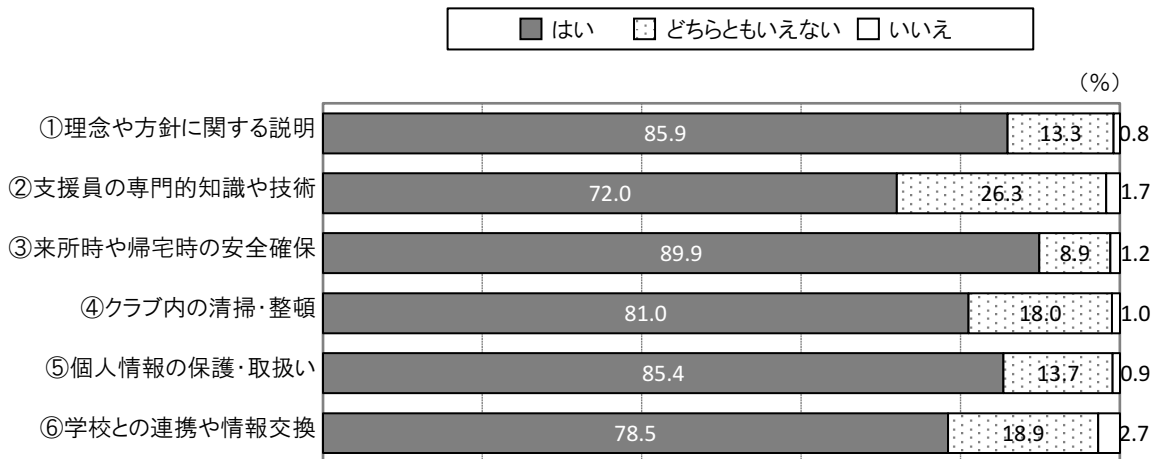


3. 利用者調査の結果

利用者調査について、全回答者の単純集計の結果は以下のとおりである。

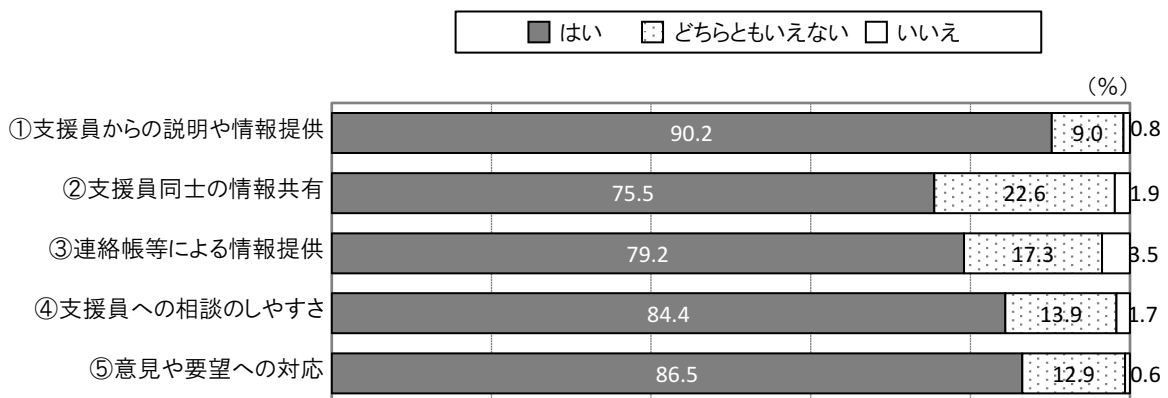
(1) 利用しているクラブの組織と運営について

【保護者の回答】 回答者数：1315件



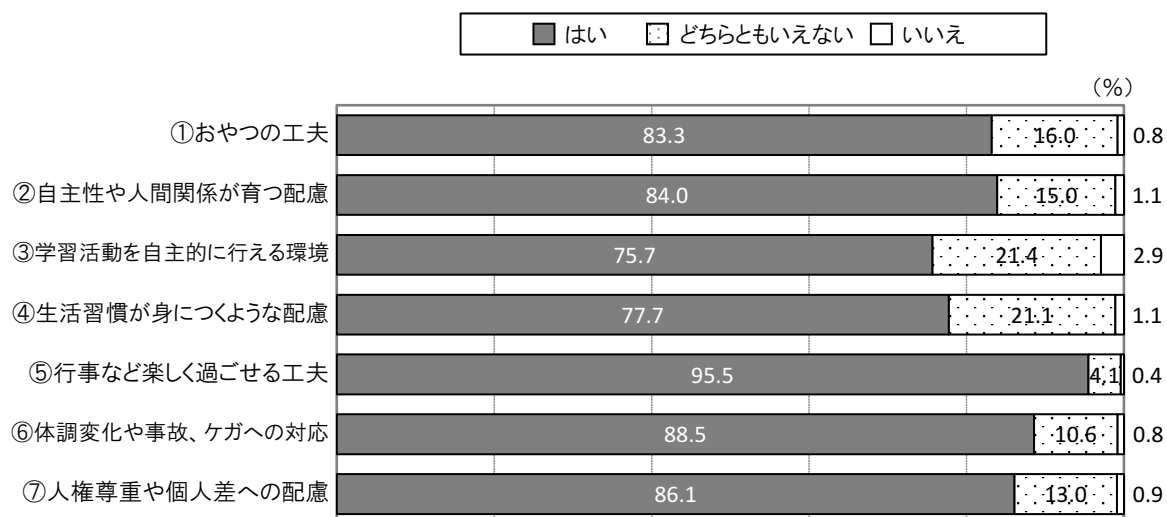
(2) サービス提供の手順について

【保護者の回答】 回答者数：1315件



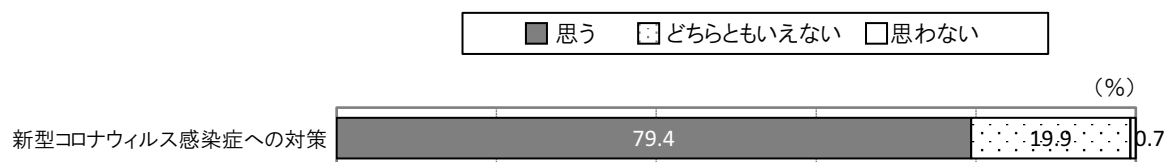
(3) 子どもの発達援助について

【保護者の回答】 回答者数：1315件



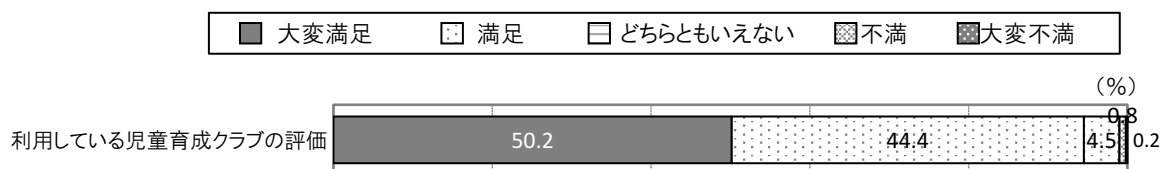
(4) 新型コロナウイルス感染症対策について

【保護者の回答】 回答者数：1315件



(5) 利用している児童育成クラブの評価について

【保護者の回答】 回答者数：1315件



<新型コロナウイルス感染症対策についての評価の理由（自由回答）>

「1. 思う」の理由

	理由	件数
1	基本的な対策がされている(消毒薬の設置、マスク・手洗い徹底など)	198
2	密にならないように配慮(外遊びを増やす、パーティション設置など)	139
3	お便りやメールなどで連絡、説明してくれる	69
4	換気している	58
5	おやつやお弁当時の配慮(おやつ時のパーティション設置、私語禁止、おやつ前の手洗いうがいの徹底、提供方法など)	54
6	いつも清潔にされている	28
7	お迎えの仕方の配慮(敷地内に入らないなど)	18
8	子どもから聞いている	17
9	感染者が出ていない、クラスターが発生していない	13
10	スタッフの声掛けや心遣いがみられる	12
11	イベントの可否や内容に配慮	11
12	特に気になる点がない、問題を感じない	5
13	一度感染者が出たから。	2
14	学校と連携し、対処している	2
15	家庭で対応できる場合があるときには来ないようにこの呼びかけをしているが 対応できないときには気持ちよく受け入れてくれるところ	1
16	感染や免疫の仕組みを理解できない、制限を受け入れることもなかなか難しい年齢、しかも集団に具体的にしていよこと だめなことと代替案を示しているの。	1
17	思うと信じたいのみです	1
18	施設内で感染者が出た際に厳密に濃厚接触者の確認など対応されていたため。	1
19	実際学童に行く事は少ないのでわからないですが、子供が何も言いませんし楽しく学童に通えているようなので。	1
20	手紙等でテレワークの方に早めの帰宅を促したり、人数を少なくしようとする努力が感じられるから。	1
21	特に体調を崩すことなく元気に登所できているため	1
22	お迎えのやり方を早々に変更した(保護者が敷地内に入らないルールを作り、感染ルートを減らした)、保護者が在宅ワークをしている場合は延長を受け付けなくなった(感染リスクを減らすため)等	1
23	先生に感染者が出たときも子どもたちは長期休暇中だったにも関わらず一人も濃厚接触者にも該当しなかった。多数の子どもたちに目配りするのは大変なのに十分に気を付けてくださっていると感謝しています。	1

「2. どちらともいえない」の理由

	理由	件数
1	施設に入れない、見ていないので分からない	45
2	マスクをしていない、鼻が出ている子がいる	28
3	どんな対応をしているか分からない	27
4	お迎え時しか見ていないので分からない	8
5	子ども相手には限界があると思う	7
6	キャパシティ上、密になっていると思う	6
7	基本的な対策はしていると思う	6
8	1人帰りなので分からない	5
9	あまりクラブに行かせていないので分からない	4
10	お迎えの時に保護者が玄関で密集している	4
11	アルコール消毒が置いてない。	2
12	少し緩くなっているように思う	1
13	やったださっていると思いますが、そもそも学校も学童も対策に限界があると思っています。	1
14	雨の日など密を避けるため人数を抑える協力要請の連絡が来たり、換気などにも注意すると連絡もくるので良いと思う。一方、お迎えの時に同伴の下の子にご好意でおやつをいただくことがあります(下の子もそれを楽しみにしてありがたいのですが)個包装されてないものをくださることが稀にあったので、(子供の手が綺麗ではない場合があるので)それはラップなどに包んでもらえると嬉しいかったです。	1
15	学級閉鎖になってから、インターホンのところにアルコールを置くようになったが、本来もっと前から対応すべきだったと思う。	1
16	学校に比べると緩やかな対応と感じるため。	1
17	室内の拭きあげなど行っているのは見かけますが、迎えにきた保護者に対しても感染予防の協力をお願いしても良いと思う。	1
18	衝立のないテーブルで向かい合って遊ぶ、学習するのは不安。手指の消毒はどれほど子どもたちにさせているのかも聞いたことがない。	1
19	職員が、マスクをきちんとつけられていない場面を何度か見かけたため。	1
20	職員の布マスクが気になる。不織布マスクに統一してもらいたい。	1
21	生徒や保護者の入室時の消毒があると有り難いです。	1
22	積極的な案内はない	1
23	対策は不十分だと思う	1
24	対策をしていると分かるし、子供なので仕方がないと思うが、三密を防ぎきれていないと感じる場面を見るので。	1
25	大きな声を出して遊んでいる事が多々ある	1
26	定期的な換気、マスクの着用、手洗いの敢行、おやつ時間のついたての設置など考え得る対策と努力はされていると思うが、マスクの着用方法などは鼻が出たいたり児童により意識の差があること、クラブの活動中は児童同士の接触も避けられず充分かどうかは判断しかねる。	1
27	徹底を感じられない	1
28	特に可も不可もない	1
29	特に問題が起きていないので、対策や対応など目にする機会がないので。	1
30	入室の際のアルコールの消毒など学校で行われていることが実施されていない	1
31	遊ぶ時の座席や食べる時の工夫、子どもへの感染対策教育などは、とても良くしてくださっている。しかし、学年閉鎖をしていた学年の子も数名通所していたと、子どもが言っていた。本当だったら、ルール外のこともあるのかと心配。	1

「3. 思わない」の理由

	理由	件数
1	アルコール消毒がおいていない お迎え	1
2	コロナとは関係ないが、他児童の嘔吐物がかかった服をそのまま返却された。水洗いもされていなかった。感染に対しての対策がきちんと行われていないように感じる。	1
3	コロナ対策が十分とはとても言えない状況なので、思わないにチェックしましたが、小学生なので難しいと思います。	1
4	マスクをしているだけとしか思えないから。	1
5	子供たちの、マスク着用する、しないの自由度が高いように感じる。	1
6	対策をしているようには思えない。	1
7	野外でのマスクはすべきです。叫びながら遊ぶもんですから子供は。	1

<利用している児童育成クラブの評価の理由（自由回答）>

※長文の回答や個人情報に関する部分は省略や一部抜粋をして表記しています。

「1. 大変満足」の理由

	理由	件数
1	支援員の対応が良い	138
2	子どもが楽しく、安心して通っている	85
3	クラブの遊びやイベントなどの活動内容がよい	77
4	クラブに対していつも感謝している	50
5	クラブでの様子など情報が周知されている	11
6	子どもが楽しめるような工夫やサービス内容がよい	6
7	食事やおやつの内容がよい	4
8	特に不満なし	4
9	来年も続けたいと思うので。	1
10	こどもはとても楽しく通っておりますので、大変満足しております。もう少し、保護者への事務的な連絡がわかりやすい/配慮があると、より良いと思います。（この点に問題があると考えているわけではないのですが、昨年が、とても配慮がある紙面の説明だったり、お迎えのときにも自発的に説明して下さるなど、良すぎた対応だったこともあり、比較でのコメントとなっております。）人事について利用者が意見を言えるものではないのは理解しておりますが、大きく変更するのであれば、早めの伝達や引き継ぎ体制の説明など、安心できるような対応がされると良かったと思います。	1
11	フル勤務ではありませんが、預っていたかかないと実際困るので。	1
12	安全に過ごせればそれ以上の質は求めている。	1
13	先生方には感謝しかありません。子ども同士のトラブルがあった場合も、双方の話を聞き、上手く解決に導いて頂いたり、子どもに対する愛情が素晴らしいです。元々たくさんイベントがあり、毎日子どもが学童に行くのを楽しみにしていましたが、コロナ禍以降も、子どもが楽しめるイベントを計画して頂き、子ども達が楽しめることをたくさん考えてくれています。また、今の時代、なかなか高齢の方々と関わる機会も少ない中、近くの老人施設の方と交流させて頂く機会を作って頂いたり、いろいろな啓発活動にも積極的に取り組まれています。素晴らしいなと感心ばかりです。子ども達の希望を聞き、読みたい本を置いてくれたり、本当に子どもの事を第一に考えてくれています。	1
14	子供達に丁寧に向き合ってくれる 素晴らしい先生が大勢います。コロナ禍で土日に友達と公園で遊んだり、お出かけ出来ないこの時期、学童で遊ぶ時間が子供の成長に、とても貴重で重要な時間だと思っています。とても感謝しています。我が家の子供達3人通わせましたが、昔からいい先生が多いです。高校生になった子供も、今でも学童の先生達の事をとてもよく思っていますし、楽しかった思い出話を今も時々しています。	1
15	蔵書も多く、子供が本を読むのを楽しみに通っている。	1
16	本当に日本一素晴らしい学童だとおもいます。子供にも大人にも寄り添い、コロナ禍の困難な状況でも知恵をしばって楽しませてくれます。給食もおやつも工夫をこらしてくれて、学童に行くのがこんなにも楽しいんだということを教えてくれました。学童の姿勢に学ぶことがおおいです。こんなによい学童がたくさんできるとよいです。	1

「2. 満足」の理由

	理由	件数
1	子どもが楽しく、安心して通っている	78
2	支援員の対応が良い	64
3	クラブの遊びやイベントなどの活動内容がよい	58
4	クラブに対していつも感謝している	19
5	クラブでの様子など情報が周知されている	12
6	おやつの内容を改善してほしい(栄養面、量、味など)	11
7	特に不満なし	6
8	1年生の時の突発的な利用からお世話になっています。低学年、中学年の頃に学校の方で色々悩みが多い頃、学童という場所が支えになっていました。いまは生活も安定していることもあり、特別気になることはありません。	1
9	4-6年生の長期休暇中のみの利用が可能になるととても助かります。また、学童以外でも高学年の放課後の居場所(遊び場、自習室の確保など)確保など 子供の成長に合った施設、公共サービスの拡充を希望します。コロナ禍で児童センターや放課後クラブの利用時間が縮小され 夕方家に子供だけいる家庭が増えており心配です。学区ごとに高学年の居場所の確保をお願いしたいです。	1
10	クラブ自体に、疑問など、まったくありません。	1
11	コロナの影響で仕方ない部分はありますが、施設の中の様子がみられないため評価しづらい部分があります。	1
12	運営会社に過大な期待をしているのか	1
13	基本的なことでは不安や心配になるところがないから。よりよくという面では望むことはあるが、不満要因ではない。	1
14	言葉遣いや態度が荒くなって帰ってくることもあるので、そこは親として良くない環境だなと思ってしまう。	1
15	最近若い先生が多く、髪色が気になる方もいるため、大変満足とは言えない。	1
16	子ども達の為にしっかり対応して下さり、良い組織だと思います。個人的には、自分で身だしなみを整えられるように支援して欲しいです。	1
17	私は満足です。	1
18	人数が多い、下級生、指導員に対して威圧的な上級生が一部いるため	1
19	前述したセキュリティ面以外については大変満足しております。	1
20	知り得る範囲では満足しているから。	1
21	利用中の様子などを親が見る機会がなく、評価しようがないが、これといって不満はないから	1
22	まだ1年目ですが、コロナの関係で、就学前の利用説明も非常に簡単なものだったこと、また入室NGなので室内の様子は正直よくわかりません。先生とも、あまりゆっくり話す機会はありませんが、こどもは行くのを嫌がらないので楽しく過ごせる環境があること、また、宿題もやってくるので学習の環境が設けられているのだと思っています。	1

「3. どちらともいえない」の理由

	理由	件数
1	Q2と同じ理由です。(Q2 子供の気持ちを平気で傷付ける発言をする方が常駐されています。何度も子供が嫌な思いをしています。(若い女性の支援員さんです) 研修はされているのか? 疑問です。)	1
2	クラスや担任の先生によって全く違うと思うためどちらとも言えません。	1
3	基本的にはいい先生方で満足しています 子供達も学童でこんなことがあった、こんなおやつだった、こんなことができるようになったと色々話してくれて楽しそうに通っています ただ人数の関係かどうしても目が届かないところがあるので、ケンカやケガをしたところを直接見れてない時があります あと一人二人でも増えて、危なそうな時は早めに声がけできる体制だと安心感が増します(ケガをしている子を何度か見ますが、どの子も近くで見えていなかったからどういう状況かわからないと説明されたという時がありました)	1
4	コロナによる制限があることもありますので一概に言えませんが、前事業者のときの子供が楽しみにしていた取り組み(英語、メンコ大会、誕生日会など)の質が下がったと感じています。先生は親だけでなく兄弟関係まで把握されていましたが、現在は先生方もなかなか保護者の名前と顔が一致していない様子で信頼関係の構築までいきません。	1
5	運営の本部によって、現場イジメととれる交代劇があり、良いイメージがない。それでも、新しく来た若い支援員さんたちが頑張っているのはわかるので。施設長には信頼感はない。最初のイメージは払拭できない。	1
6	学年があがると、遊びや活動が合わなくなるのか、つまらなそう。コロナで大変だとは思いますが、工夫してイベントなどしてほしい。イベントなどの参加賞、プレゼントがいつも100円ショップのもので、うれしくない。	1
7	子どもがつまらないと言って、行きたがらないから。	1
8	子供があまり満足していない	1
9	子供が行きたがらない時もある	1
10	子供達がしていた先生を全員、異動させた事は、社会的な理由であれ、納得がいかなかった。	1
11	玄関の靴を履くスペースが狭いのか、フラットで汚い。	1
12	学童を休む際はおやつを持ち帰りをOKにして欲しい。コロナのため仕事休みのとき学童を休めと言ってるわりにおやつを持ち帰りが出来ないため、5000円払ってる意味がないと思う。	1
13	昨年の職員の皆さんの方が、きめ細やかで安心感があった。おやつの内容も健康的だったように思う。今年度は駄菓子が多い。	1
14	あまり接点がないので。	1
15	仕事している上で仕方ないから。選択肢がなかったため	1

「4. 不満」の理由

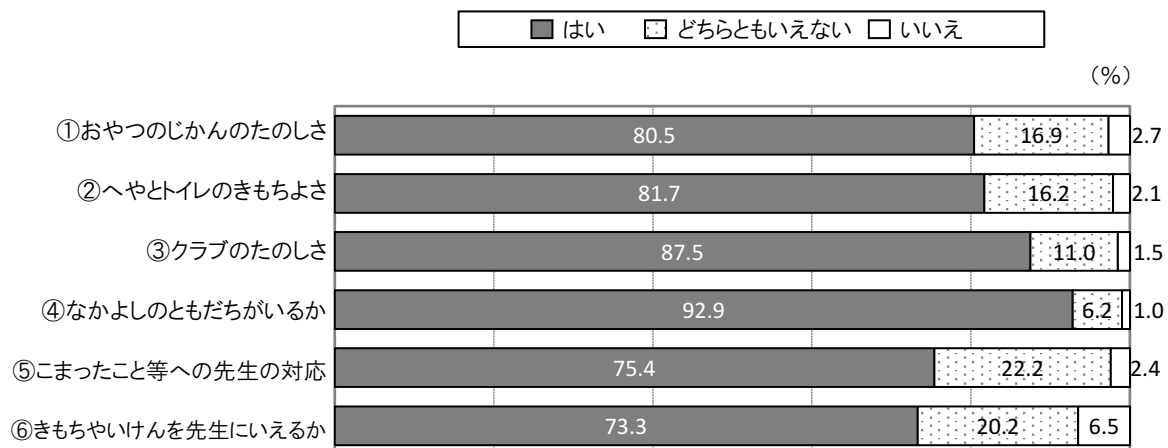
	理由	件数
1	親とのやりとりでは、無駄な事が多い 怒られ気味で注意される	1
2	責任者や幹部だけでも専門知識がある、頼りになる方を配してほしい。パートで以前からいる方は良い方なのかわかりますが、責任を担うのは、社員?の方らしいので。	1
3	先生がよく変わるので	1
4	児童がいけないことをしたときに上から睨みつけ、恫喝する。	1
5	子供があまり楽しそうではなくなったため	1
6	子供が喜んで行っていない 楽しくないという	1
7	保護者や子どもの事を優先せず、運営の方針? やり方を優先している様に感じる。	1
8	上履きを使用して欲しい 靴下が極端に汚い	1

「5. 大変不満」の理由

	理由	件数
1	責任者が不誠実で、子供に接して欲しくないと思うので。他の職員さんは丁寧に接して下さいます。	1

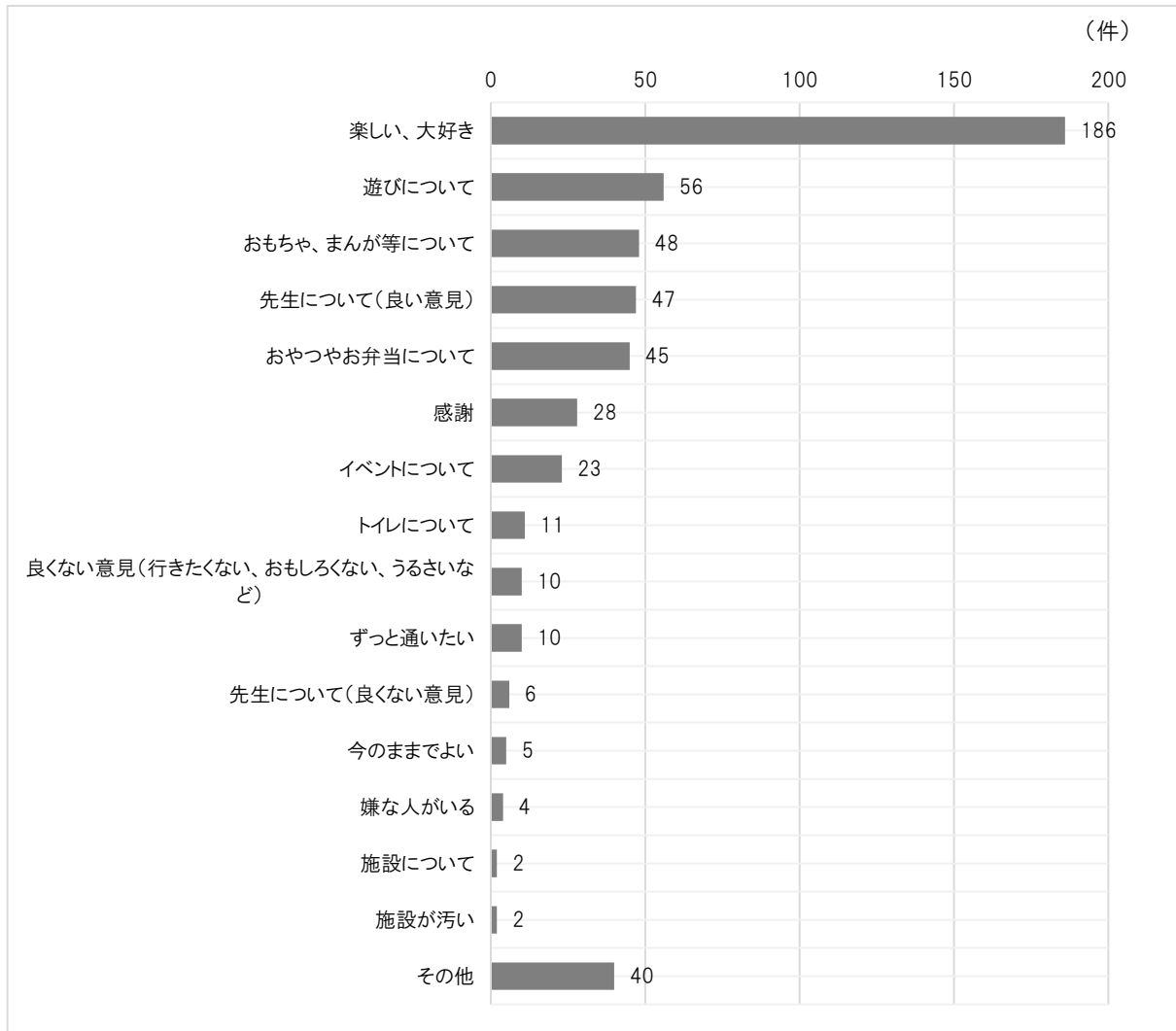
(6) サービス提供の手順および発達援助について

【児童の回答】 回答者数：1315件



クラブについてかんじていることを、なんでもかいてください。（自由回答）

【児童の回答】 回答者数：452件 ※複数回答のため合計件数は異なります。



4. クラブ別評価結果

評価結果

令和2年度

浦安小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社セリオ							
クラブの所在地		浦安市猫実四丁目6番29号							
クラブの連絡先		電話	047-351-1990	F A X	047-351-1990				
当該クラブの運営開始日		平成 29年 4月 1日							
開設場所		小学校敷地外							
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)		定 員		114人		利用者数		77人	
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	7人	うち、男性		4人	うち、女性		3人
		有資格者数		保育士	1人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭	2人
	非常勤	職員数	14人	うち、男性		1人	うち、女性		13人
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園 教諭	1人	幼稚園以 外の教諭	1人

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	児童、保護者共に安心、安全に利用できるように安全管理に務めている。児童一人一人がおりのまま受け止められ、楽しい、また来たいと感じてもらい、児童が主体的に通ってこれるクラブにするために職員が一丸となりサービスの向上に努めている。特に児童の自己肯定感を高くむ取り組み、お便り、保護者との関係を大切にし、児童、保護者、職員が一体となったクラブ運営を目指している。そして、職員も自己実現ができ楽しむことができるような環境作りを心掛けている。
-----------------------	--

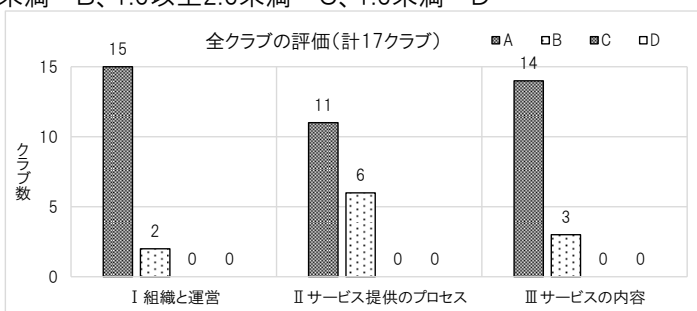
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I ・ 組 織 と 運 営	1 運営	運営本部だけでなく、学校との定例会を通して各関係機関との日頃の関係づくりや連携に努めている。保護者アンケートや利用者調査の結果を次年度の運営改善にいかしている。怪我の大小にかかわらず所定のフォーマットに記入して保護者にも報告を必ず行っている。	保護者会や運営協議会の開催方法を検討して、運営についての説明の場を設けていく必要がある。年度当初に各職員の目標設定を行い、年度途中に面談を行い進捗を確認していく。コロナウイルス感染症の流行の状況顧慮しながら施設外の活動や外部講師を招くなど検討していきたい。
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
II ・ サ ー ビ ス の 提 供 方 針	1 利用希望者への対応	職員会議にて施設内研修を行い職員の保育技術の向上に努めている。また、各種マニュアルや業務チェックリストを整備するとともに、打ち合わせや毎日の振り返りのなかでの指導や助言を行い職員育成に力を入れている。	保護者を招いての運営協議会や保護者会を開催できなかったため、今後のコロナウイルス感染症の流行の状況を見極めながらオンライン配信するなどの方法を検討する必要がある。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III ・ サ ー ビ ス の 内 容	1 基本原則	お便りに力を入れ、クラブや児童の様子を全家庭に具体的に伝え、よりクラブの様子を知ってもらえるようにしている。火おこしなど他施設にはないようなプログラムを実施したり、実行委員制による児童の手によりイベントの企画を行っている。いいこと発表など児童の自己肯定感や他者への関心が育つような取り組みを行っている。	コロナウイルス感染症の流行のため、おやつや行事を縮小せざるをえなかった。withコロナの観点で、この状況でもできる行事計画を充実させていく必要がある。 職員会議、研修、OJTを通してひとりひとりの保育スキルの向上に努めている。 配慮が必要な児童への支援方法について、一人一人が専門性を高めるとともに、職員会議にてよりよい支援方法を全員で検討していく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

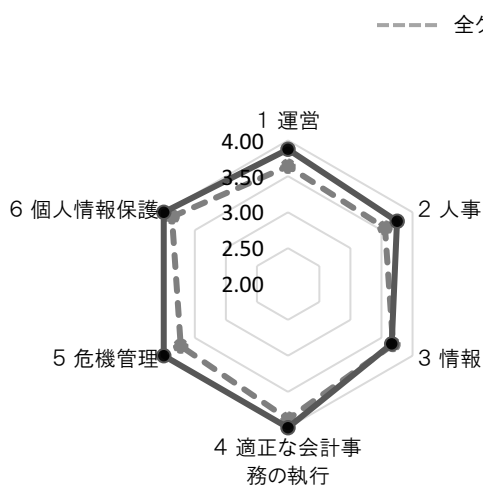
評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II. サービス提供のプロセス	A
III. サービスの内容	A



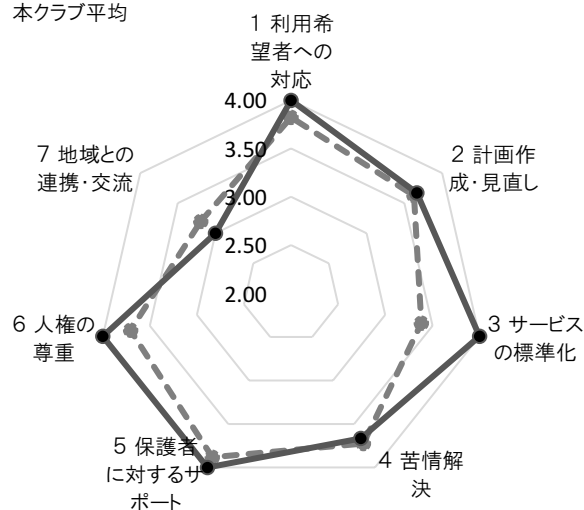
児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

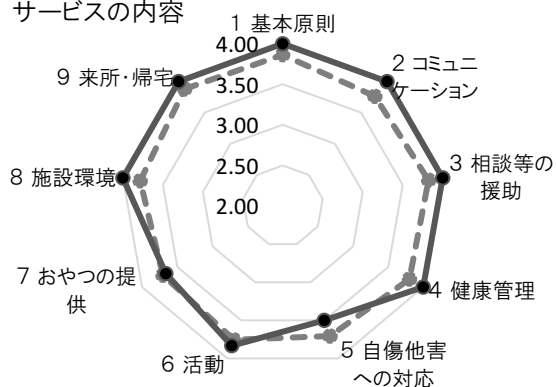
I. 組織と運営



II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

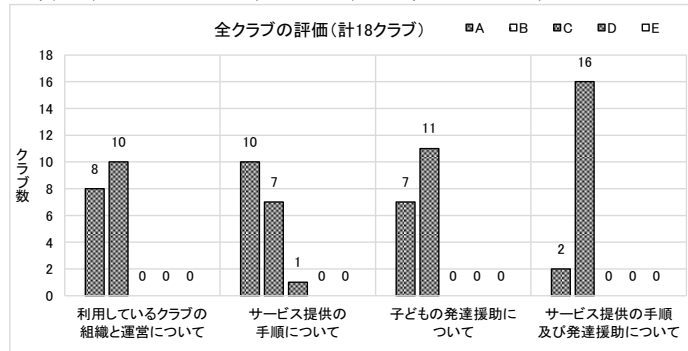


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B
	サービス提供の手順について	B
	子どもの発達援助について	B
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B

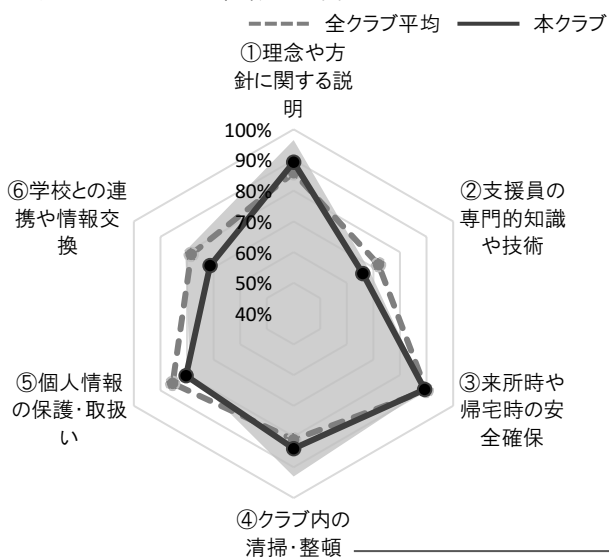


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

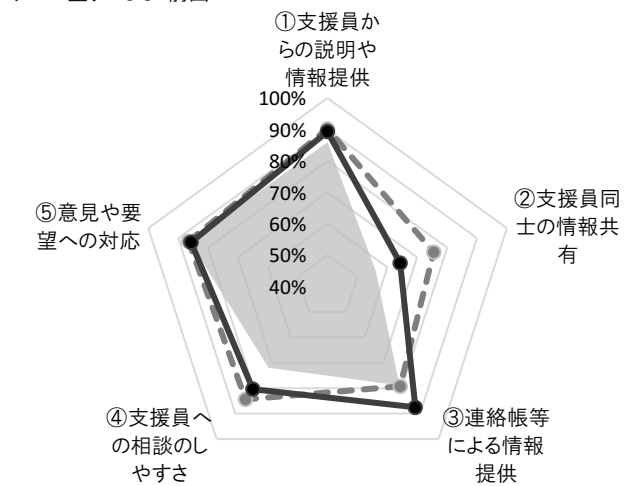
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

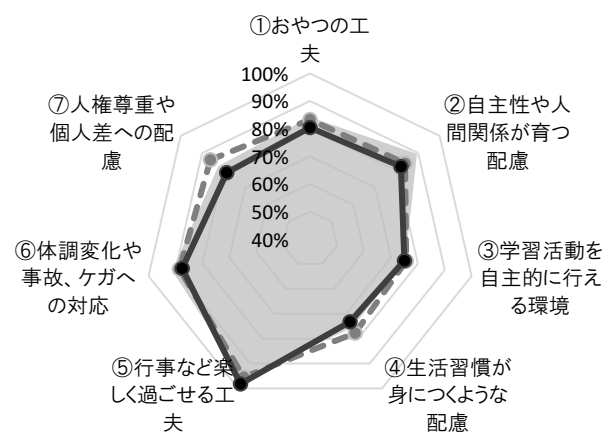


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

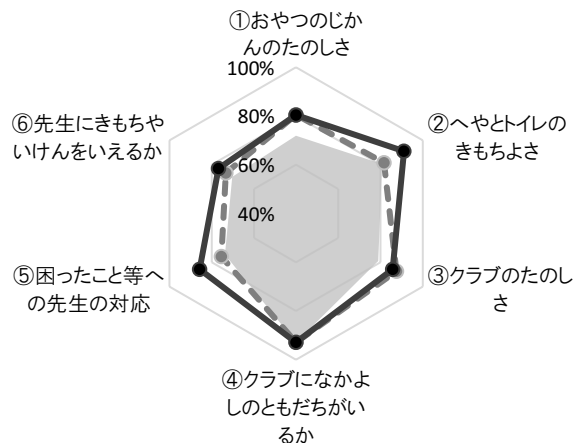


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れています。

評価結果

令和2年度

南小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社日本デイクアセンター							
クラブの所在地		浦安市堀江五丁目4番1号							
クラブの連絡先		電話	047-352-1697	F A X	047-352-1697				
当該クラブの運営開始日		平成 22年 4月 1日							
開設場所		小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)		定 員		280人		利用者数		249人	
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	12人	うち、男性		5人	うち、女性		7人
		有資格者数		保育士	2人	幼稚園 教諭	1人	幼稚園以 外の教諭	2人
	非常勤	職員数	14人	うち、男性		0人	うち、女性		13人
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園 教諭	1人	幼稚園以 外の教諭	2人

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	「あかるく・たくましく・生きる“ちから”のある子ども」の健全育成
-----------------------	----------------------------------

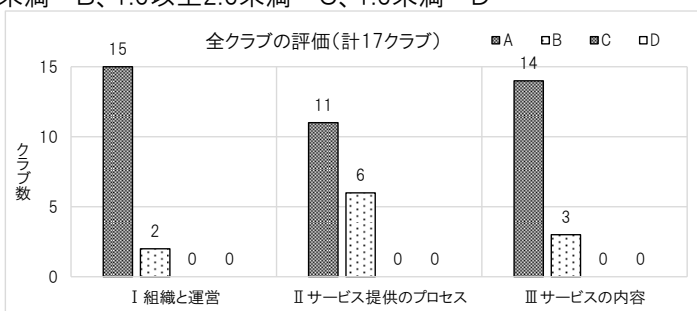
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
Ⅰ ・ 組 織 と 運 営	1 運営	職員が意見を言いやすい環境作りに努めている。そのため、面談を増やして話をしやすい場を作っている。 職場の雰囲気はすごくいいと思う。 ルールが固定化してきた。	職員の意識が同じ方向へ行くように気持ちを盛り上げていきたい。 ルールの見直しと全員の周知がもっとできるようにしたい。
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
Ⅱ ・ サ ー ビ ス の 提 供 の 方 針	1 利用希望者への対応	保護者との交流を深め、保護者に寄り添える保育を行なうよう努めている。	コロナ過で子どもたちへの還元が少なくなってしまったため、来年度はもっと子供たちが楽しめるようにしたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
Ⅲ ・ サ ー ビ ス の 内 容	1 基本原則	イベントが立て続けに中止になってしまっただけ残念だったが、違う方法で子どもたちが楽しめるように試行錯誤してイベントを行った。	キッズランドがクラブの施設になったため新たな部屋の配置を考えていきたい。子どもたちがもっと過ごしやすい施設になるようにしていきたい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

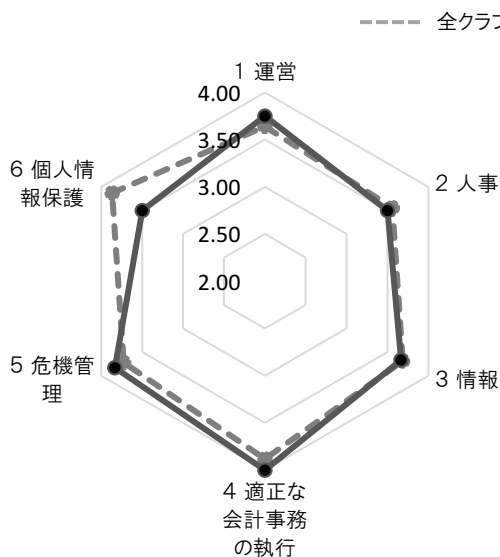
評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II. サービス提供のプロセス	A
III. サービスの内容	A



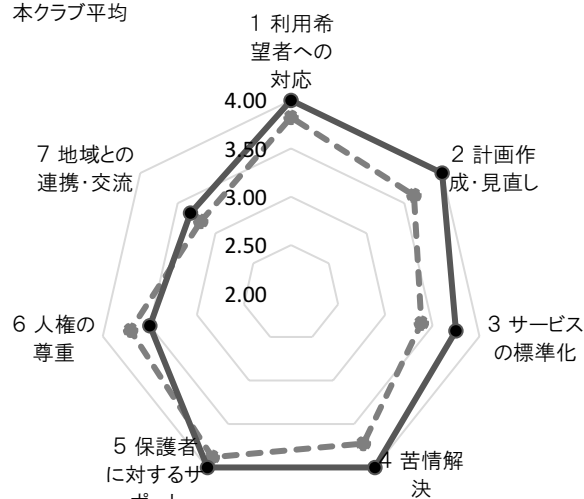
児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができています、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

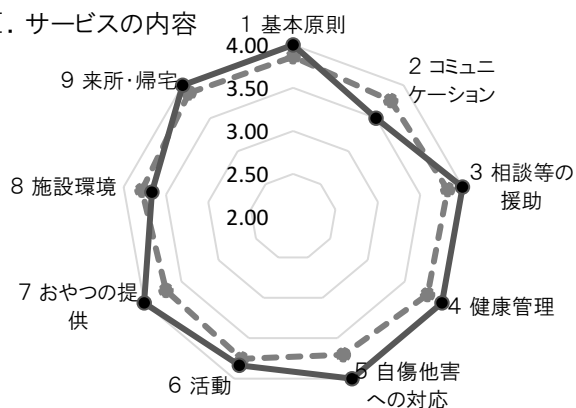
I. 組織と運営



II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

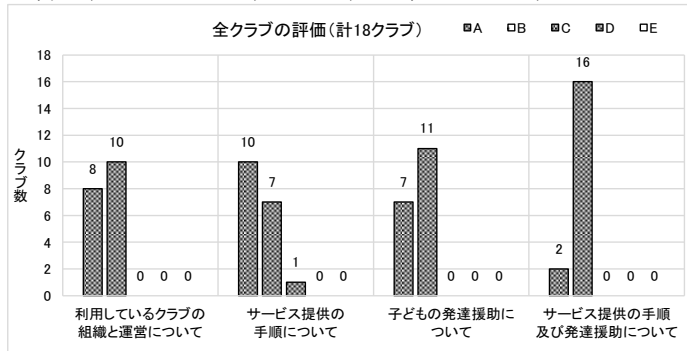


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B
	サービス提供の手順について	B
	子どもの発達援助について	B
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B

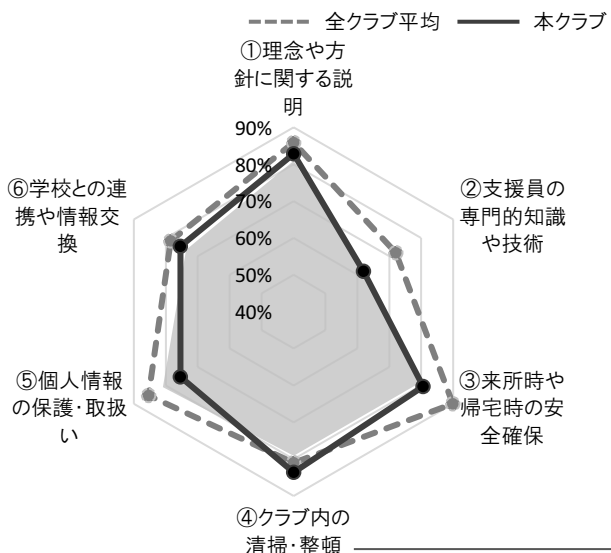


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

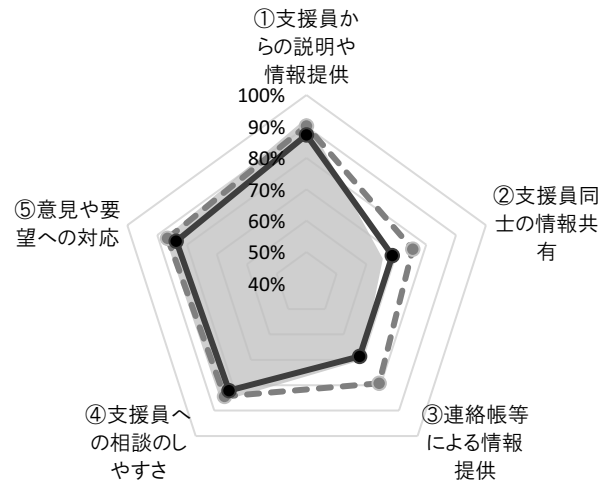
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

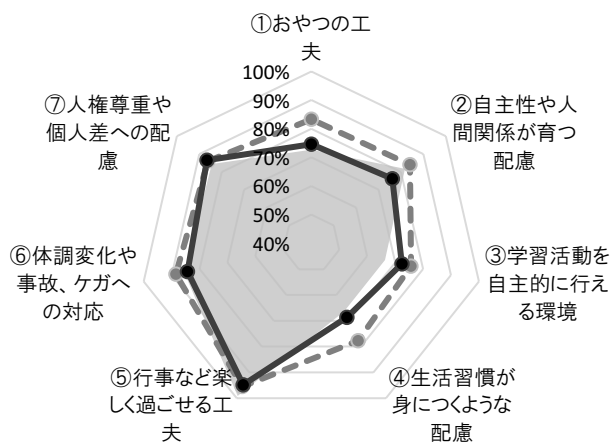


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

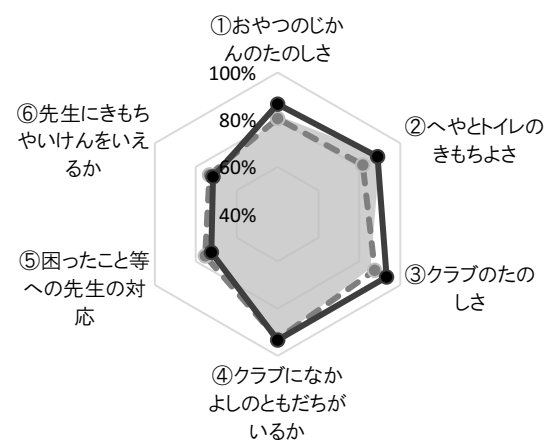


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

北部小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ							
クラブの所在地	浦安市北栄三丁目20番3号							
クラブの連絡先	電話	047-351-1782	F A X	047-351-1782				
当該クラブの運営開始日	平成 22年 4月 1日							
開設場所	小学校校舎内／小学校敷地外							
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)	定 員	200人		利用者数	171人			
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	9人	うち、男性	5人	うち、女性	4人	
		有資格者数		保育士	2人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	14人	うち、男性	5人	うち、女性	9人	
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園教諭	1人	幼稚園以外の教諭

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	保護者にとっては、安心安全に子どもを預かる。 子どもにとっては、明日も来たいと思えるクラブ運営。
-----------------------	---

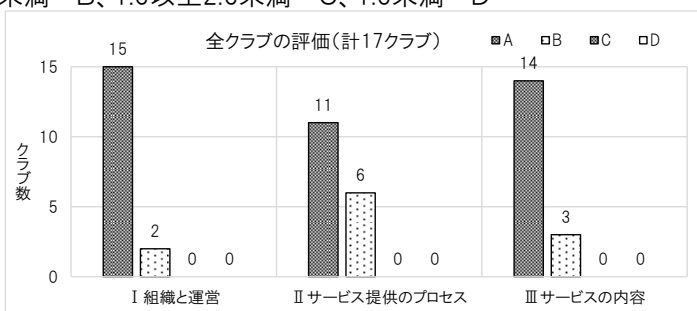
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I ・ 組 織 と 運 営	1 運営	法人は「社会貢献」を主体とした団体であり、浦安は主に子育て現場に力を入れている。クラブの支援だけでなく、保護者同士をつないで、家庭とトータルで子どもを支援したいとの思いから、4年前より月1回、1つのクラスを使って「ひしのみ亭」というカフェを開催。保護者同士、保護者と支援員とのコミュニケーションの場として定着してきた。	今期は、コロナ感染防止のためひしのみ亭をドライブスルー方式にて実施。 また、支援員が小学校区を実際に歩き、作成した学区内の「公園マップ」の配布や所有者不明の落とし物を展示するなど、ひしのみ亭で保護者に還元できる方法を考え実施。コロナ感染収束後は、地域とのつながりを意識した取組をより行っていきたい。
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
II ・ サ ー ビ ス の 提 供 の 内 容	1 利用希望者への対応	保護者にとっては、安心安全に子どもを預かる。子どもにとっては明日も来たいと思えるクラブ運営を目指しており、個人面談にて、家庭・学校・クラブでの子どもの様子の情報共有と課題対策について話し合いを行った。今期はコロナ感染防止のため、多くの行事を中止せざるを得なくなったが、時間や人数制限をするなどして幾つかの行事が実施できた。	現在の状況では、来期もコロナの感染が継続していくことが濃厚となっているため、マスクの着用、手洗い、消毒の徹底は当然続けていく。 感染リスクを減らし、子ども達が明日も来たいと思えるクラブ運営のために、制限のある中での、行事等をいかに実施していけるかを職員で知恵を出し合い、検討していきたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III ・ サ ー ビ ス の 内 容	1 基本原則	毎年障がいのある子どもを受け入れているため、支援についてのノウハウがたまり、職員には自信にもなっている。また、保護者からの信頼を得てきており、クラブへ通う日数を増やす家庭もある。	発達障害の支援児が毎年増えてきている状態です。見た目は健常児と変わらないこともあり、初対面同士だと健常児との間で思わぬトラブルも発生する。そのようなときは、特に健常児に支援児の行動や心情を説明し、理解させる努力をしている。また、突発的な行動が多いが、極力、支援児がパニックを起こさないような環境づくりをしていきたい。今後も、専門機関と連携を取りながら支援したいと考えている。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

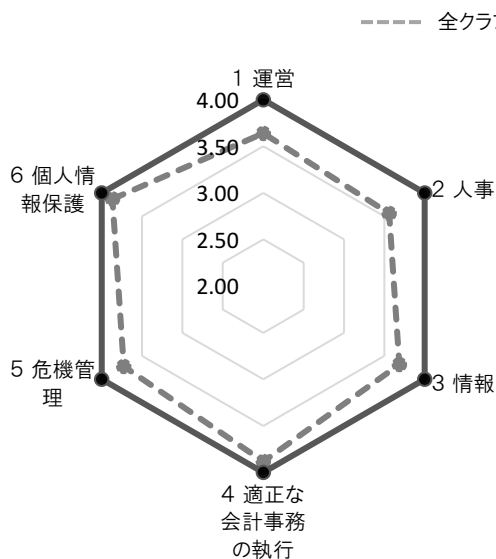
評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II. サービス提供のプロセス	A
III. サービスの内容	B



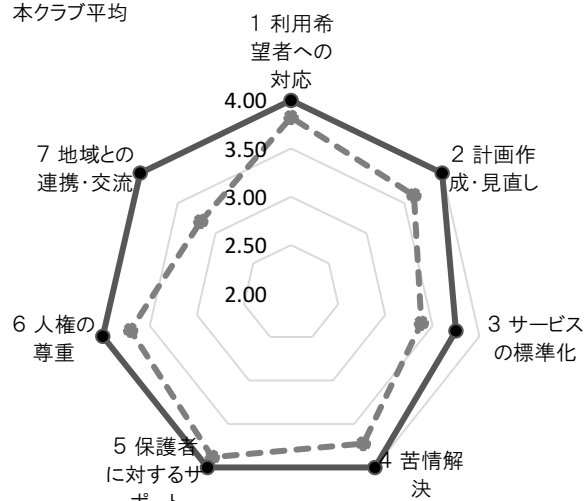
児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができています、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

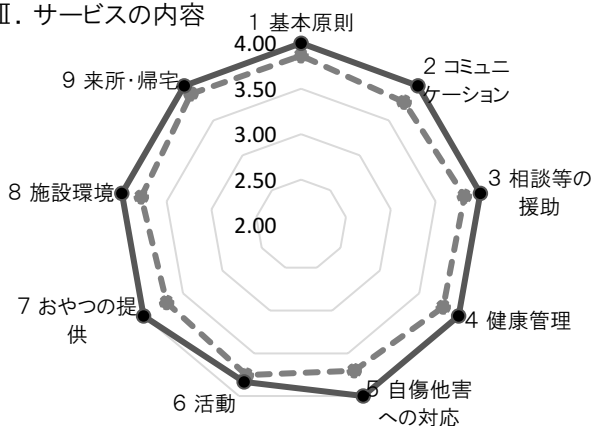
I. 組織と運営



II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

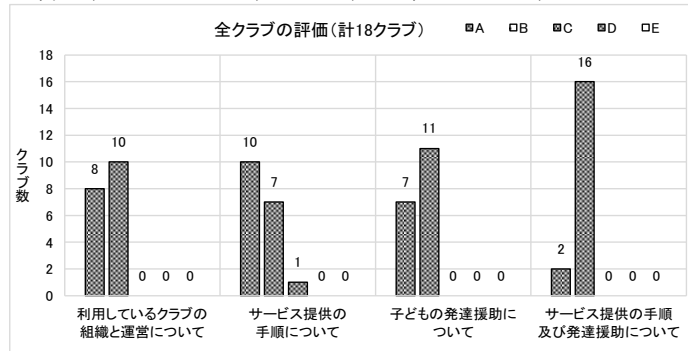


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B
	サービス提供の手順について	A
	子どもの発達援助について	B
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B

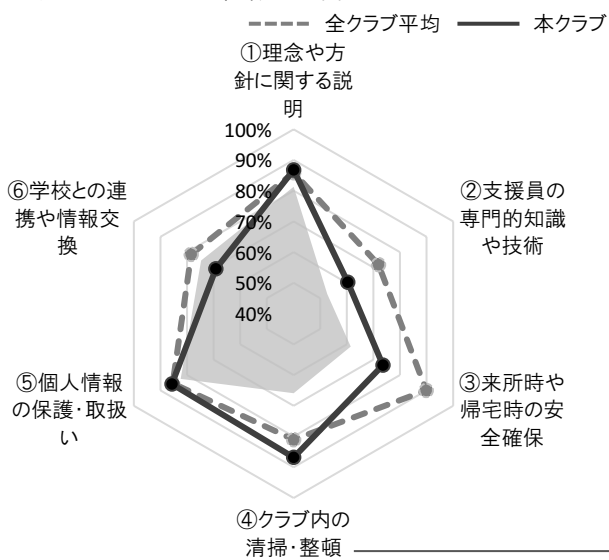


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

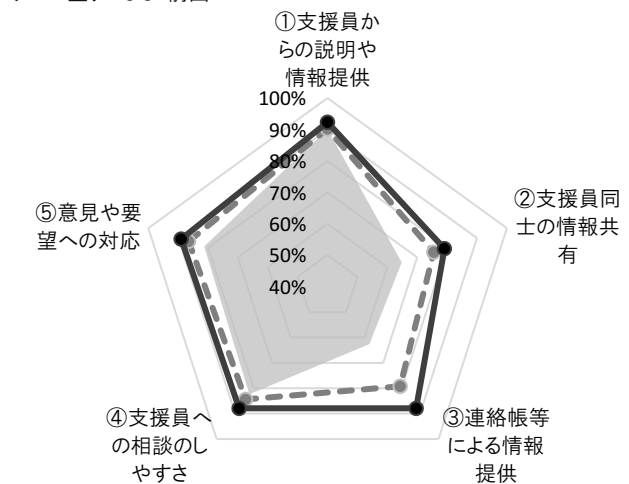
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

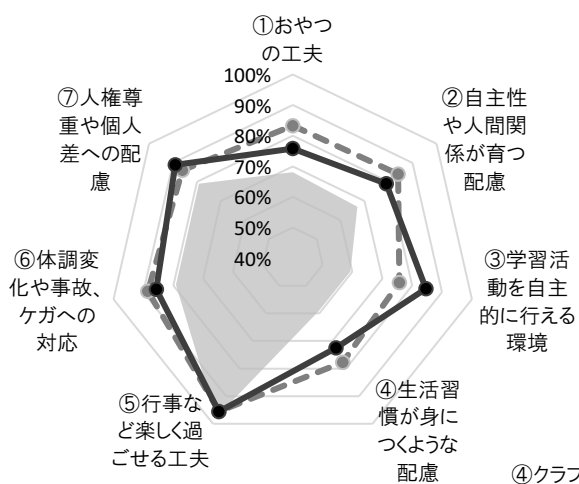


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

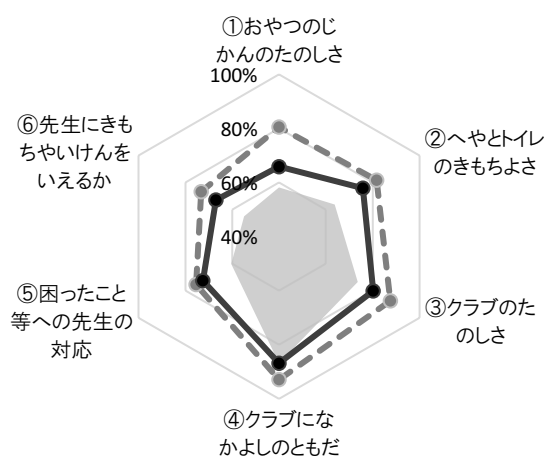


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回は前回のデータを入れています。

評価結果

令和2年度

見明川小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	テルウェル東日本株式会社						
クラブの所在地	浦安市弁天三丁目1番2号						
クラブの連絡先	電話	047-351-1633	F A X	047-351-1633			
当該クラブの運営開始日	平成 31年 4月 1日						
開設場所	小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)	定 員	120人		利用者数	123人		
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	8人	うち、男性	4人	うち、女性	4人
		有資格者数	保育士	4人	幼稚園 教諭	1人	幼稚園以 外の教諭
	非常勤	職員数	8人	うち、男性	0人	うち、女性	8人
		有資格者数	保育士	2人	幼稚園 教諭	1人	幼稚園以 外の教諭

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の安心・安全を第一に考え「伸び伸びと楽しく充実した時」を過ごせる場を提供する。 ・安心して過ごせることができるよう、常に見守り、児童に「安らぎ」を提供する。 ・児童の自主性を重んじ「社会性」や「感謝の心」を身に付けられるようにする。 ・児童がリラックスできる環境を整え、異年齢間の関わりを大切にしながら協調性を養い身に着ける。 ・栄養・活力面から必要とされる「おやつ」は、衛生管理をきちんと行い提供する。
-----------------------	---

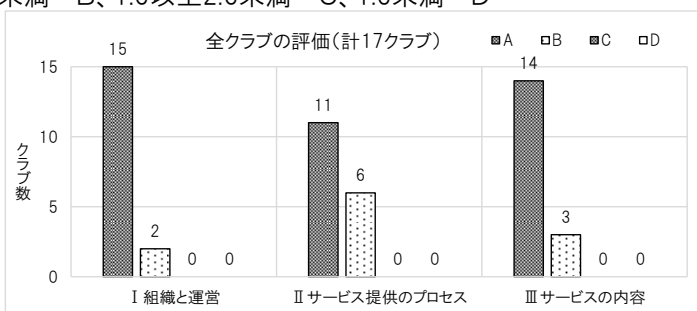
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I ・ 組 織 と 運 営	1 運営	『第二の家庭として接し、児童育成クラブに「通う」のではなく「毎日帰りたくなる」運営』を目標と定め、「信頼」「安全」「安心」「快適」を基本理念とし、「児童一人ひとりが健やかに安心して過ごせる生活の場」であるとともに、保護者の皆様が安心して通わせることができる「学校と家庭の中心に位置する」クラブ運営に努めています。	全ての支援員が児童育成クラブの運営理念・方針を理解し、実現できるよう研修及びミーティングの更なる充実を図る必要がある。 また、「安心・安全」な運営は基本であることから、日常保育の中での危機管理意識の徹底を図ります。
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
II ・ サ ー ビ ス の 提 供 の 内 容	1 利用希望者への対応	児童、保護者、小学校関係者等との信頼関係の構築に向け、お手紙・メール・掲示物を活用した情報発信を積極的、かつ定期的に行いました。 また、学校責任者、教務主任等へ定期的に訪問をし、双方における様々な行事や諸課題を共有し、安心・安全なクラブ運営に反映した。	保護者からの意見・要望・相談については、お迎え時やメール等、と限られているため、誰もが気軽に利用できるルールを構築する必要がある。 また、日常保育におけるマニュアルについては、必要に応じて改善を図る。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III ・ サ ー ビ ス の 内 容	1 基本原則	「安心・安全」、かつ安定的な運営の実現には、支援員のスキル向上・定着は必須であることから、意欲的に業務に取り組める様、会社主導の研修会の開催、社外研修会への参加を支援員の意向も反映しつつ積極的に行いました。 日々のミーティングにおいて、児童の様子、スケジュール等の情報共有を図るとともに、支援員間の意識合わせを行い、支援活動に活かしています。	児童一人ひとりの人格や特性について、家庭調査票等からの情報提供に基づき、必要に応じて、支援員間で共有をし、児童の特性を理解して接する必要がある。 また、異年齢の共同生活において互いを理解し敬う気持ちを養うことを目的とした遊びや生活の場については、更なる充実したイベント等を企画する必要がある。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

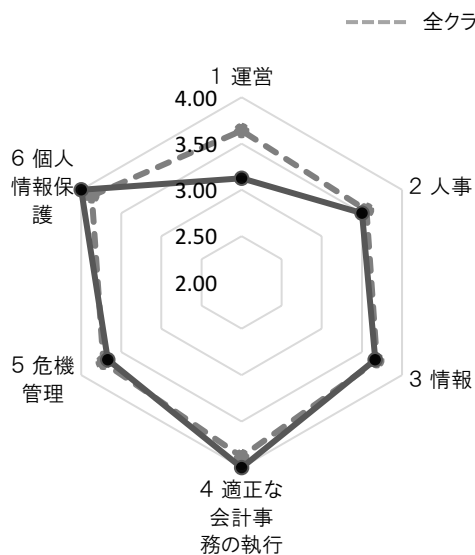
評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II. サービス提供のプロセス	B
III. サービスの内容	A



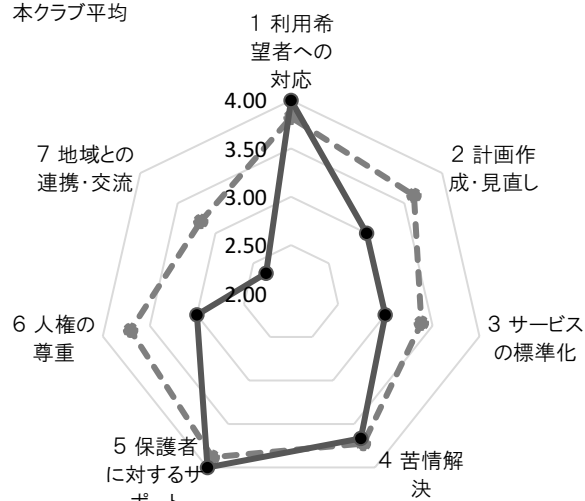
児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができています、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

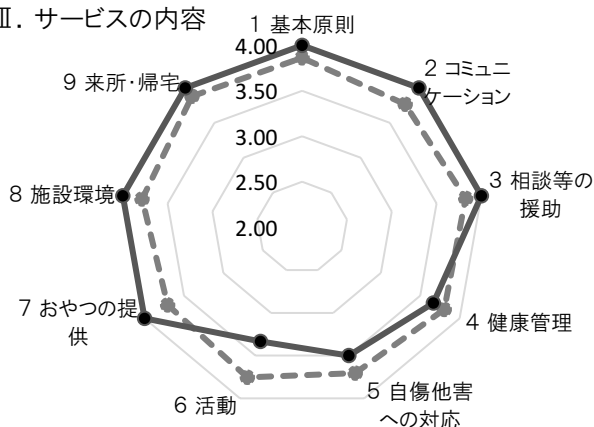
I. 組織と運営



II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

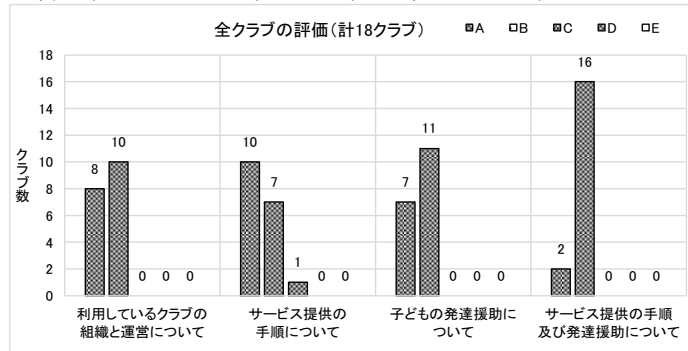


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B
	サービス提供の手順について	B
	子どもの発達援助について	C
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B

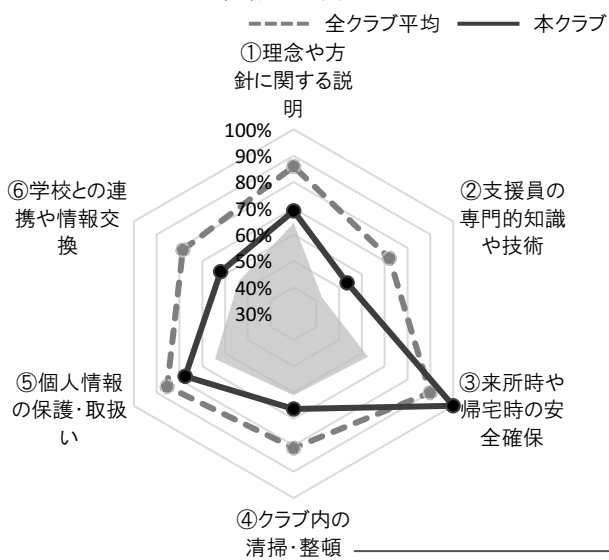


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

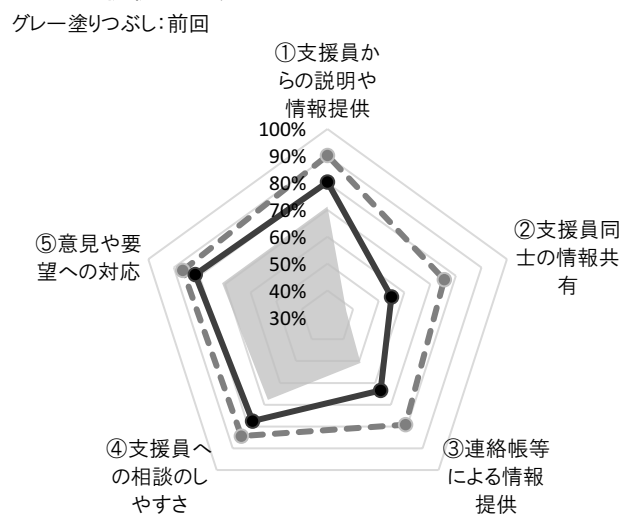
- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

I 保護者の回答

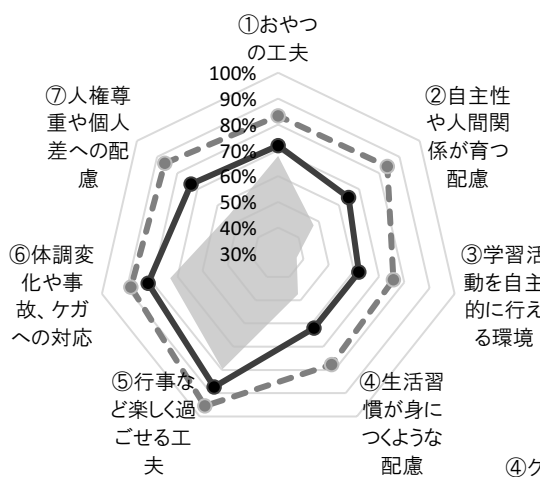
利用しているクラブ組織と運営について



サービス提供の手順について

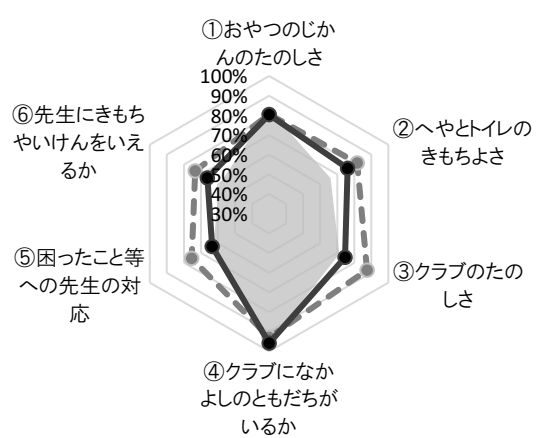


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

富岡小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		社会福祉法人 浦安市社会福祉協議会							
クラブの所在地		浦安市富岡一丁目1番1号							
クラブの連絡先		電話	047-352-7400	F A X	047-352-7400				
当該クラブの運営開始日		平成 28年 4月 1日							
開設場所		小学校校舎内							
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)		定 員		80人		利用者数		76人	
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	5人	うち、男性		2人	うち、女性		3人
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭	0人
	非常勤	職員数	8人	うち、男性		0人	うち、女性		8人
		有資格者数		保育士	1人	幼稚園 教諭	3人	幼稚園以 外の教諭	2人

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>子どもは地域の宝であるという認識のもと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1人ひとりが主役となれる場 ○ 異年齢児による生活・遊びを通し、社会性・自主性を育てる場 ○ 安心して楽しく過ごせる場 <p>この3つをテーマに掲げ、地域や保護者の皆様のご理解やご協力を得ながら運営しています。</p>
-----------------------	--

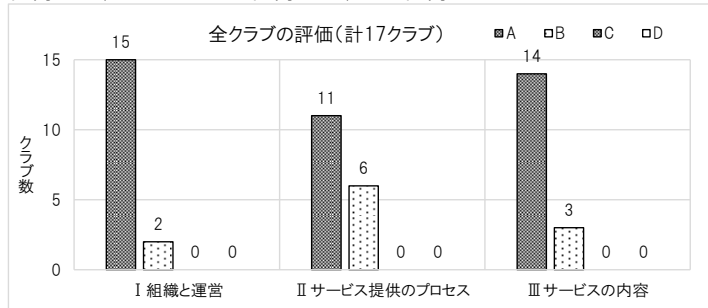
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
Ⅰ 組織と運営	1 運営	<p>東野育成クラブと子ども教室で、支援員・パートナーの交流ができることを生かし、支援員の資質の向上に努めている。</p> <p>また、昨年度まで合同イベントを行っていたが、合同での開催はできなかったため、児童が喜んだイベントを別施設でも行うなど、コロナ禍でも楽しめる取り組みを考え、意見交換を行っている。</p> <p>ミーティング等で、今まで起きた事例を検討し、支援員会議などで話し合い、サービス向上に努めている。</p>	<p>支援員全体で、運営指針を理解し今後の育成クラブのあり方を検討している。東野育成クラブと合同で研修を行い、各支援員の資質向上に取り組んでいるが、個々の能力・経験差に対応することに難しさを感じている。</p> <p>児童の言動で気がかりなことがあった場合は、学校に相談できる環境を整えている。定期的に相談できる体制を構築していきたい。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
Ⅱ サービスの提供	1 利用希望者への対応	<p>児童や各家庭の状況を正しく理解し、臨機応変な対応もできるようなミーティングを多く持っている。また、育成クラブの対応についても理解していただけるように、話をする機会を多く持ち、児童の様子を共有できるようにしている。</p> <p>「合理的配慮」についての職員研修を行い、児童や保護者の人権や性差、国籍、障がいの有無、考え方の違いなどにとらわれず相手を尊重した支援が行えるよう努めている。</p>	<p>保護者ニーズの理解と、児童が安心して安全に過ごせる環境作りを最重要課題としている。家庭・児童によって考え方や反応が様々であり、試行錯誤を繰り返している。過去の実績にとらわれず、臨機応変に新しいものを取り入れていく。</p> <p>コロナ禍の中クラブで過ごす時間が少なくなっている児童が増えており、継続的な支援のあり方が求められる。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
Ⅲ サービスの内容	1 基本原則	<p>新しい生活様式が求められ、先が不透明な中で、児童・家庭の最善を考えて育成を行ってきた。</p> <p>日々の生活や、イベントの開催のあり方、児童の様子(周りに当たる、落ち着きがない、過度な関わりを求めするなど)を支援員で話し合う時間を多く持ち、より良い生活ができるよう心がけている。</p>	<p>児童の目王性や主体性を育てるために、学習・おやつ・遊びの開始と終了時刻に幅を持たせ、一斉で行う活動を少なくした。結果、児童が自ら考えて行動するようになり、支援員の声掛けが少なくなった。その反面、自由を謳歌する児童も出てきており、支援員が児童一人ひとりの課題を見極める力が必要である。</p> <p>多様な考え方の家庭・児童に対応せねばならず、「保護者支援の場」としての育成クラブのあり方を検討していきたい。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II サービス提供のプロセス	A
III サービスの内容	A

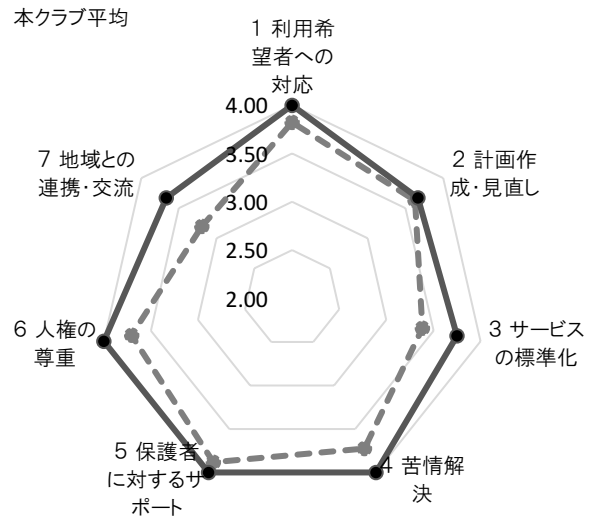
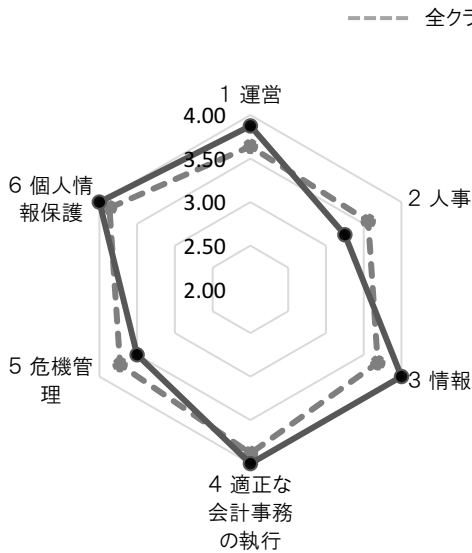


児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

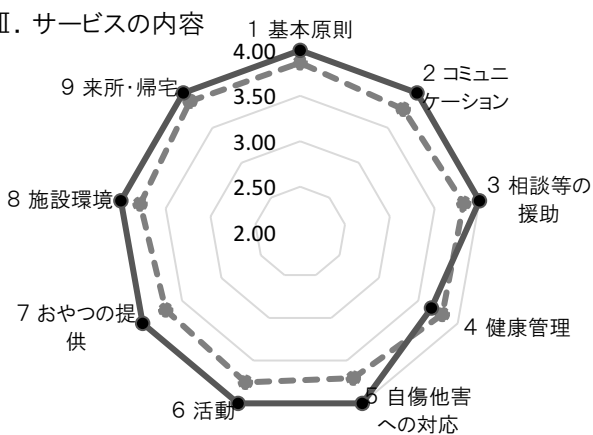
- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価：4＝優れた取り組みができています、3＝おおむねできている、2＝あまりできていない、1＝まったくできていない

I. 組織と運営

II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

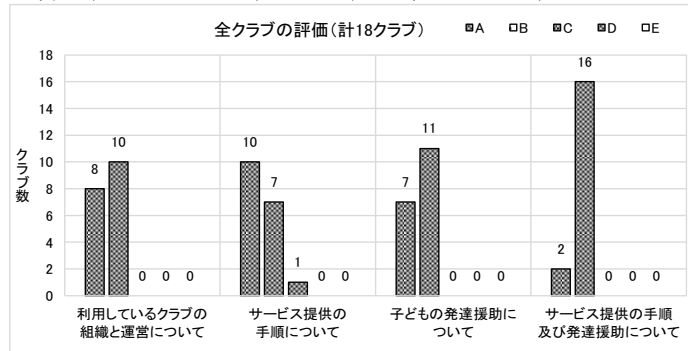


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A
	サービス提供の手順について	B
	子どもの発達援助について	A
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B

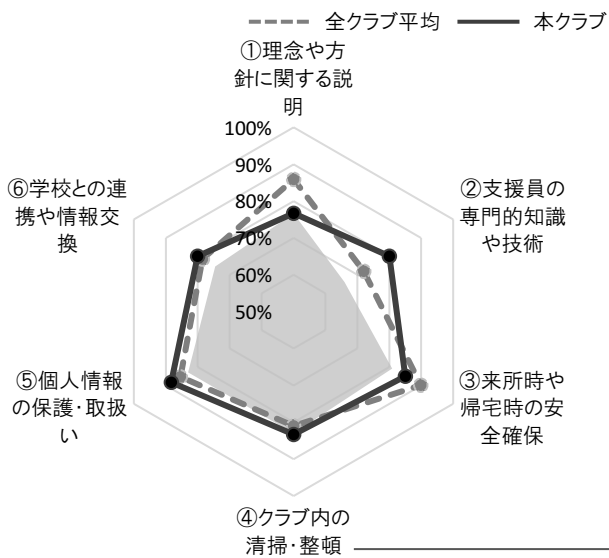


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

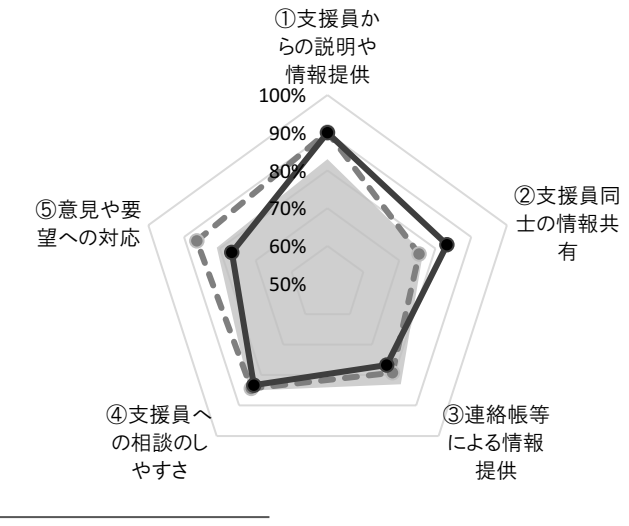
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

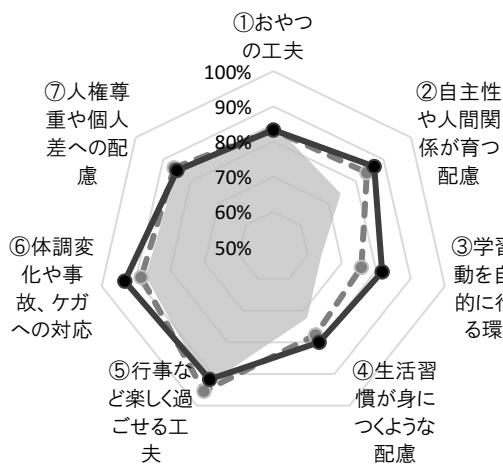


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

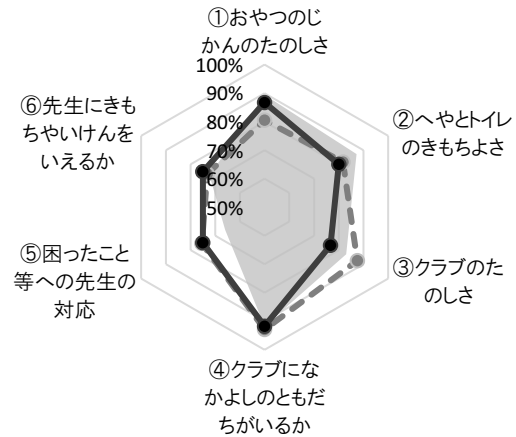


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

美浜南小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	株式会社セリオ							
クラブの所在地	浦安市美浜三丁目15番1号							
クラブの連絡先	電話	047-350-6624	F A X	047-350-6624				
当該クラブの運営開始日	平成 28年 4月 1日							
開設場所	小学校校舎内							
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)	定 員	108人		利用者数	94人			
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	9人	うち、男性	3人	うち、女性	6人	
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	15人	うち、男性	3人	うち、女性	12人	
		有資格者数		保育士	1人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	児童・保護者共に安心・安全に利用できるように安全管理に努めている。児童が楽しい、また来たいと思えるクラブにするために支援員が一丸となりサービスの向上に努めている。保護者との関係を大切に、児童だけでなく支援員自身も楽しむことが出来る職場環境づくりを心掛けている。
-----------------------	--

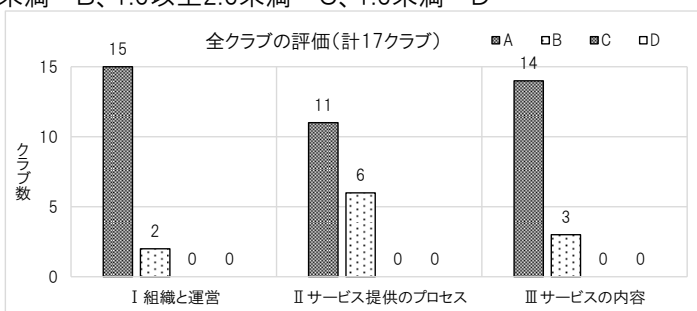
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
Ⅰ 組織と運営	1 運営	市や学校及び運営本部との報告・連絡・相談体制を整え、支援員間も同様に徹底している。事業者として本部との連携を密にし、施設間においても事故防止、質の向上へ定期的に情報連携を行っている。雇用形態に関わらず全職員が施設運営を担っている意識を持ち、全員が担当や役割を持ち、「全員運営」を心がけている。	学校との報告・連絡・相談体制をより一層強化する為に、定期的且つ積極的なコミュニケーションがとれるよう努めていく。玄関に写真を掲示することで保護者との会話が増えてきた。大きいイベントの時だけでなく、子ども達のクラブでの姿をもっと伝えられるよう、更に工夫していきたい。
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
Ⅱ サービスの提供	1 利用希望者への対応	保護者からの相談にいつでも応えられるよう受け入れ体制を整えている。苦情については支援員全員に周知・情報共有し、可能な限り迅速に対応し信用回復に努めている。 入会希望者見学の際、保護者の希望を最優先に対応し、丁寧な説明を心がけている。	地域との関わりを広げられるよう、積極的に地域行事に参加したり、ボランティアを受け入れる等していきたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
Ⅲ サービスの内容	1 基本原則	おたよりを毎月発行し行事や保護者へのお願事項等を記載。写真やコメントも掲載し、児童の様子を知ってもらえるよう工夫している。各種行事も児童の要望を取り入れている。アレルギーについては児童毎に対応表を作り、提供前・提供時のダブルチェックを徹底。おやつも季節物やご当地おやつ等工夫している。	社会見学や演劇鑑賞等施設外での行事を増やし、集団での移動や縦割り班での行動を通して社会性・協調性を培う機会を設ける。児童のニーズに応じて、好評のスポーツイベントやめんこ大会、工作等の内容を更に充実させ、人気があるものについては定期的の実施していきたい。今後もアンケート等を通して児童の声を育成に更に活かしていく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

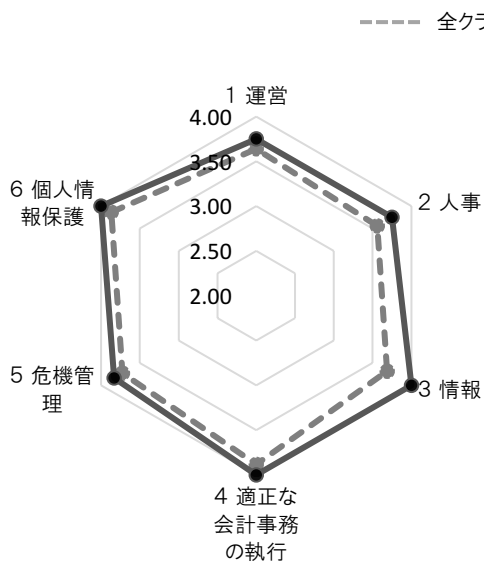
評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II. サービス提供のプロセス	A
III. サービスの内容	A



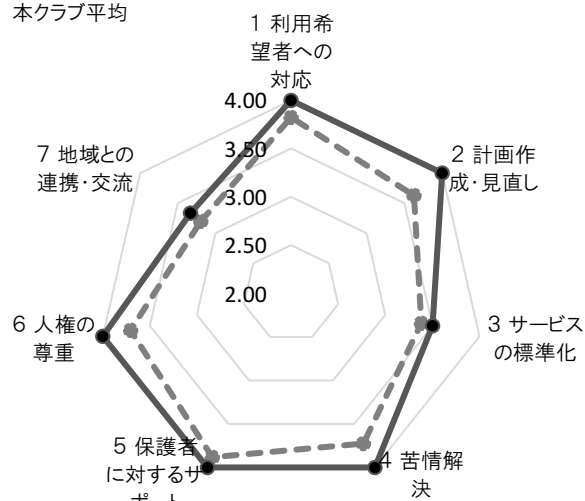
児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができています、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

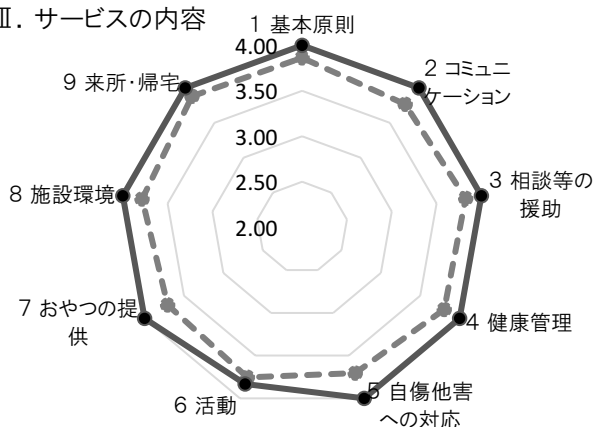
I. 組織と運営



II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

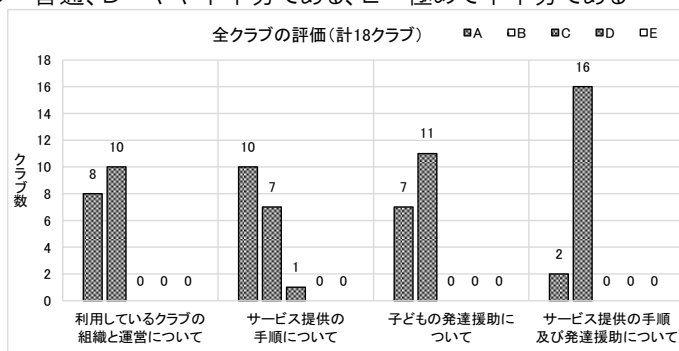


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B
	サービス提供の 手順について	B
	子どもの発達援助に ついて	B
児童	サービス提供の手順 及び発達援助について	B

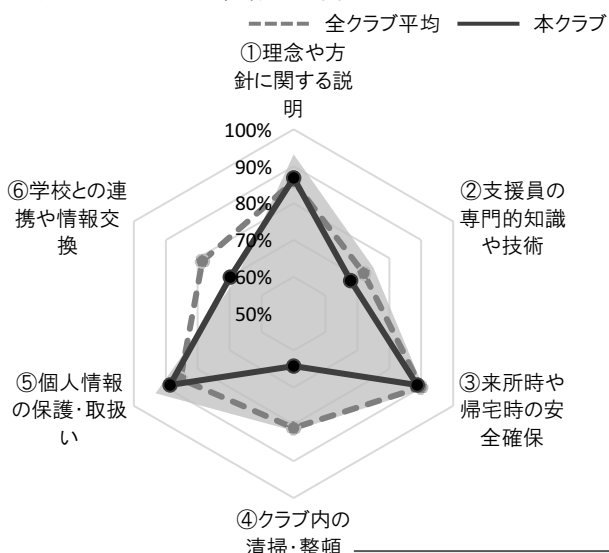


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

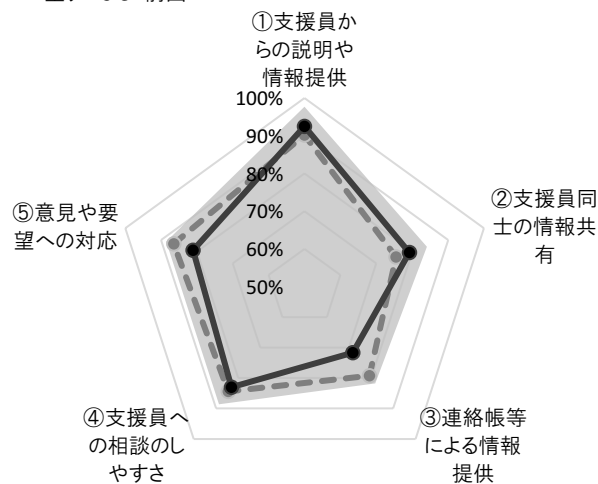
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

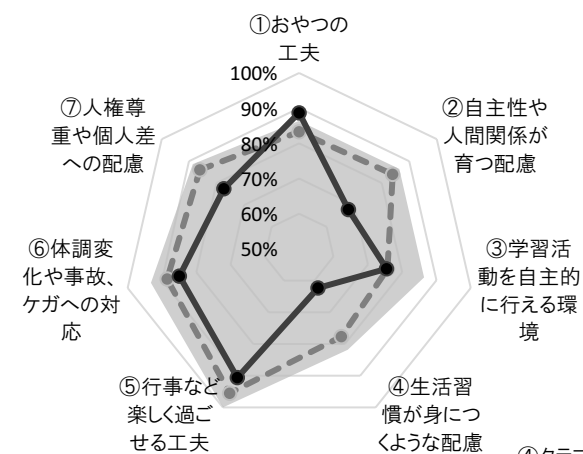


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

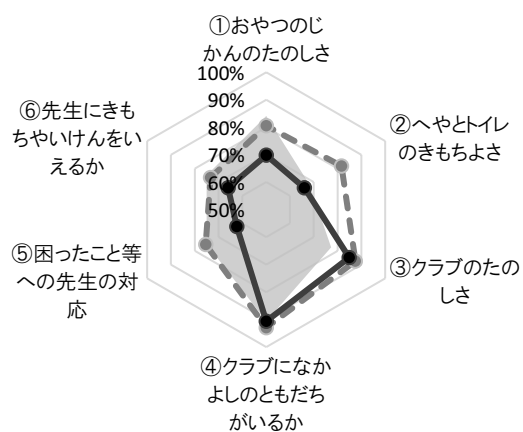


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

東小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		特定非営利活動法人 チアイースト							
クラブの所在地		浦安市猫実一丁目11番1号							
クラブの連絡先		電話	047-350-4424	F A X	047-350-4424				
当該クラブの運営開始日		平成31年 4月 1日							
開設場所		小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)		定 員		120人		利用者数		113人	
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	12人	うち、男性		2人	うち、女性		10人
				保育士	1人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭	1人
	非常勤	職員数	20人	うち、男性		2人	うち、女性		18人
		有資格者数		保育士	1人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭	0人

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	大きな怪我に注意しながらも、児童が全力で遊びに取り組めるクラブであることを目標としています。異なる学年の児童同士で時間を共有出来ることが育成クラブの良さなので、支援員も児童同士の関係を大切に、サポートするように心がけています。また、本室と分室が離れて設置されていますが、サービスに差が出ないように気を付けています。
-----------------------	---

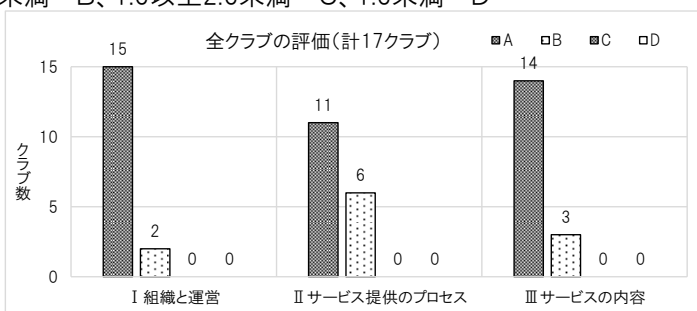
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
Ⅰ 組織と運営	1 運営	特定非営利活動法人チアイーストは、児童育成クラブの保護者が組織していた運営委員会と、放課後子ども教室を運営していた運営委員会とが合わさって出来た法人です。 今まで通り、保護者の意見が通りやすく反映されやすい環境であると同時に、長く勤務してきた支援員の経験を生かした、安定した支援が大きな強みです。	昨年度より児童数が増えた関係で、非常勤職員が多くなりましたが、常勤職員との経験や考え方にまだ違いがあるので、この点に改善が必要と感じます。 毎日のミーティングで気を付けるべき点や常勤職員の考え方を伝えることで、理解してもらおうようにしています。
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
Ⅱ サービス提供の	1 利用希望者への対応	児童の気持ちを第一に考え、児童が何かをするための場所ではなく、児童にとっての「居場所」を目指して支援しています。 本室と分室に分かれてはいますが、同じ東小学校の児童であることを忘れず、支援員も本室分室とでサービスに差がでることのないように努めています。本室分室の交流活動は、週に2、3回行っています。	新人職員に対しての研修については、実際に支援の現場で指導をしています。必要配置人数よりも多く職員を配置することで、新人職員に指導するための時間を作っています。 苦情については常勤職員で共有して話し合った後、それについての対応を非常勤職員にも伝えていきます。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
Ⅲ サービスの内容	1 基本原則	児童の主體的な活動を第一と考え、それが可能な環境を作り、支援できるようにしています。遊びを通して児童同士、または支援員と児童が関わるので、児童との心の距離は近いと感じています。 コロナ禍にあってもおやつを楽しんで過ごせるように、定期的に特別なおやつを用意しています。	それぞれ児童が好きなタイミングで宿題や遊びを出来るように、クラブにいる時間のほとんどを自由な時間にしています。 おやつについては、現在は業者に発注していますが、来年度はさらに児童が楽しみな時間となるように、支援員がメニューを考えるよう思案中です。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II. サービス提供のプロセス	B
III. サービスの内容	A

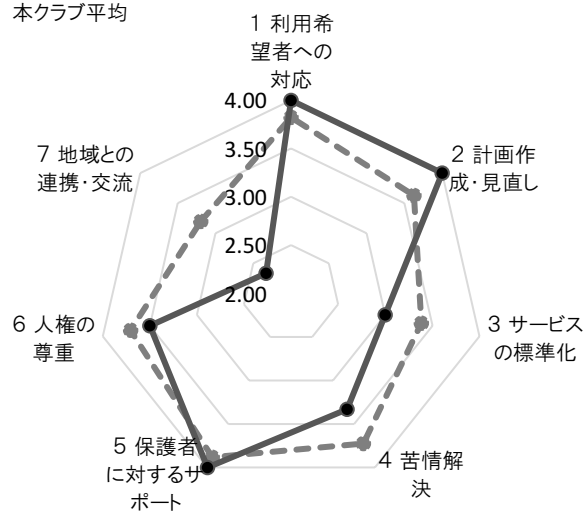
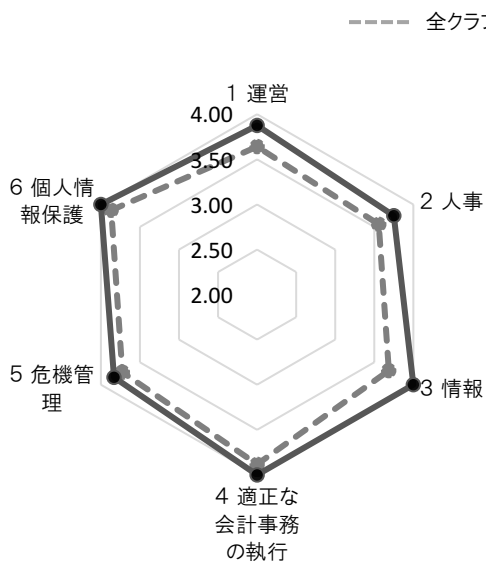


児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

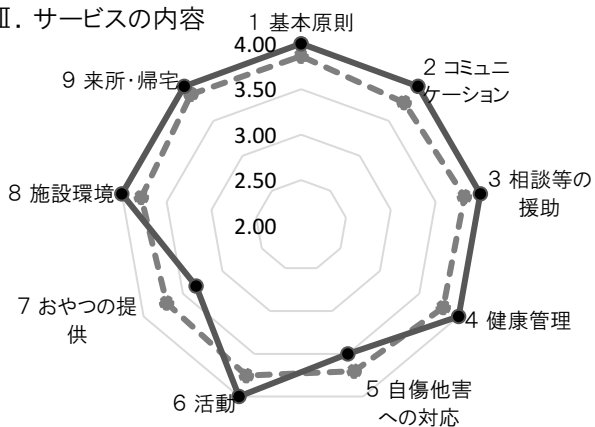
- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

I. 組織と運営

II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

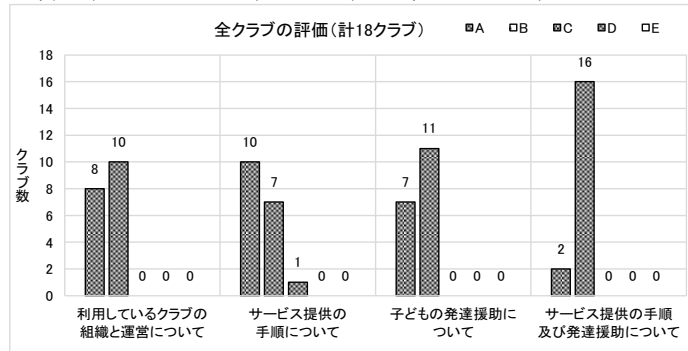


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A
	サービス提供の手順について	A
	子どもの発達援助について	A
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B
		B

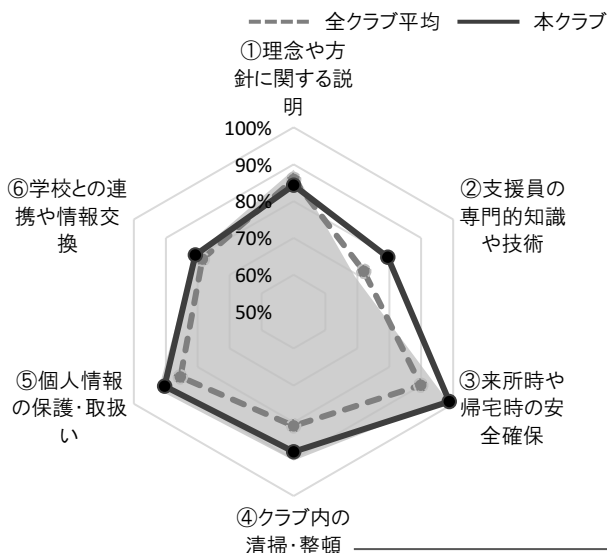


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

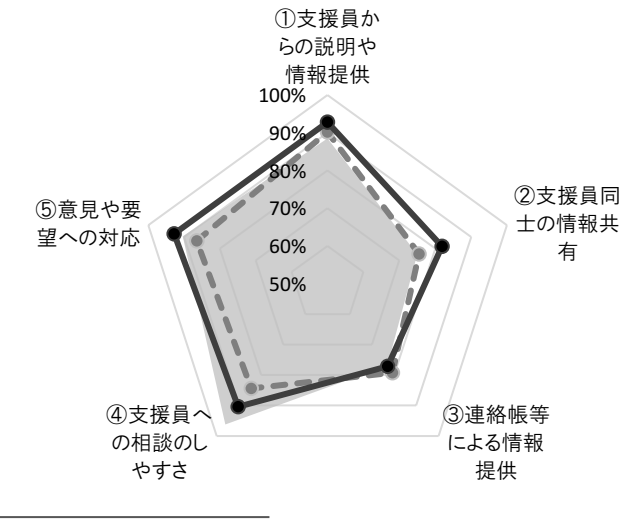
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

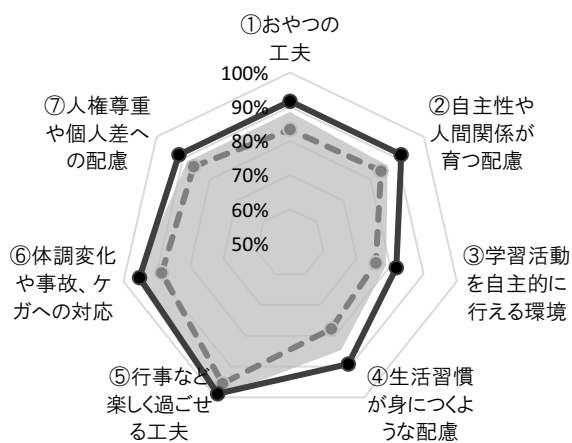


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

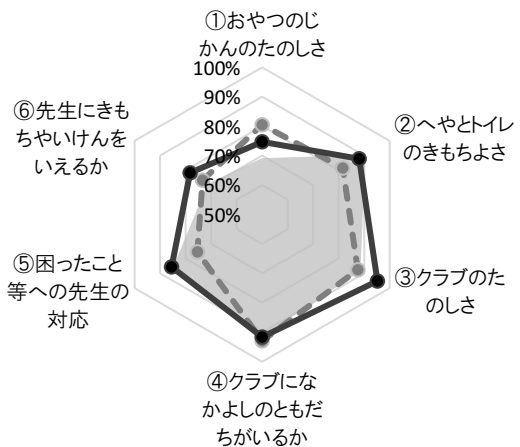


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

東小学校地区北栄分室児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	特定非営利活動法人 チアイースト						
クラブの所在地	浦安市北栄四丁目1番17号						
クラブの連絡先	電話	047-382-2324	F A X	047-382-2324			
当該クラブの運営開始日	平成31年 4月 1日						
開設場所	その他(北栄のふたば保育園内)						
定員/現在の利用者数 (令和3年1月末現在)	定 員	78人		利用者数	78人		
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	6人	うち、男性	3人	うち、女性	3人
		有資格者数	保育士	0人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭
	非常勤	職員数	8人	うち、男性	2人	うち、女性	6人
		有資格者数	保育士	0人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	大きな怪我に注意しながらも、児童が全力で遊びに取り組めるクラブであることを目標としています。異なる学年の児童同士で時間を共有出来ることが育成クラブの良さなので、支援員も児童同士の関係を大切に、サポートするように心がけています。また、本室と分室が離れて設置されていますが、サービスに差が出ないように気を付けています。
-----------------------	---

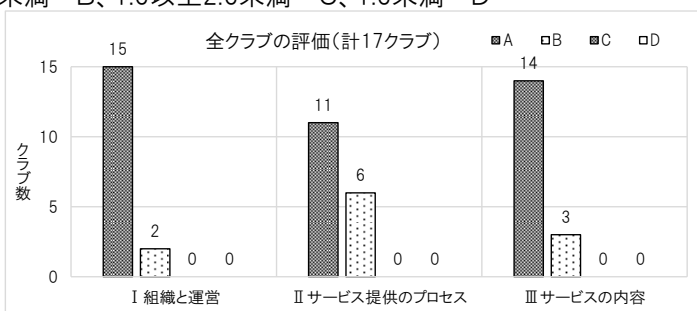
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
Ⅰ 組織と運営	1 運営	特定非営利活動法人チアイーストは、児童育成クラブの保護者が組織していた運営委員会と、放課後子ども教室を運営していた運営委員会とが合わさって出来た法人です。 今まで通り、保護者の意見が通りやすく反映されやすい環境であると同時に、長く勤務してきた支援員の経験を生かした、安定した支援が大きな強みです。	昨年度より児童数が増えた関係で、非常勤職員が多くなりましたが、常勤職員との経験や考え方にまだ違いがあるので、この点に改善が必要と感じます。 毎日のミーティングで気を付けるべき点や常勤職員の考え方を伝えることで、理解してもらおうようにしています。
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
Ⅱ サービス提供の	1 利用希望者への対応	児童の気持ちを第一に考え、児童が何かをするための場所ではなく、児童にとっての「居場所」を目指して支援しています。 本室と分室に分かれてはいますが、同じ東小学校の児童であることを忘れず、支援員も本室分室とでサービスに差がでることのないように努めています。本室分室の交流活動は、週に2、3回行っています。	新人職員に対しての研修については、実際に支援の現場で指導をしています。必要配置人数よりも多く職員を配置することで、新人職員に指導するための時間を作っています。 苦情については常勤職員で共有して話し合った後、それについての対応を非常勤職員にも伝えていきます。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
Ⅲ サービスの内容	1 基本原則	児童の主體的な活動を第一と考え、それが可能な環境を作り、支援できるようにしています。遊びを通して児童同士、または支援員と児童が関わるので、児童との心の距離は近いと感じています。 コロナ禍にあってもおやつを楽しんで過ごすように、定期的に特別なおやつを用意しています。	それぞれ児童が好きなタイミングで宿題や遊びを出来るように、クラブにいる時間のほとんどを自由な時間にしています。 おやつについては、現在は業者に発注していますが、来年度はさらに児童が楽しみな時間となるように、支援員がメニューを考えるよう思案中です。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

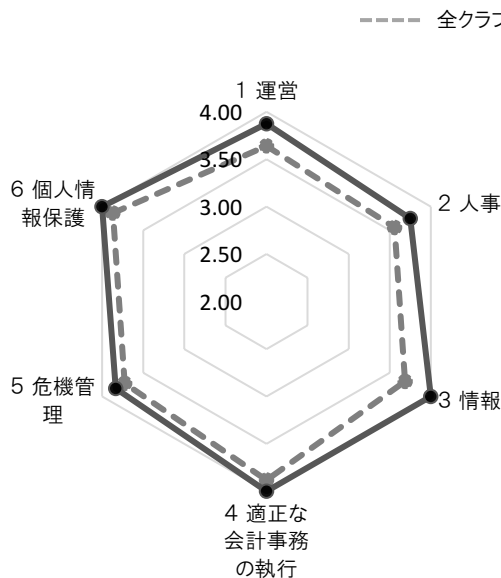
評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II. サービス提供のプロセス	B
III. サービスの内容	A



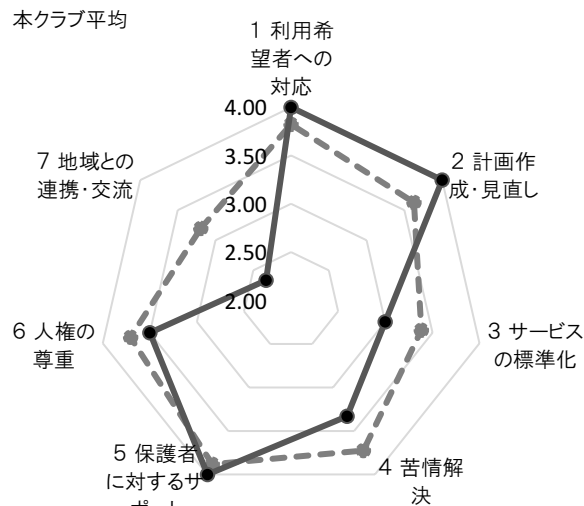
児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

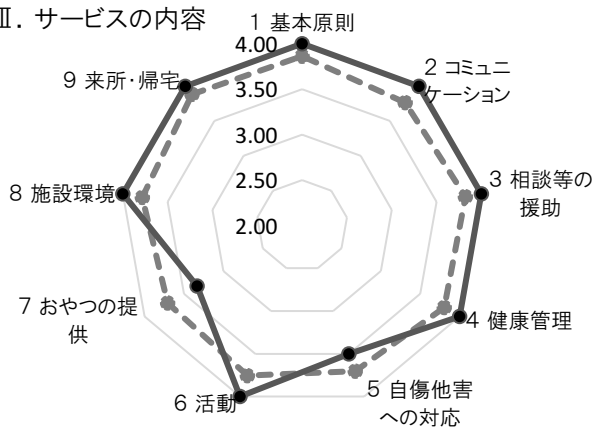
I. 組織と運営



II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

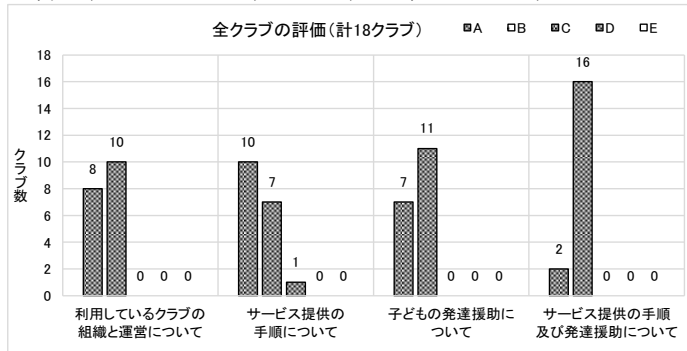


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A
	サービス提供の手順について	A
	子どもの発達援助について	A
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B
		A

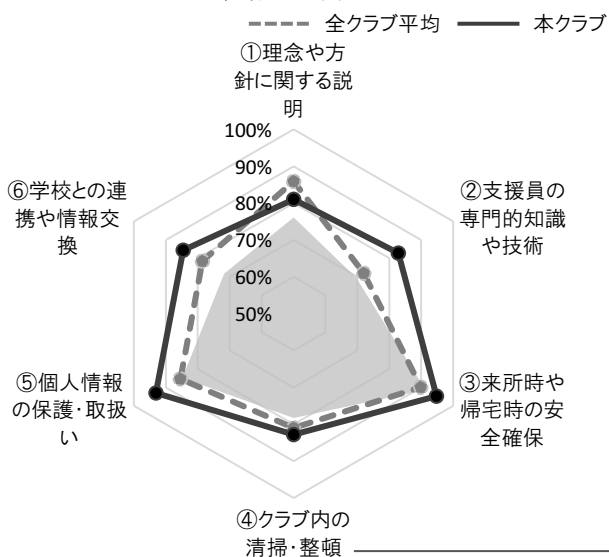


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

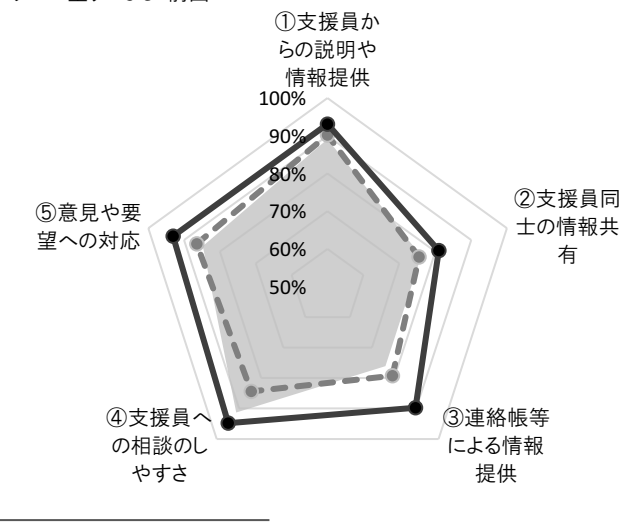
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

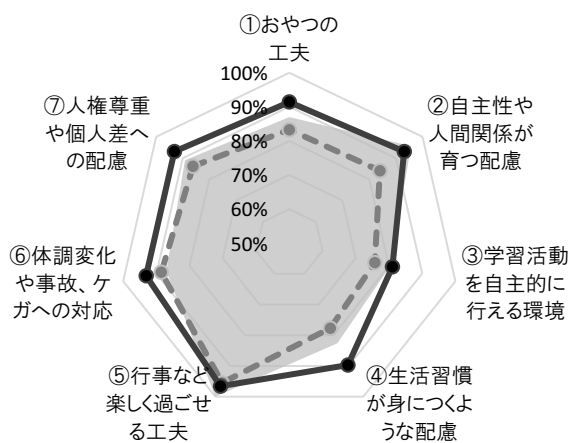


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

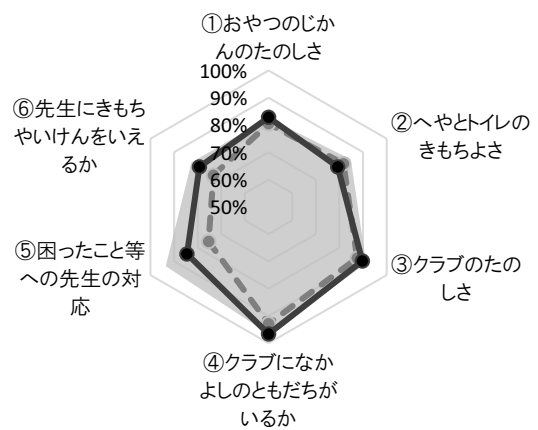


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

舞浜小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	株式会社ベネッセスタイルケア						
クラブの所在地	浦安市舞浜二丁目1番1号						
クラブの連絡先	電話	047-352-3615	F A X	047-352-3615			
当該クラブの運営開始日	平成 27年 4月 1日						
開設場所	小学校校舎内／小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)	定 員	158人		利用者数	125人		
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	6人	うち、男性	2人	うち、女性	4人
		有資格者数	保育士	1人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭
	非常勤	職員数	21人	うち、男性	7人	うち、女性	14人
		有資格者数	保育士	3人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	遊びと学びのリズムをつくりながら、子どもたちの主体性を育み、1人ひとりが楽しく安心して過ごせる環境づくり、支援を大切にしています。
-----------------------	---

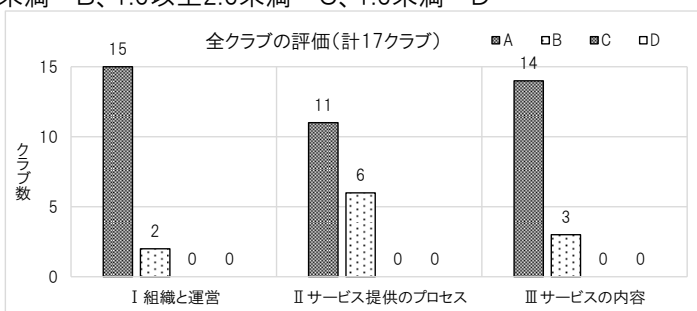
	事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I ・ 組 織 と 運 営	1 運営	<p>新拠点長の配置と、エリアマネージャーの関わり強化、本部担当を2名とする等の取り組みから、拠点や職員の皆様にかかる負担が軽減出来る様体制を整えて参りました。</p> <p>令和3年度もこの体制を継続していくと共に、オンラインの導入を積極的に行い児童へ提供出来る保育・体験の維持に努めていく。</p>
	2 人事	
	3 情報	
	4 適正な会計事務の執行	
	5 危機管理	
	6 個人情報保護	
II ・ サ ー ビ ス の 提 供 の 内 容	1 利用希望者への対応	<p>子どもたちが安心して落ち着いて過ごせるよう、今以上のスタッフの定着を考えています。</p> <p>その為に拠点・仕事内容の理解、スタッフ間の連携がより円滑に図れるように取組、「居場所がある・役割がある・やりがいがある」職場環境となるよう努めて参ります。</p>
	2 計画作成・見直し	
	3 サービスの標準化	
	4 苦情解決	
	5 保護者に対するサポート	
	6 人権の尊重	
	7 地域との連携・交流	
III ・ サ ー ビ ス の 内 容	1 基本原則	<p>おやつに関しては、捕食に近いメニューの提供が、ニーズとしてある為、炭水化物を多く含むようなメニューの組み込みを行ってきました。</p> <p>また、弊社職員により実施する各種コンテンツ(理科実験等)に加え、積極的に多様な外部講師との交流機会を設け、専門性に触れる機会創りに努めております。</p> <p>既に行っているオンライン社会科見学の発展を目指し、視聴ではなく体験となるコンテンツ作り、提供を今後も取り組んでいきたいと鋭意準備を進めております。</p>
	2 コミュニケーション	
	3 相談等の援助	
	4 健康管理	
	5 自傷他害への対応	
	6 活動	
	7 おやつ提供	
	8 施設環境	
	9 来所・帰宅	

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
	B
II. サービス提供のプロセス	B
	B
III. サービスの内容	A
	B

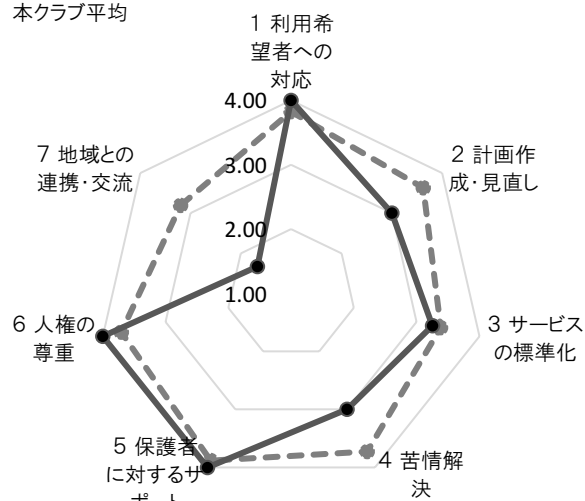
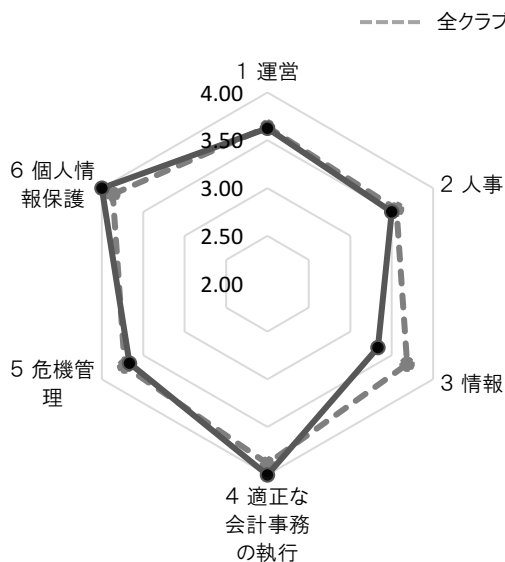


児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

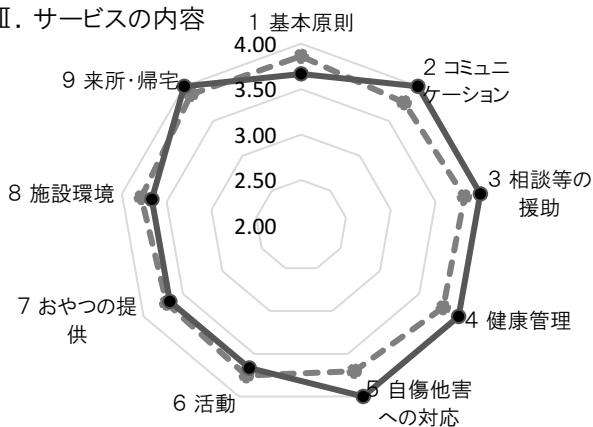
- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

I. 組織と運営

II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

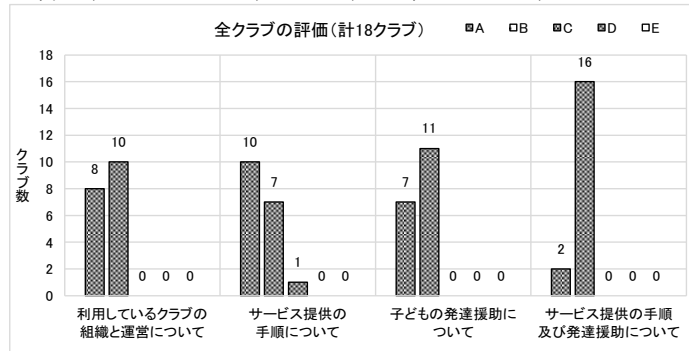


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B
	サービス提供の手順について	B
	子どもの発達援助について	B
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B

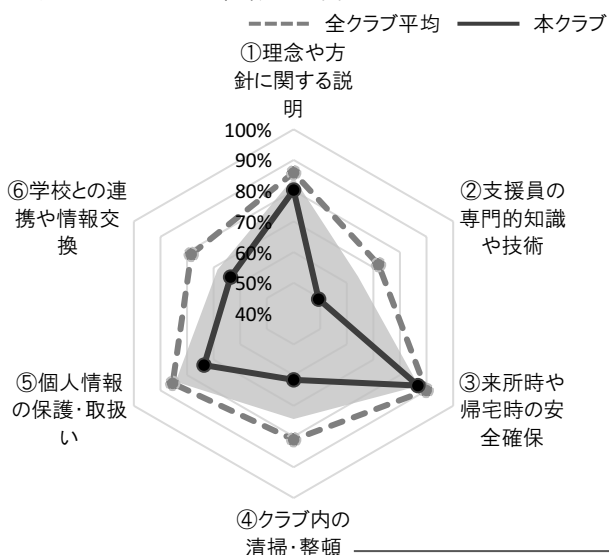


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

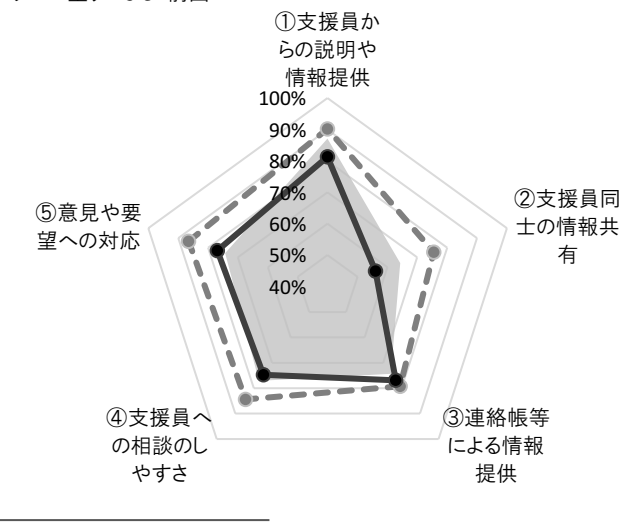
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

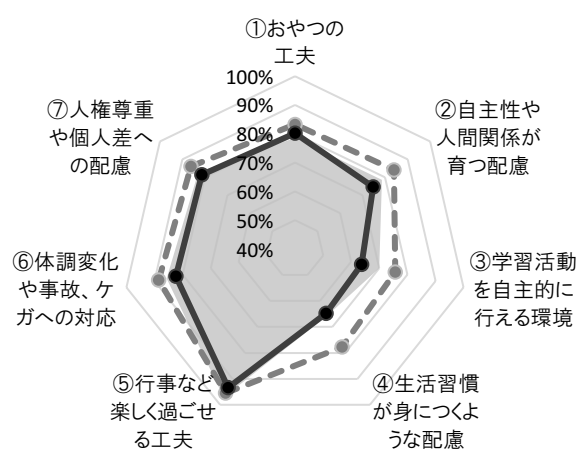


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

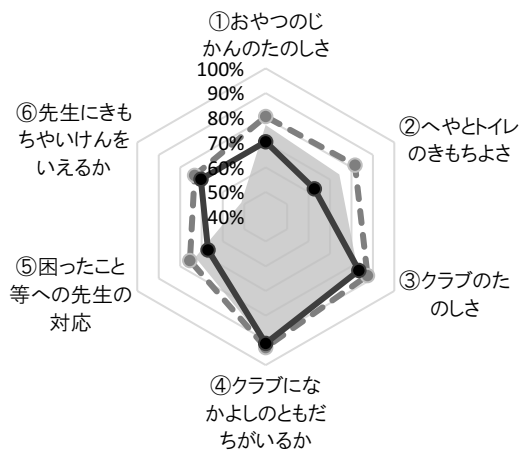


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

美浜北小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	株式会社明日葉						
クラブの所在地	浦安市美浜五丁目12番1号						
クラブの連絡先	電話	047-351-6050	F A X	047-351-6050			
当該クラブの運営開始日	平成 31年 4月 1日						
開設場所	小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)	定 員	70人		利用者数	45人		
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	3人	うち、男性	2人	うち、女性	1人
		有資格者数	保育士	1人	幼稚園教諭	1人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	6人	うち、男性	2人	うち、女性	4人
		有資格者数	保育士	0人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>子どもの明日を育み、今日を支える</p> <p>子どもが、今日を最も良く生き、望ましい「明日」を創り出す力の基礎を培う</p> <p>・自分も人も尊重できる子ども ・自分で考えて正しいことを選び取れる子ども</p> <p>・心も体もすこやかな子ども ・思いを適切に表現できる子ども</p>
-----------------------	---

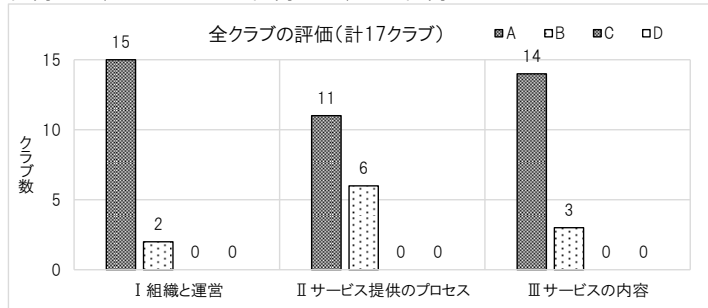
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
Ⅰ 組織と運営	1 運営	<p>3-② 毎月のおたよりには写真を多く使用し活動の様子が伝わるような工夫をしている。ハロウィン、クリスマスの時などは写真をいつもよりも多く撮り、活動の様子を見ることができるようにした。</p> <p>5-④ 手洗いには職員が水道場に付いて、安全に行えるように、またやり忘れが無い様に見守っている。</p> <p>5-⑤ 元給食調理をしていた職員がキッチンの衛生環境を整え、器具の使用法や洗い方、片付け方などを整備していき、菌やウイルスへの対策を行っていた。</p> <p>6-③ 個人情報の利用目的、特に写真や動画に関して、撮影の許可、おたよりなどでの使用の許可、保護者会での使用許可と細かく利用の許可をいただいている。</p>	<p>2-④ 個人での目標設定を資質向上に向かっていけるようにしていきたい。</p> <p>3-① 職員には意識の共有ができていたが、行事などで上手くいかない部分があったので、その原因を把握し改善していきたい。</p> <p>6-④ 面談は学校の工事の関係で使っていた教室が使用できなくなった期間だったので、クラブ室を使用した。配慮した環境で行えるように改善したい。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
Ⅱ サービスの提供	1 利用希望者への対応	<p>1-② 言葉の言い回しや使い方を変え、伝わりやすいように工夫をした。</p> <p>4 連絡カードや口頭にてご意見をいただくことがあった。その場でお答えできない部分に関しては本部と相談の上、青少年課にもご報告ご相談をさせていただき、それを元に保護者への対応とさせていた。また、そのご意思の内容を共有していただいた。また、そのご意思の内容を共有して対応方法も共有していくことで、保護者の方の不安を生まないように配慮していくことが出来た。</p>	<p>3-③ 新型コロナウイルスの影響もあり、実施が厳しい状況もあった。状態が改善され次第取り組みを進めていきたい。</p> <p>7-①②③ 地域との連携交流は新型コロナウイルスの影響もあり、今年度は厳しい状況もあった。可能になり次第進めていきたい。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
Ⅲ サービスの内容	1 基本原則	<p>6-③ 保護者の方からのご意見で「学習時間について」のご要望があった。</p> <p>学年や一人一人の意欲や集中力が違い、全体の流れとして時間を増やしてしまうのは負担が大きくなる子もいることを鑑みて、勉強ができるような環境を整え個人学習として行えるようにし、保護者、子どもたちにも周知した。</p> <p>また、個々で宿題をクラブで行うように声掛けを行った。</p> <p>他児童の保護者からは、確認をして忘れ物がある場合には連絡がほしいとのご要望があり、連絡をする体制を整えた。</p> <p>8-② 玩具の消毒、手が触れる場所の消毒を毎日行っている。特に人気のある玩具はこまめに消毒を行うなど臨機応変に行っていた。</p>	<p>5-② 必要に応じて専門家の協力を得る方法がまだ不足しているので、しっかり確認をしていき相談などを行ってきたい。</p> <p>6-① 自然との触れ合いは公園などで触れていきたかったが、コロナの為にできなかつた。また、社会体験も全く行えなかつたので、可能になり次第行っていけるようにしていきたい。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆ 運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	B
II サービス提供のプロセス	B
III サービスの内容	A

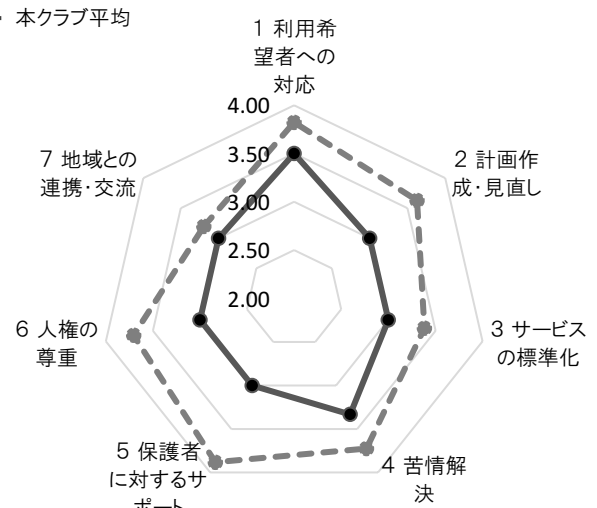
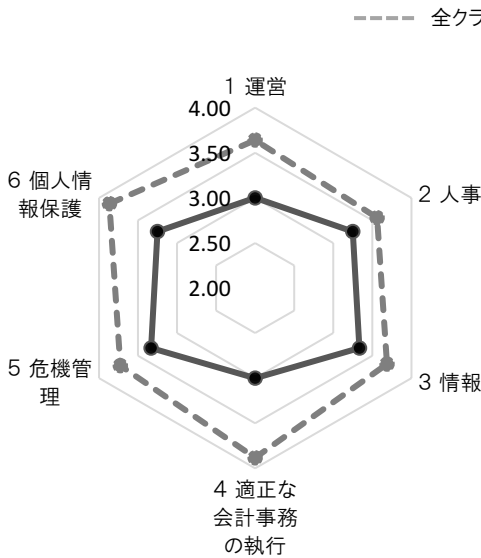


児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

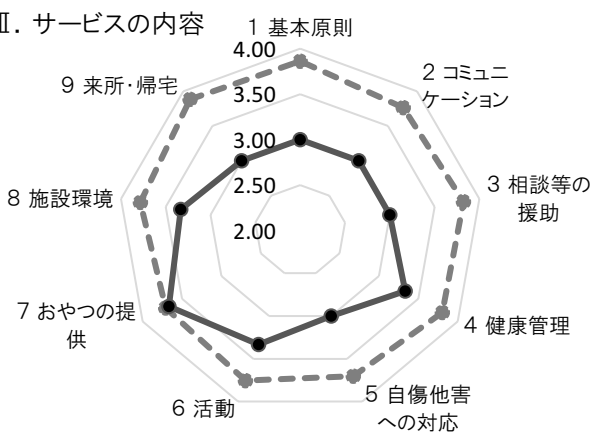
- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価：4＝優れた取り組みができています、3＝おおむねできている、2＝あまりできていない、1＝まったくできていない

I. 組織と運営

II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

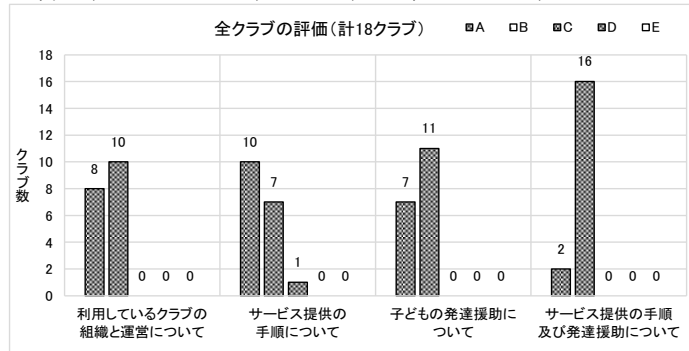


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B
	サービス提供の手順について	C
	子どもの発達援助について	B
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B

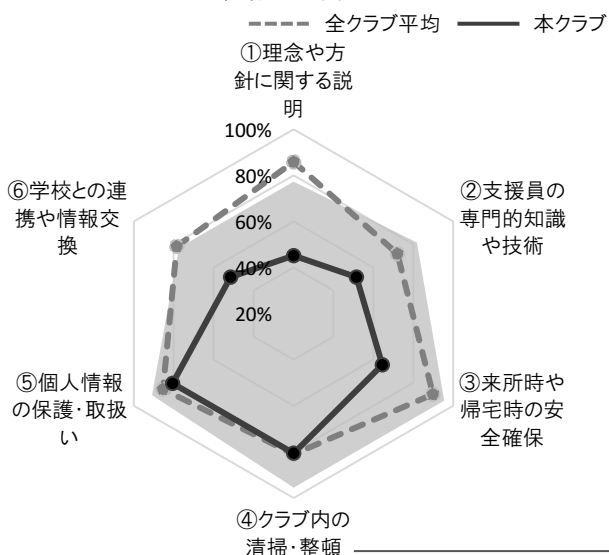


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

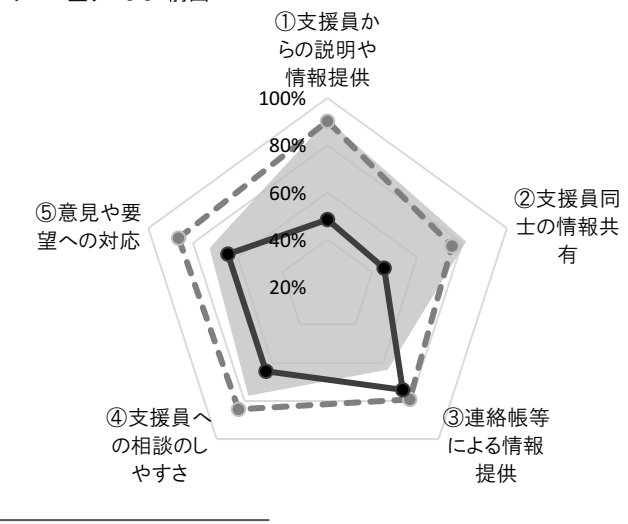
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

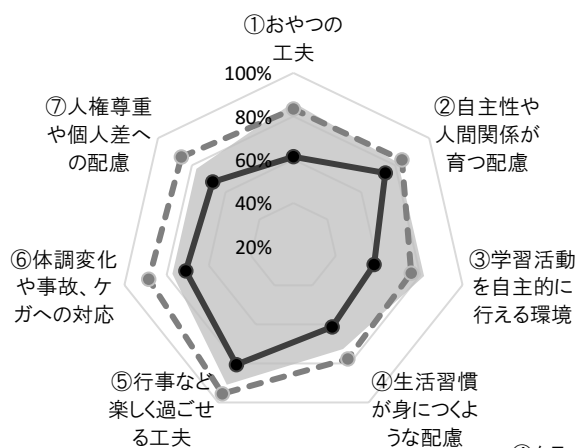


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

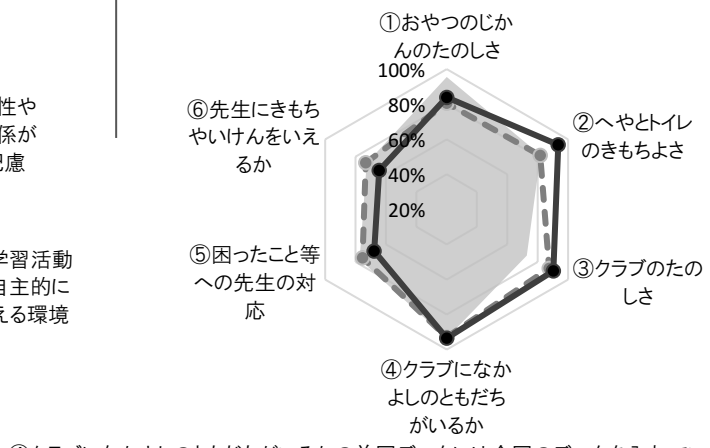


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

日の出小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		社会福祉法人わかみや福祉会						
クラブの所在地		浦安市日の出二丁目11番10号						
クラブの連絡先		電話	047-380-0666	F A X	047-380-0666			
当該クラブの運営開始日		平成 23年 4月 1日						
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地外						
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)		定 員	138人		利用者数	109人		
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	4人	うち、男性	2人	うち、女性	2人	
		有資格者数	保育士	2人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭	1人
	非常勤	職員数	16人	うち、男性	10人	うち、女性	6人	
		有資格者数	保育士	0人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭	0人

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と職員が力を合わせ、児童により良い環境を作る ・保護者が安心、安全を感じられるよう支援の充実を目指す ・子育て相談機関としての役割を自覚し、地域に開かれたうらっこクラブの運営を目指す
-----------------------	---

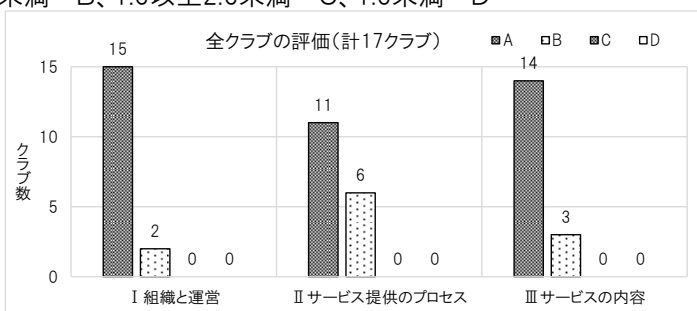
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
Ⅰ ・組織と運営	1 運営	保育のプロとして、職員間のチームワークと子どもと保護者を思う気持ちを大切にしている。 放課後子ども教室との定例の会議を通して情報共有を行い、一体となって小学校の全校生徒を見守っている。 必要に応じて、家庭と専門機関を繋ぐ役割を果たしている。	利用者と保護者に確実に伝達事項が伝わるようにお便りや保護者会の改善を図っていく。 災害時、緊急時を再現した環境を設定した避難訓練の実施。感染禍に対応した安全な訓練方法を検討していく。
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
Ⅱ ・サービス提供の	1 利用希望者への対応	利用者や保護者の不安や悩みを受け止めて全職員で共有し、時には関係機関と連携を取り支援している。 近隣保育園、老人介護施設、大学と連携をして、子どもたちの心を育てるための交流をしている。 子ども達の興味・関心を常に意識して、職員間で話し合い様々な活動を計画している。	支援マニュアルを定期的に見直し、内容を更新していく。 地域との共育を行っていくために、小学校、保育園・老人施設・近隣自治会との連携を更に高め、育成クラブへの理解と協力を得る。 放課後子ども教室との連携をより強化して、一体的に小学校の全児童を見守る。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
Ⅲ ・サービスの内容	1 基本原則	職員の得意分野を活かし、子どもたちに様々な遊び、行事を提供している。 子どもたちが主体となり、進めていく行事の企画、実施をしている。 気になる児童や支援児は小学校の校長、SLCや担任の先生との連携を密にするために、定期的な情報交換を行っている。支援児を職員と健常児で見守っていく支援スタイルを実現している。 子ども一人ひとりの思いを大切に、かつ保護者に寄り添い、包括的に支援している。	手作りおやつが出来ず、友達と楽しくおやつを食べられない状況下でも、子ども達の心が安らぐような献立を検討していく。 日々の行事や工作教室に参加しない児童がいるので、多様性に富んだ企画を考案し実施する。 感染禍の中で子ども達が楽しめる様な、新しい生活様式に則した新しい行事を考案していく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II. サービス提供のプロセス	A
III. サービスの内容	A

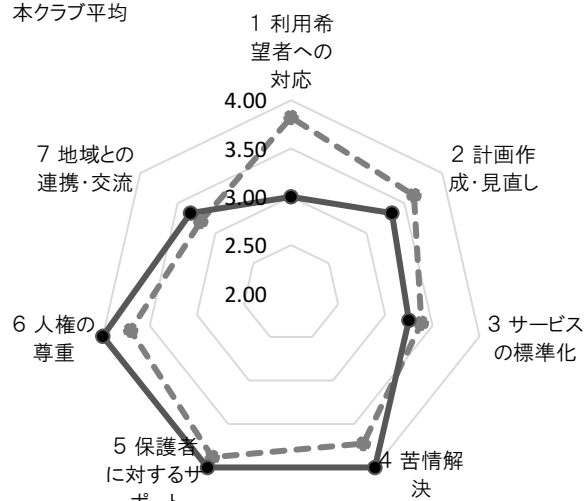
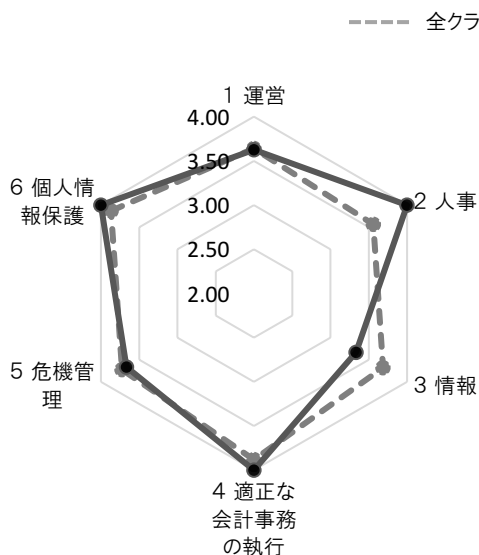


児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

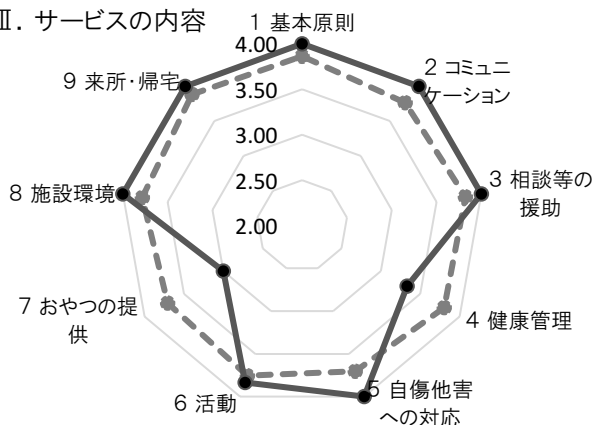
- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができて、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

I. 組織と運営

II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

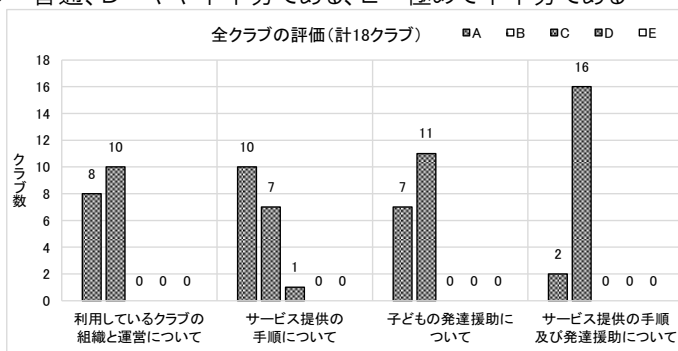


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A
	サービス提供の手順について	B
	子どもの発達援助について	B
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B

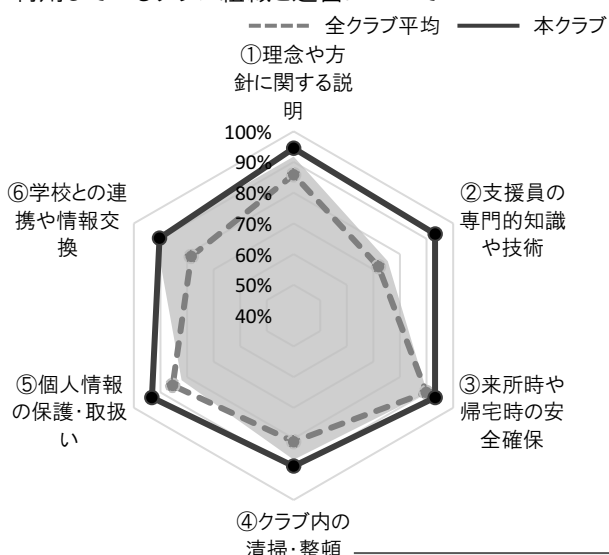


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

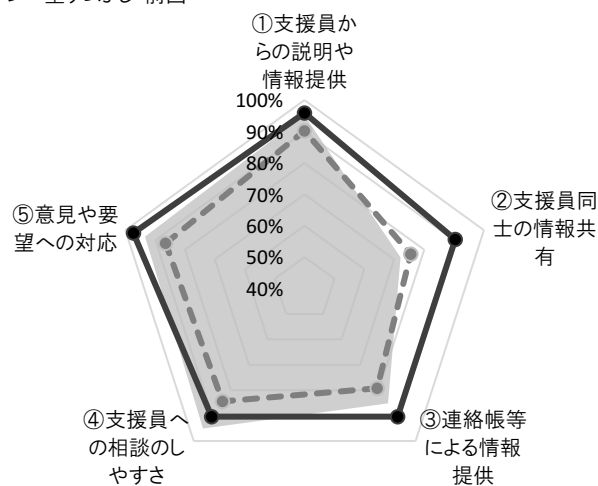
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

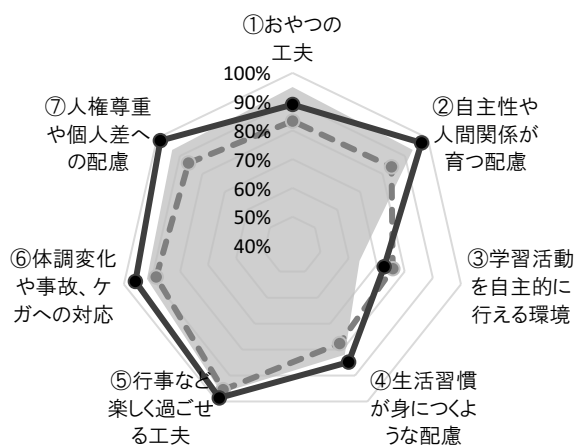


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

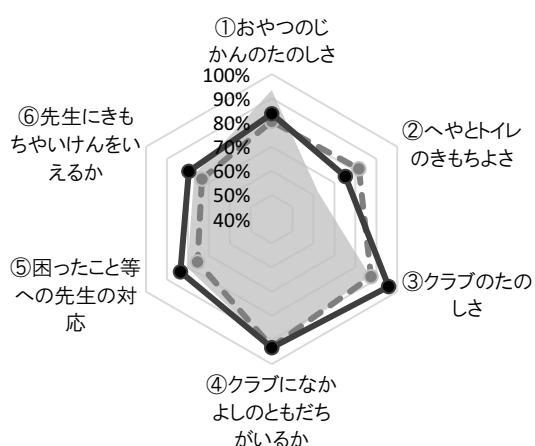


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れています。

評価結果

令和2年度

明海小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ						
クラブの所在地	浦安市明海二丁目13番1号						
クラブの連絡先	電話	047-305-0220	F A X	047-305-0220			
当該クラブの運営開始日	平成 21年 4月 1日						
開設場所	小学校敷地外／その他(明海認定こども園)						
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)	定 員	120人		利用者数	112人		
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	5人	うち、男性	2人	うち、女性	3人
		有資格者数	保育士	1人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭
	非常勤	職員数	5人	うち、男性	2人	うち、女性	3人
		有資格者数	保育士	0人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の自主性、自発性、創造性を育てます。 ・子どもたちの「やりたい」をできるに変える」サポートをしていきます。 ・子どもたちを真ん中に地域で子育てに取り組んでいけるようパイプ役になっていきます。
-----------------------	---

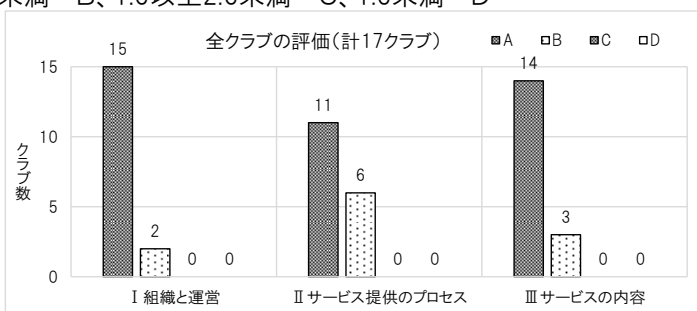
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I ・ 組 織 と 運 営	1 運営	支援員一人ひとりが経営者として、運営に責任を持っている。毎日のミーティングや毎月の会議において話し合いや情報の共有を頻繁に行い、支援に活かすようにしている。 また、同事業者2クラブが連携してマニュアル作成を行うことで、運営体制を整えている。それと共に、ほぼ毎月合同で研修会を行い、学びを深めるとともに支援員同士で情報交換を行っている。	支援員が保護者、学校、地域の連携をはかり一緒に子どもを育てていけますます働きかけていく。支援員研修の内容を充実することで、継続して働きやすい環境を整えていきたい。 利用者が意見を出したり相談したりしやすくなるようなシステムを作っている。 (寄り道カフェ・よろず相談カフェ)
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
II ・ サ ー ビ ス の 提 供 の 内 容	1 利用希望者への対応	子どもを中心に、子どもが主役になれるような支援を目指している。自分たちで生活や遊びの決まりを考えたり、行事においては、実行委員を立て企画するところから子どもが参加できるようにしてきた。運営においては、地域で子育てをするという視点を大切にしており、地域のイベントにも積極的に参加している。	継続してお世話になっている自治会の方、近隣の幼保育園、地域の達人と、さらに関わり合いが持てるようになっていきたい。そのことによって、子ども自身が地域の方々に見守られながら大切に育てられているという実感を持てるようにしたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III ・ サ ー ビ ス の 内 容	1 基本原則	子ども達にとって安心できる居場所になるようにしている。季節や伝統行事を大切にしながら、子ども達と共に自主性、自発性、創造性を育てるような行事を企画、実行している。 おやつに関しては、スナック菓子ではなく、手作りで安心して食べられるものを提供している。	遊びや生活の中で、異学年、支援児が自然に関わりが持てるように、工夫していきたい。子ども達が安全に過ごせる環境づくりをしていきたい。行事においては、今年度以上に子どもの参加や活躍の場を増やしていきたい。興味・関心に合うレベルや内容を一緒に選び、実践を積み重ねること。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

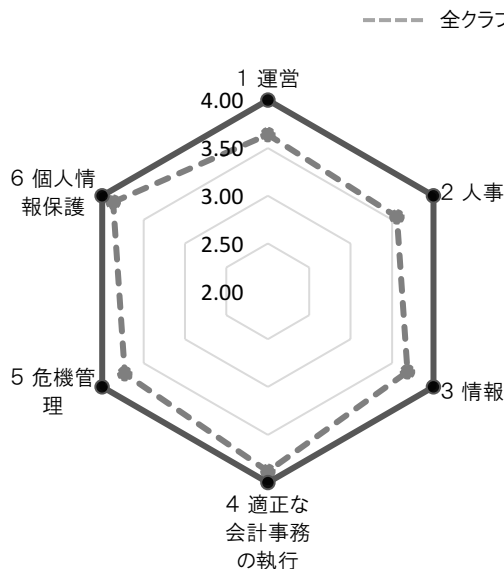
評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II. サービス提供のプロセス	A
	B
III. サービスの内容	A
	B



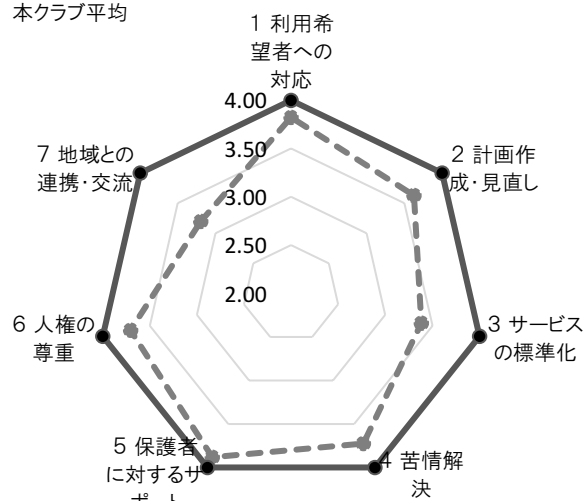
児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができています、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

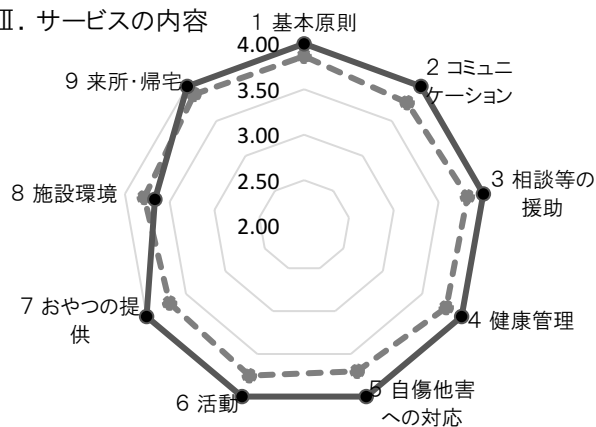
I. 組織と運営



II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

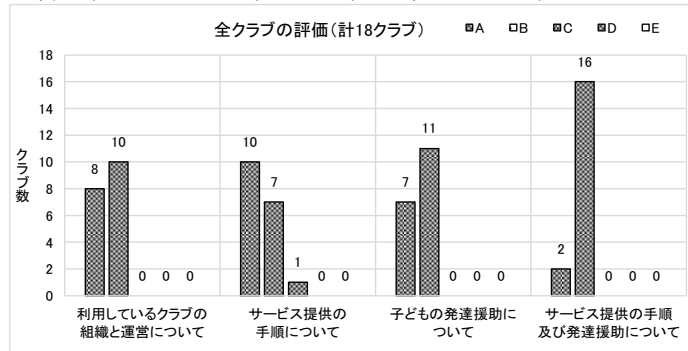


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B
	サービス提供の手順について	A
	子どもの発達援助について	A
	サービス提供の手順及び発達援助について	A
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	A

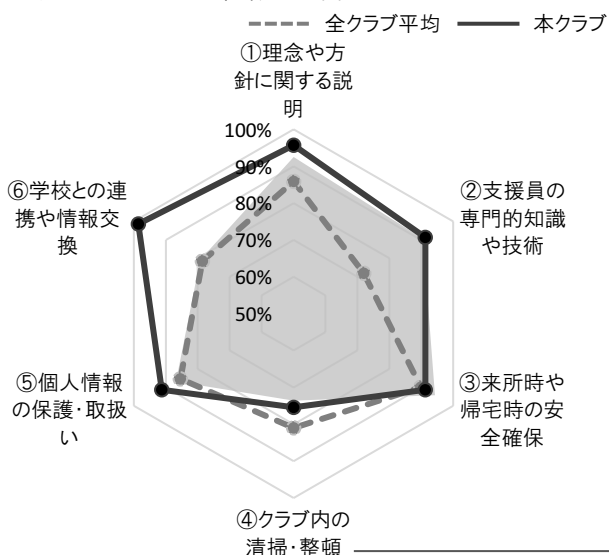


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

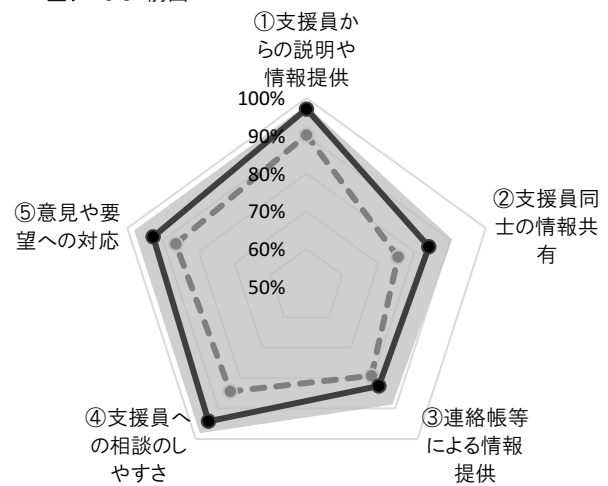
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

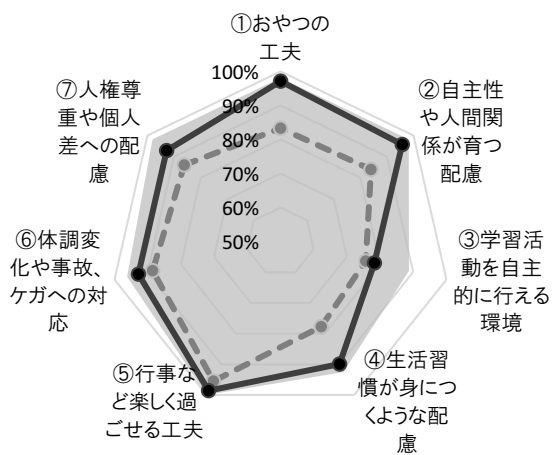


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

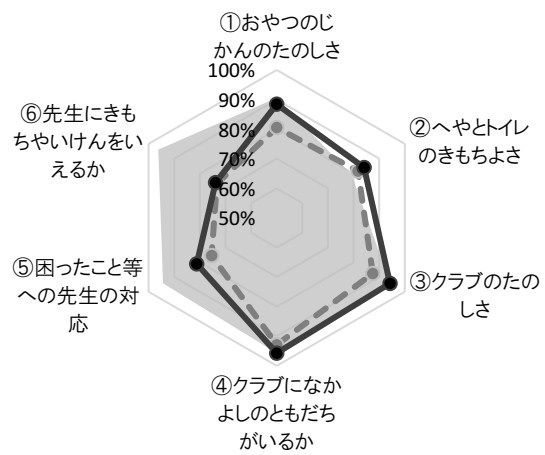


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

高洲小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社日本デイケアセンター							
クラブの所在地		浦安市高洲四丁目2番8号							
クラブの連絡先		電話	047-351-1015	F A X	047-351-1015				
当該クラブの運営開始日		平成 15年 4月 1日							
開設場所		小学校敷地外							
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)		定 員		170人		利用者数		130人	
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	10人	うち、男性		2人	うち、女性		8人
		有資格者数		保育士	1人	幼稚園 教諭	1人	幼稚園以 外の教諭	2人
	非常勤	職員数	13人	うち、男性		1人	うち、女性		12人
		有資格者数		保育士	2人	幼稚園 教諭	1人	幼稚園以 外の教諭	1人

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	「あかるく・たくましく・生きる“ちから”のある子ども」の健全育成
-----------------------	----------------------------------

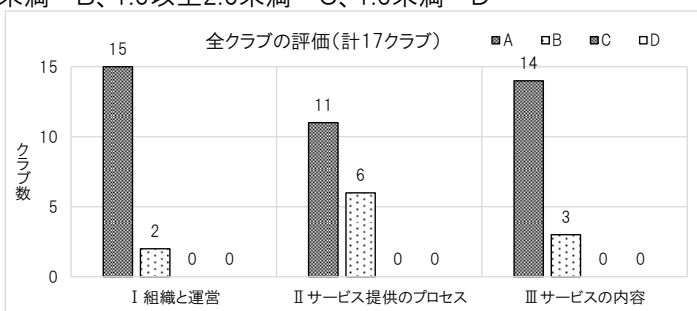
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
Ⅰ ・ 組 織 と 運 営	1 運営	経験の長い支援員も多く安定している クラブの情報がたより・メール・掲示物を通し保護者にも細かく伝わっている。 児童の「楽しい」と保護者の「安心」が両立できる時間配分やシステムになっている。 責任者との面談・研修などが積極的に行われている。	市から提供されるアプリの内容がこれから充実すると、保護者の安心感につながるので、協力していきたい。 緊急時の訓練を全支援員に対し定期的に行いたい。 研修で学んだ知識を全員が発表できるようになると良い。
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
Ⅱ ・ サ ー ビ ス の 提 供 の 内 容	1 利用希望者への対応	季節にちなんだイベントが多く児童に楽しんでもらえている。 毎日のミーティングで情報共有化がおこなわれ、方向性の統一もできている 児童が何でも発言することのできる「なんでもBOX」の活用を行っている。 保護者とのコミュニケーションを積極的にとるようにしている。	コロナ禍でも工夫をしながら、サービスの提供を行ってきたい。 新人や実習生などにもわかりやすい導入用のマニュアルの作成ができるとよい。 コロナが落ち着いたら、地域との交流をまた行いたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
Ⅲ ・ サ ー ビ ス の 内 容	1 基本原則	コロナ禍でも可能な範囲でのイベントに 取り組み、様々な体験をさせられた。 担任制度をうまく活用し、児童の個性や気になる点など全支援員が幅広く知ることができる。 ちいさなケガでも保護者へお伝えができるケガメモの活用がある。	保育について専門家から学ぶ機会を増やし、全職員が受講できるような機会を増やしたい。 意識の高さが支援員によって差があるため、向上心の高められるような取り組み、きっかけ作りを行いたい。 施設自体の老朽化で毎日清掃を行っても清潔な状態が保てない部分がある。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

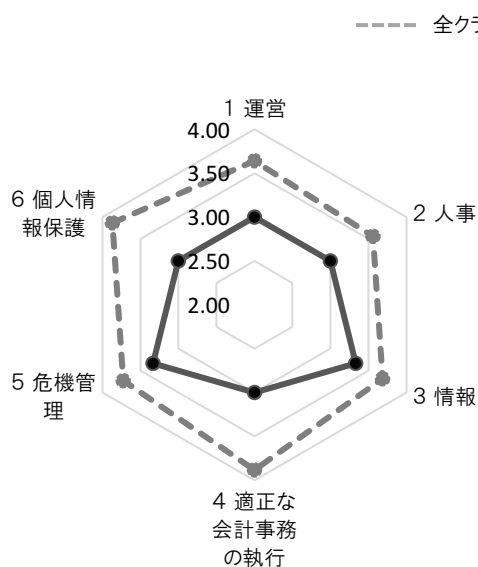
評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	B
	A
II. サービス提供のプロセス	B
	A
III. サービスの内容	B
	A



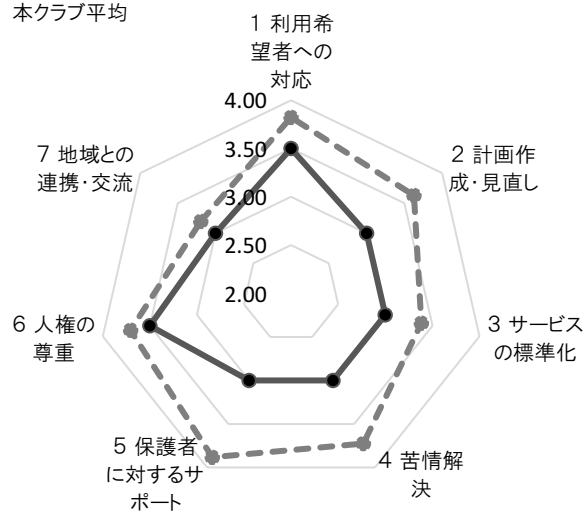
児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができて、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

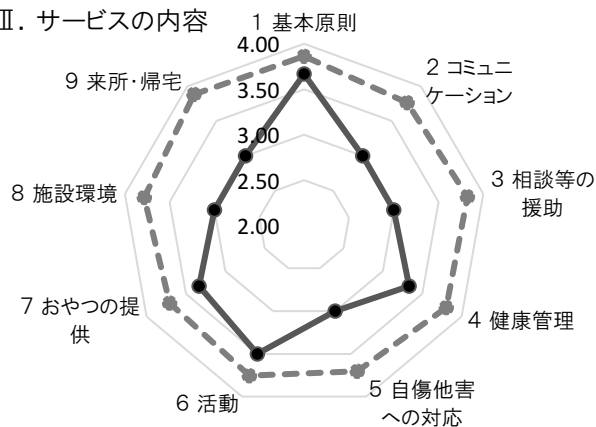
I. 組織と運営



II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

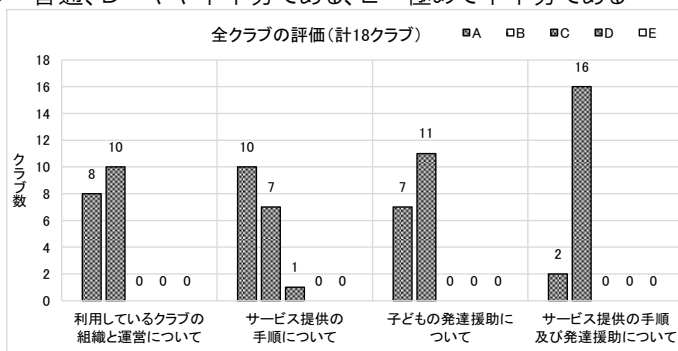


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A
	サービス提供の手順について	B
	子どもの発達援助について	A
	子どもの発達援助について	A
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	A

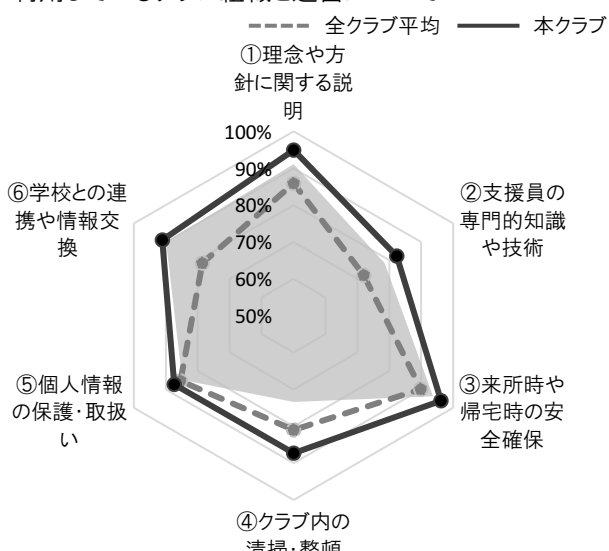


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

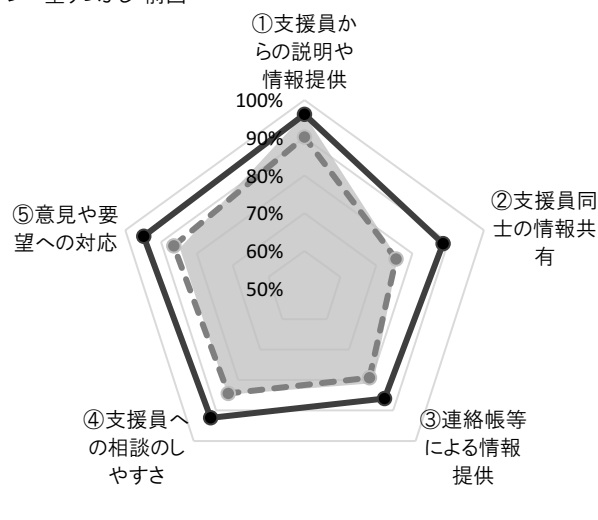
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

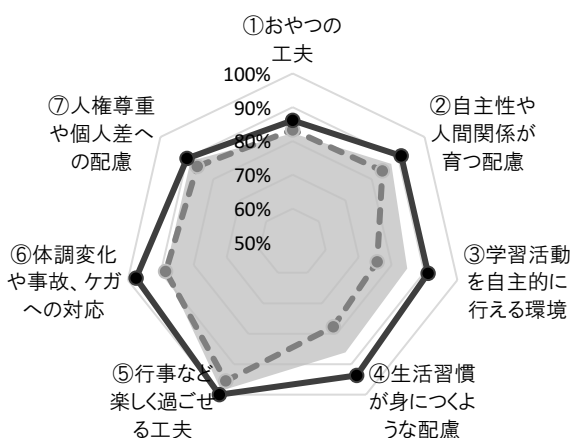


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

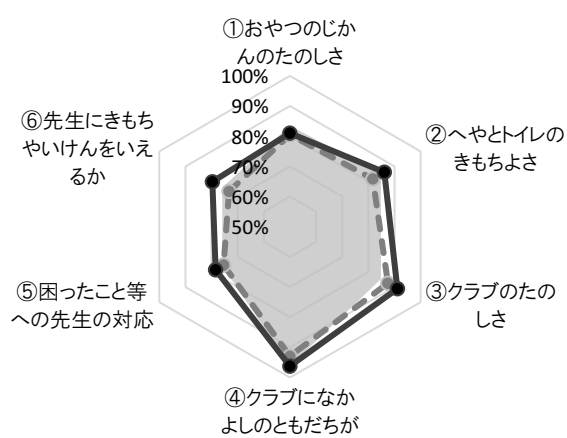


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データは今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

日の出南小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	ライクアカデミー株式会社						
クラブの所在地	浦安市日の出五丁目4番3号						
クラブの連絡先	電話	047-305-1345	F A X	047-305-1345			
当該クラブの運営開始日	平成 24年 4月 1日						
開設場所	小学校校舎内／小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)	定 員	120人		利用者数	114人		
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	7人	うち、男性	2人	うち、女性	5人
		有資格者数	保育士	2人	幼稚園教諭	1人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	7人	うち、男性	2人	うち、女性	5人
		有資格者数	保育士	1人	幼稚園教諭	1人	幼稚園以外の教諭

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	「子どもにとって一番良いことをする」ことを活動の基本にしている。 一人一人の人権を尊重し、必要な支援や配慮を行うことが、保護者にとって、「安心・安全」な預け先として信頼されることに繋がっていきと考えている。
-----------------------	--

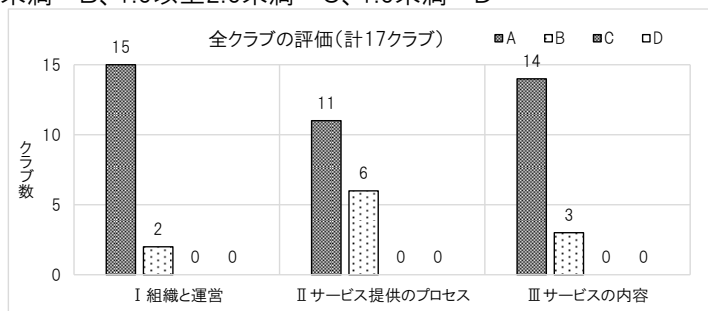
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I ・ 組 織 と 運 営	1 運営	運営指針を基に作成した、「日の出南が目指すべき施設の目標」を明確にしている。毎日読み上げを行い、そのため、支援員間の意思の疎通がスムーズであり、子どもにとって最善の利益を考え活動内容を決めている。子どもの小さな変化にもすぐに気が付くことが出来、情報共有も迅速な為、問題が起きてもすぐに解決へとつながっている。	次年度に施設で定期的な勉強会を企画中。児童の発達段階、危機管理、保健衛生など現場に即した内容を考えている。経験の浅い支援員が理解しやすい勉強会にすることで、経験が長い支援員が講師役になり、双方に学びの多い勉強会にしていきたい。
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
II ・ サ ー ビ ス の 提 供 の 内 容	1 利用希望者への対応	子どもが自ら安全を意識した生活が送れるよう、交通安全や不審者対策なども取り入れた避難訓練を毎月実施。その様子はインターネット回線を使って毎回保護者へ伝えている。これは緊急時保護者が速やかにネットへ接続できる意味も含んでいる。個人情報保護の観点から支援員のSNS利用なども、職業倫理に基づいた利用をするよう注意喚起をしている。	子ども向けのSNSの使い方を伝える方法を考えていきたい。話の中で低学年でも相当数の子が毎日長い時間ユーチューブを閲覧していることがわかり、保護者からも相談を受けることがある。SNSとの上手な付き合い方をポスターなどでも知らせていく。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III ・ サ ー ビ ス の 内 容	1 基本原則	コロナ禍で育成室を4部屋に分けている。この結果、一クラスの人数が20数名になり、子どもたちが落ち着いて過ごせた。担任が細かく支援できることにもつながり、パニックを起こしやすい子ども回数がぐっと減ることにつながった。生活習慣の会得なども個人に合わせた支援が出来ている。	学年ごとにクラスを分けることで異学年の交流が少なくなっているのが課題。室内では密を避けるため、積極的な交流を持つことが出来ないが、校庭で遊ぶ時などは交流が持てるような働きかけを行っている。引き続き、さらに交流を促進するような遊びを考えていきたい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

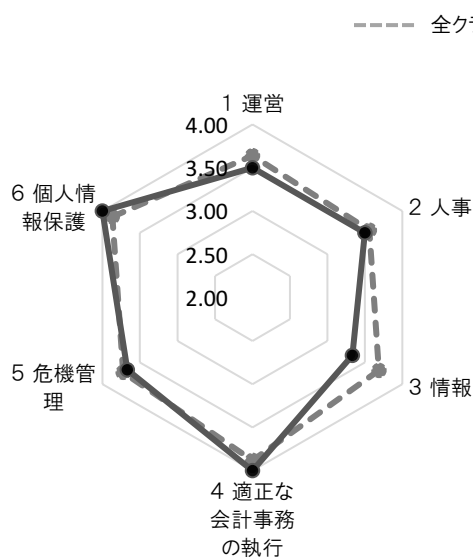
評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II. サービス提供のプロセス	A
III. サービスの内容	A



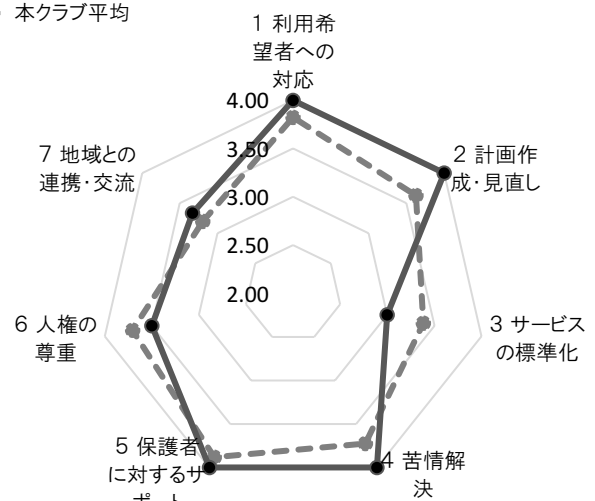
児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができています、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

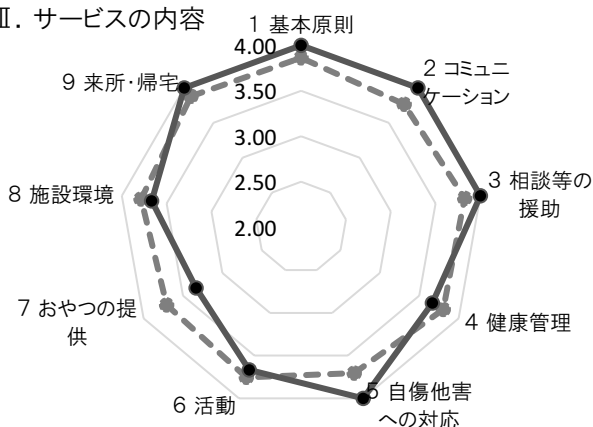
I. 組織と運営



II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

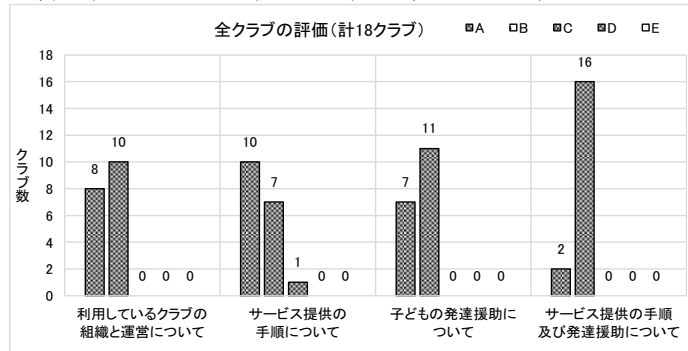


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A
	サービス提供の手順について	A
	子どもの発達援助について	A
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B

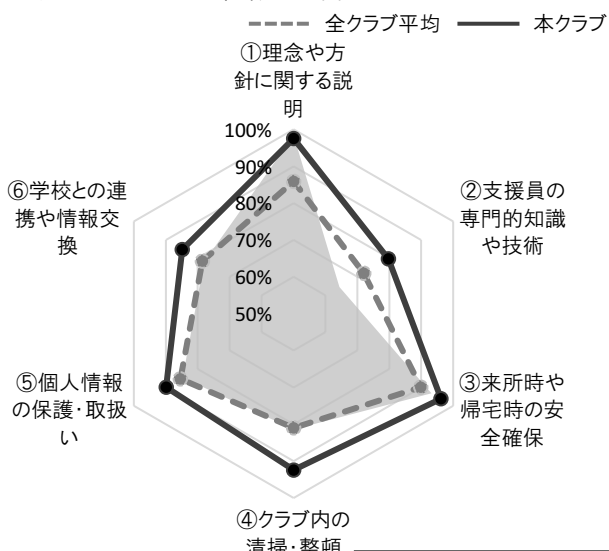


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

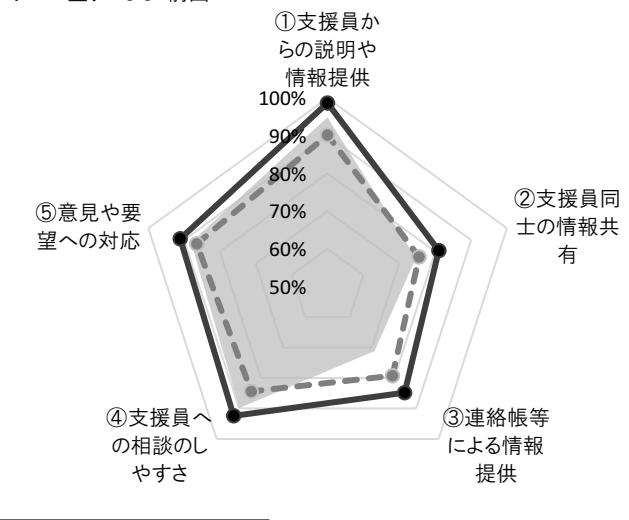
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

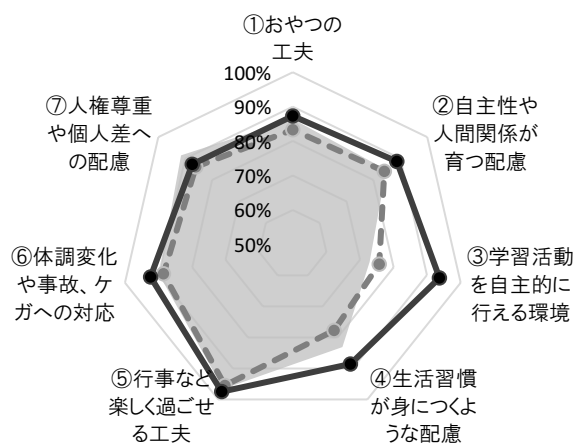


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

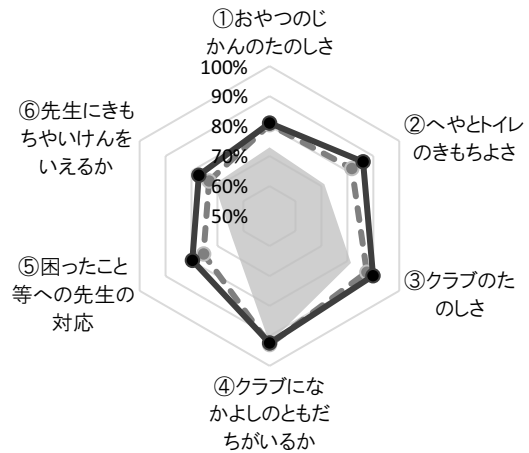


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

明海南小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社日本デイケアセンター						
クラブの所在地		浦安市明海五丁目5番1号						
クラブの連絡先		電話	047-382-2901	F A X	047-382-2901			
当該クラブの運営開始日		平成 21年 4月 1日						
開設場所		小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)		定 員	80人		利用者数	65人		
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	4人	うち、男性	1人	うち、女性	3人	
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭
	非常勤	職員数	6人	うち、男性	1人	うち、女性	5人	
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>児童にとってより安全で居心地のよい環境を提供する為に、日頃より保護者・学校との連携を大切にしている。</p> <p>子ども自身が、学童生活の中にある人との関わりや様々な体験を通じて「相手を思いやる気持ち」「人を大切に作る心」を育てて行けるよう、支援員が同じ方向を向き保育に取り組んでいる。</p>
-----------------------	---

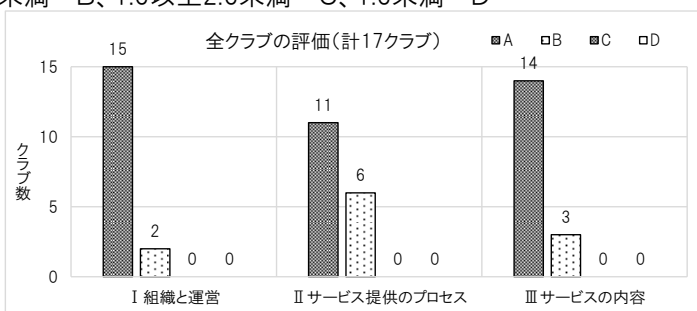
	事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I ・ 組 織 と 運 営	1 運営	<p>マネージャーとの連携を密にし、市との情報共有に今後もより一層努めていく。</p> <p>年二回マネージャーによる面談を行っており今後はさらに回数を増やし長期的な具体対策実現に努めていく。</p> <p>また、各自支援員としての自覚、目標を持ち、互いに認め合い、高め合いながら目標達成に向けて仕事に取り組んでいく。</p> <p>浦安市内で、日本デイケアセンターが運営する施設に支援員が出向き、資質向上のための研修を行っている。</p> <p>各施設で子どもの特性も異なるので各支援員が目標を持ち保育をすることにより、各自目標や課題など見つかる力が身に着くよう取り組んでいる。</p>
	2 人事	
	3 情報	
	4 適正な会計事務の執行	
	5 危機管理	
	6 個人情報保護	
II ・ サ ー ビ ス 提 供 の	1 利用希望者への対応	<p>子どもの意思尊重、子どもの状況に合った支援方法、支援が必要な子どもを子どもたち自身が認め合えるような環境づくりをしていくために、毎日のミーティングで協議すると共に現状に満足しないよう、支援員自身の日々資質向上に努めていく。</p>
	2 計画作成・見直し	
	3 サービスの標準化	
	4 苦情解決	
	5 保護者に対するサポート	
	6 人権の尊重	
	7 地域との連携・交流	
III ・ サ ー ビ ス の 内 容	1 基本原則	<p>アレルギー疾患のある子どもに対する食品への配慮やアナフィラキシーショック発症時の対処法、熱性けいれんの対処について、全支援員が情報を共有し適切に対応しているが、今後どのようなアレルギー症状を持つ児童にも対応できるよう、また突然のアレルギー症状等にも迅速な対応が出来るよう、さらなる知識向上の為、積極的に研修への参加をする等努めていく。</p> <p>またこれからも定期的に確認するとともに、他事業者他クラブの事例をふまえた情報共有を今後も続けて行い、いかなる状況でも対処できるよう備えていく。</p>
	2 コミュニケーション	
	3 相談等の援助	
	4 健康管理	
	5 自傷他害への対応	
	6 活動	
	7 おやつ提供	
	8 施設環境	
	9 来所・帰宅	

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

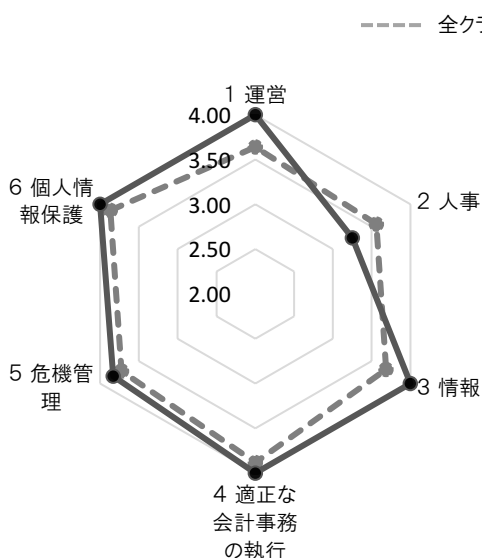
評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II. サービス提供のプロセス	A
III. サービスの内容	A



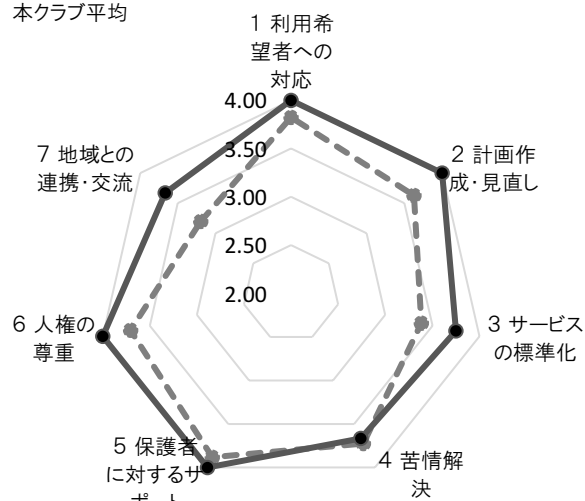
児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができています、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

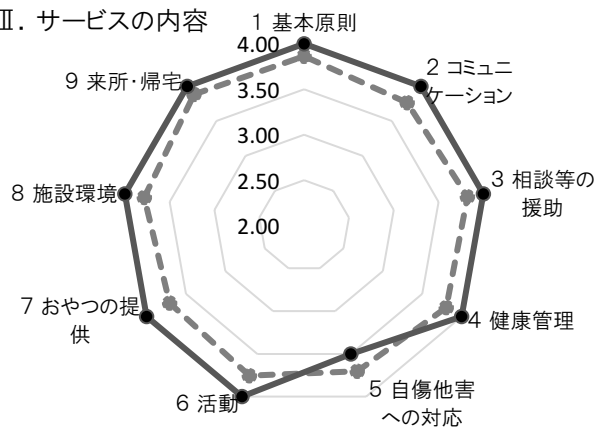
I. 組織と運営



II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

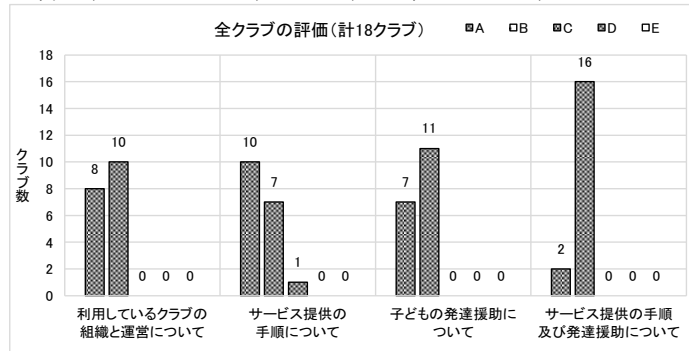


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A
	サービス提供の手順について	A
	子どもの発達援助について	A
	サービス提供の手順及び発達援助について	A
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	A

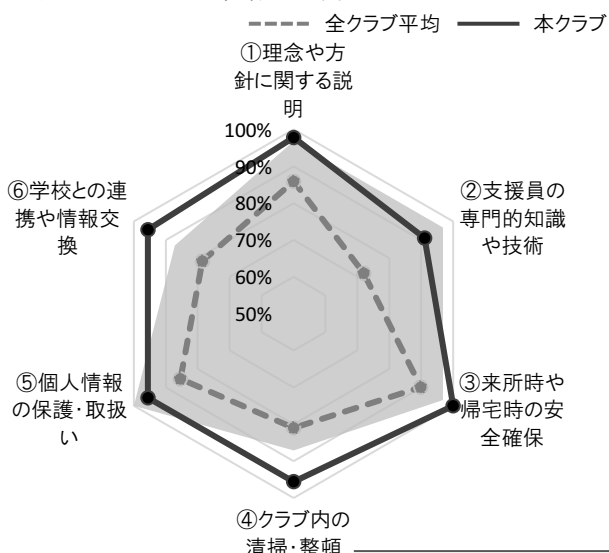


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

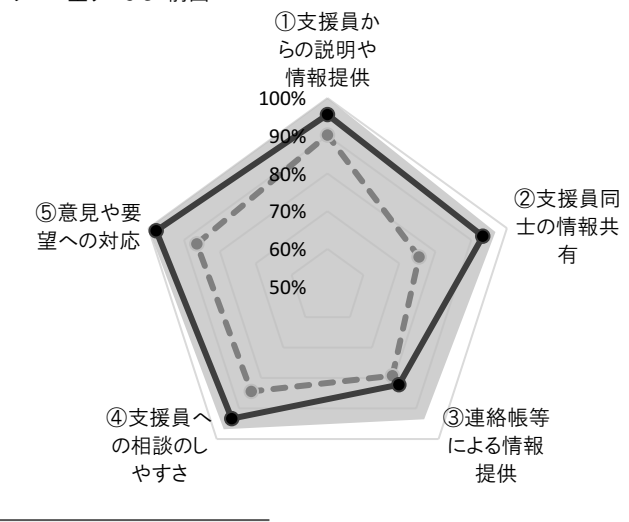
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

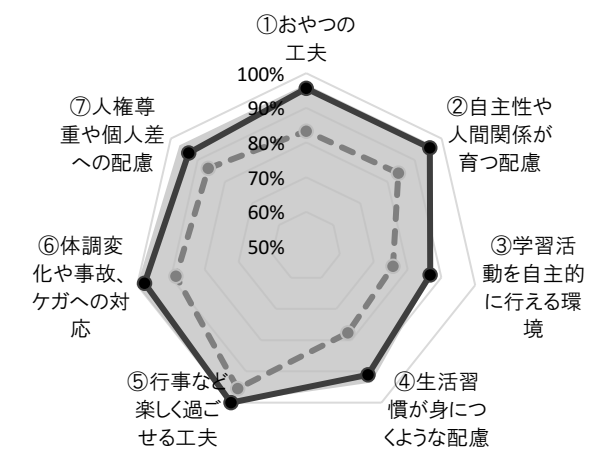


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

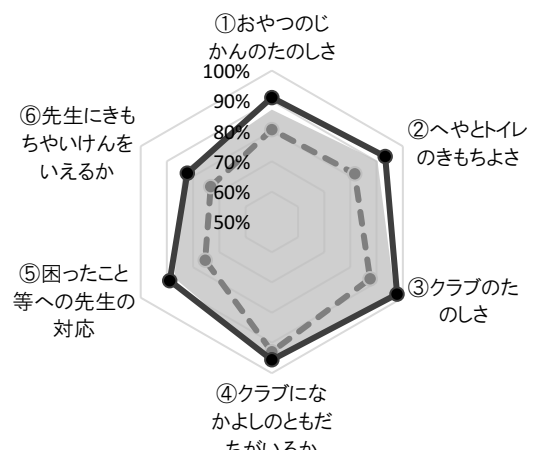


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

高洲北小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	ライクアカデミー株式会社							
クラブの所在地	浦安市高洲二丁目2番1号							
クラブの連絡先	電話	047-381-5201	F A X	047-381-5201				
当該クラブの運営開始日	平成 18年 4月 1日							
開設場所	小学校校舎内／小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)	定 員	170人		利用者数	94人			
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	5人	うち、男性	0人	うち、女性	5人	
		有資格者数		保育士	0人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	12人	うち、男性	1人	うち、女性	11人	
		有資格者数		保育士	2人	幼稚園教諭	0人	幼稚園以外の教諭

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>1. あたたかな環境の中で、一人ひとりの心に寄り添い、子どもにとって、ありのままの姿を何のためらいもなく出せる場所であること。</p> <p>2. 自己肯定感を育む場所であること。</p> <p>上記2点を常に大切にしています。</p> <p>保護者の方々には信頼してお子さんを預けていただけるように支援員一人ひとりが自覚と責任を持って、施設運営に努めております。環境整備を基本とした安全管理を保護者の安心につなげます。</p>
-----------------------	---

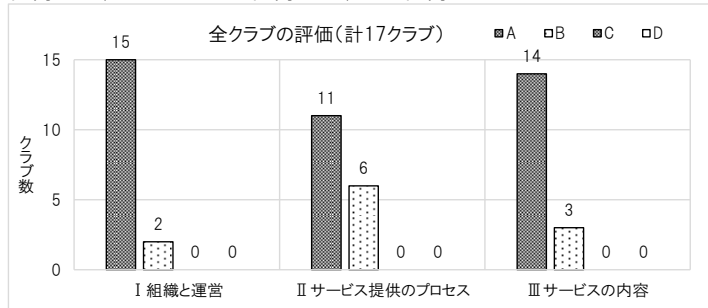
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I ・ 組 織 と 運 営	1 運営	保護者や、児童一人ひとりと丁寧に向き合い、貴重な意見やニーズ、思いに耳を傾けることができました。運営事業者と検討を繰り返しながら、最善のサービスを提供すること、児童が安全安心の中で主体的に活動できる運営ができました。	全支援員が高い意識を持って、業務に取り組むには、スキルや、認識に差があり、利用者に対して、十分なサービスを提供できたとは言い難いため、支援員のスキルアップや底上げを図り、支援員によって、対応の差が生じないように、改善していきたいです。
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
II ・ サ ー ビ ス の 提 供	1 利用希望者への対応	利用者の不安感や心配事を察することができるように、配慮しながら寄り添った対応ができました。事前に丁寧な説明を行うように心がけました。行事に関しては、大幅に変えることなく、毎年の反省、改善を通じて、今年度ベストな企画ができたと感じます。	顔を合わせるが少ない保護者に対しては、まだ理解を得られていないことが多いと思うので、全支援員が同じ対応ができるように、全体で共有し、一丸となって運営にあたっていることをアピールできるように、支援員全体で改善、努力をしていきたいと思います。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III ・ サ ー ビ ス の 内 容	1 基本原則	夏に個人情報の取り扱いについて、利用者へ多大な迷惑をかけてしまいました。迅速な対応を優先し、メール配信を活用させたことにより、結果、重大なミスを引き起こしてしまいました。本来の業務や最優先事項を見直し、改善に取り組むよう努めました。	あらためて“サービスとはなにか”を考え、今までの反省点や改善点など支援員一人ひとりが受け止め、再発防止に努めていきます。また、利便性を求めるのか、正確性を求めるのか、1つずつ、業務を見直し、クラブの運営や行事計画など、利用者の信頼を取り戻せるように努力していきます。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II サービス提供のプロセス	A
III サービスの内容	A

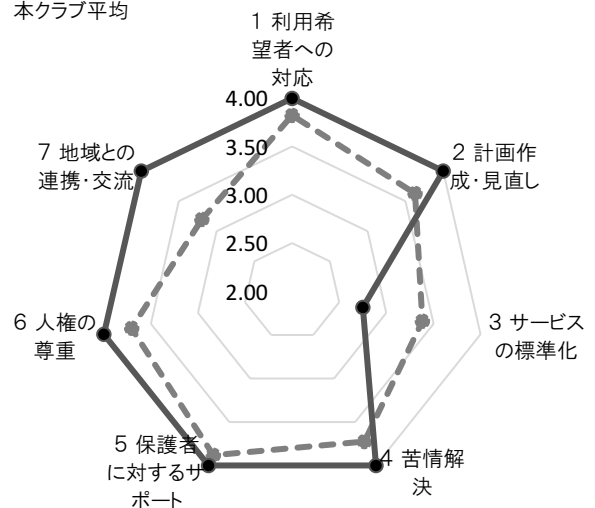
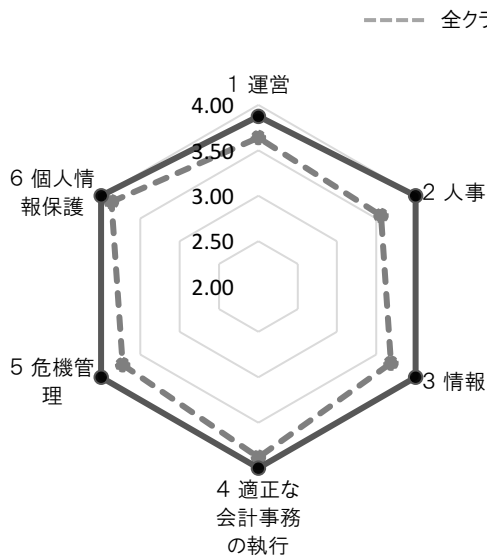


児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

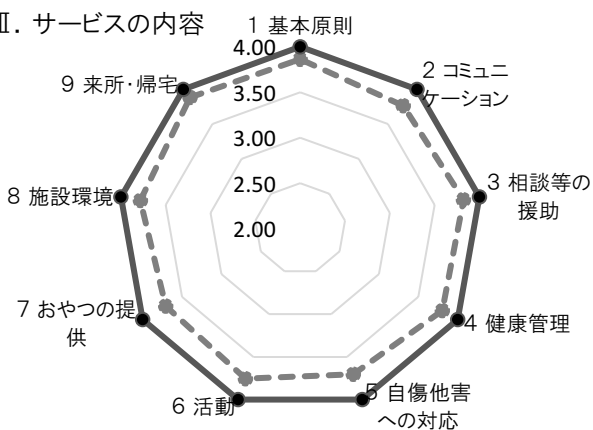
- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価：4＝優れた取り組みができていて、3＝おおむねできていて、2＝あまりできていない、1＝まったくできていない

I. 組織と運営

II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

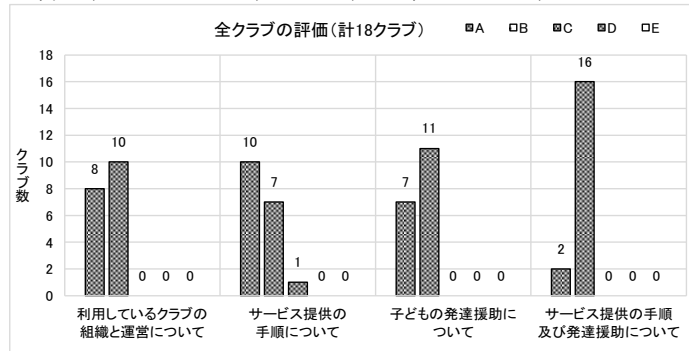


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B
	サービス提供の手順について	A
	子どもの発達援助について	B
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B

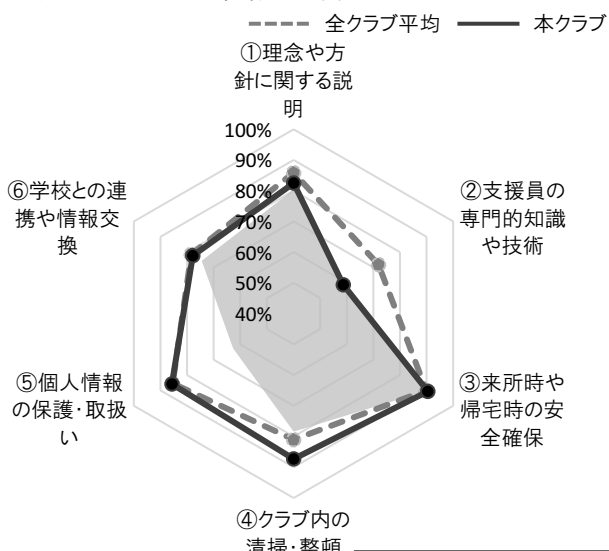


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

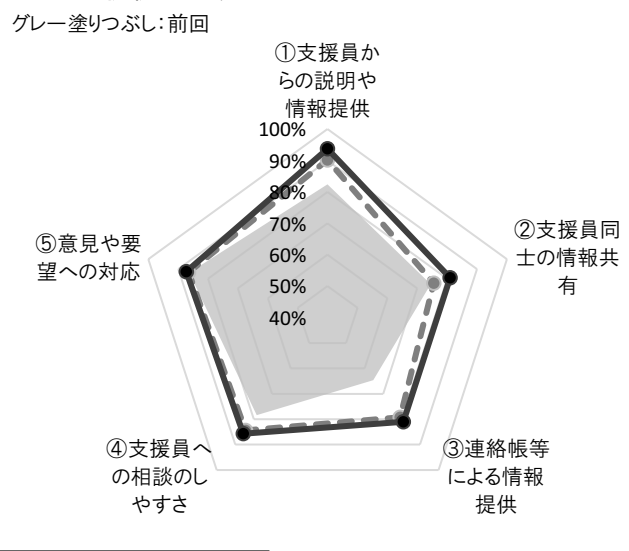
- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

I 保護者の回答

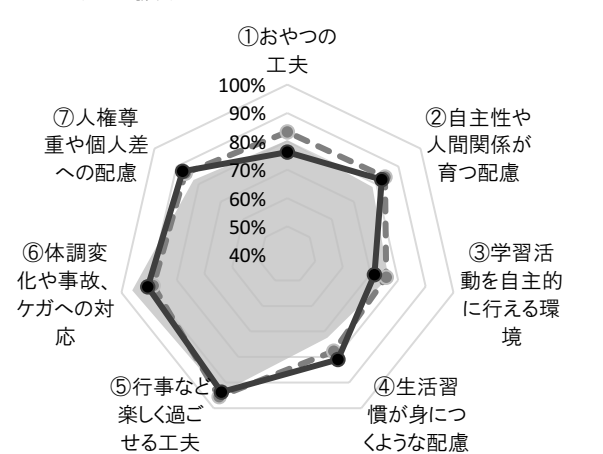
利用しているクラブ組織と運営について



サービス提供の手順について

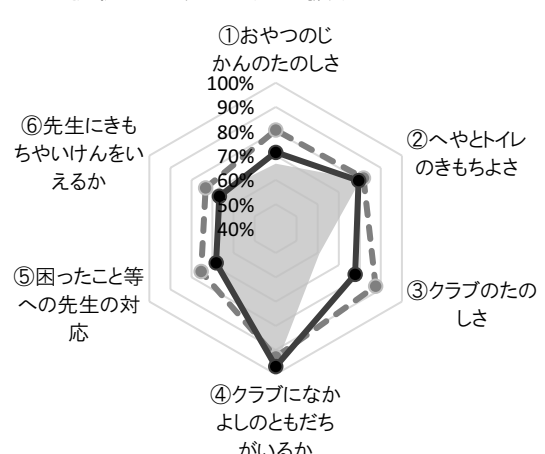


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

東野小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	社会福祉法人 浦安市社会福祉協議会						
クラブの所在地	浦安市東野一丁目7番3号						
クラブの連絡先	電話	047-304-1880	F A X	047-304-1880			
当該クラブの運営開始日	平成 22年 4月 1日						
開設場所	小学校校舎内						
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)	定 員	198人		利用者数	109人		
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	10人	うち、男性	1人	うち、女性	9人
		有資格者数	保育士	1人	幼稚園 教諭	1人	幼稚園以 外の教諭
	非常勤	職員数	13人	うち、男性	1人	うち、女性	12人
		有資格者数	保育士	0人	幼稚園 教諭	1人	幼稚園以 外の教諭

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>子どもは地域の宝であるという認識のもと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1人ひとりが主役となる場 ○ 異年齢児による生活・遊びを通し、社会性・自主性を育てる場 ○ 安心して楽しく過ごせる場 <p>この3つをテーマに掲げ、地域や保護者の皆様のご理解やご協力を得ながら運営しています。</p>
-----------------------	---

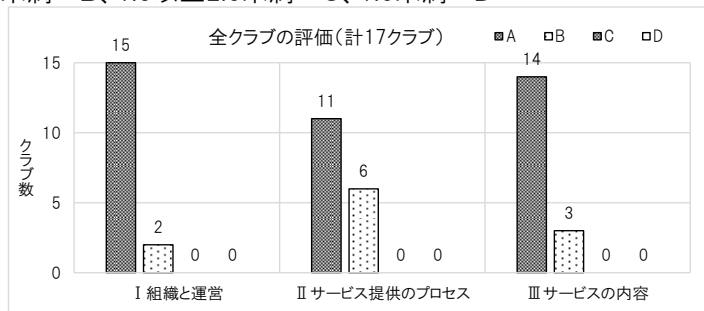
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
I ・ 組 織 と 運 営	1 運営	<p>富岡育成クラブと子ども教室で、支援員・パートナーの交流ができることを生かし、支援員の資質の向上に努めている。</p> <p>また、昨年度まで合同イベントを行っていたが、合同での開催はできなかったため、児童が喜んだイベントを別施設でも行うなど、コロナ禍でも楽しめる取り組みを考え、意見交換を行っている。</p> <p>ミーティング等で、今まで起きた事例を検討し、支援員会議などで話し合い、サービス向上に努めている。</p>	<p>運営指針の理解とこれからの育成クラブのあり方について検討し、内容を支援員で共通理解できるよう取り組んでいるが支援員の経験などによって捉え方が異なることも多く、同じ方向を向く難しさや、言葉の伝わり方の難しさを感じており、ミーティングや、グループワークを増やしより風通しのいい関係を築きたい。</p> <p>危機管理では、感染防止策を行っても足りないのではないかと不安感がある。</p> <p>新しい生活を踏まえたマニュアル作りの必要性を感じている。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
II ・ サ ー ビ ス の 提 供 の 内 容	1 利用希望者への対応	<p>児童や各家庭の状況を正しく理解し、臨機応変な対応もできるようミーティングを多く持っている。また、育成クラブの対応についても理解していただけるように、話をする機会を多く持ち、児童の様子を共有できるようにしている。</p> <p>全体だけでなくクラスミーティングを行い、児童の体調や気持ちの変化など細かなことも共有するよう心掛けている。</p>	<p>日々の生活で感染防止策と子どもたちの楽しさを両立させる難しさを感じている。</p> <p>家庭や学校の環境が変わったことで、児童も落ち着かない様子や、今までより小さなことでトラブルになりやすく、相手のことを思いやれる気持ちより、自分の主張が大きくなっている様子が見られる。子どもたちの発散できる場所や夢中になれることを増やせるよう、支援員で話し合いをする時間を設け、子どもたちの過ごしやすさを考えていきたい。</p> <p>富岡育成クラブと意見交換ができることで見えない部分を伝え合うこともできるため、今後も継続していきたいと感じている。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III ・ サ ー ビ ス の 内 容	1 基本原則	<p>新しい生活が求められ、先が分からない中で、児童・家庭の最善を考えて育成を行ってきた。</p> <p>日々の生活や、イベントの開催のあり方、児童の様子(周りに当たる、落ち着きがない、過度な関わりを求めるなど)を支援員で話し合う時間を多く持ち、より良い生活ができるよう心がけている。</p>	<p>おやつ時間の感染対策を行いながら楽しく過ごすことの難しさを感じているため、生活の流れの見直しを行っている。</p> <p>児童の様子も見ながら試し、改善することを繰り返している。</p> <p>今年度は加配の有無に限らず、配慮の必要な児童が多く、個性も様々で、日々迷い、試すことを繰り返している。</p> <p>定期的な専門家の助言や、子ども発達センターやまなびサポート等との連携やケース会議を希望したい。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆ 運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II サービス提供のプロセス	A
III サービスの内容	A

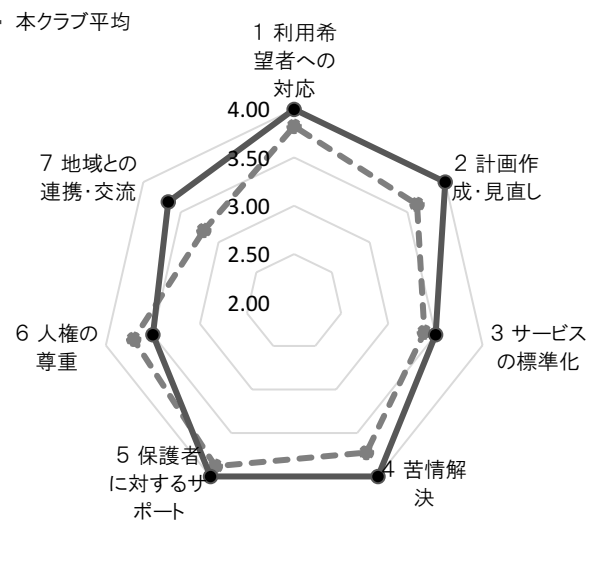
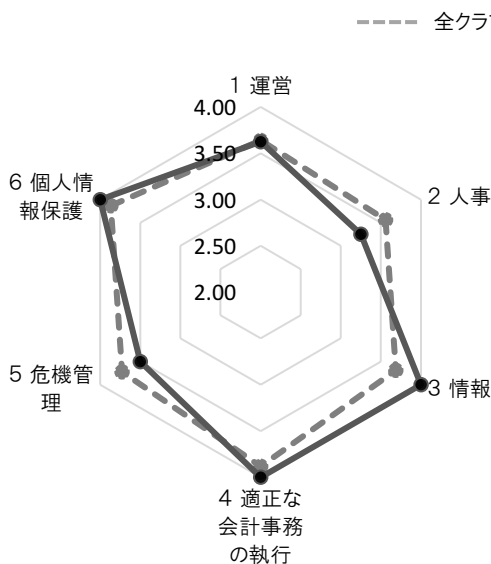


児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

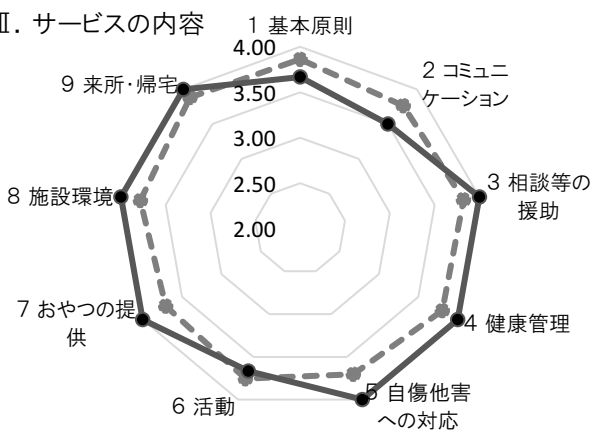
- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価：4＝優れた取り組みができています、3＝おおむねできている、2＝あまりできていない、1＝まったくできていない

I. 組織と運営

II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

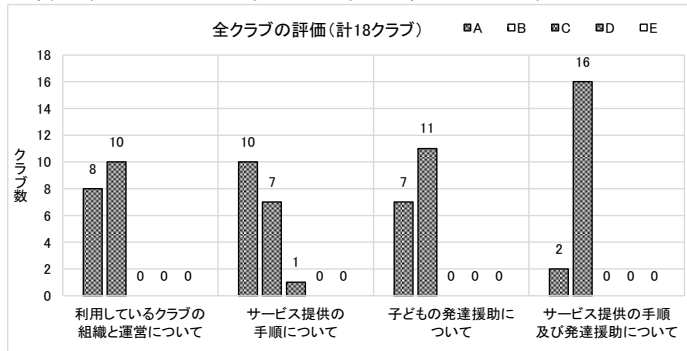


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B
	サービス提供の手順について	A
	子どもの発達援助について	B
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B

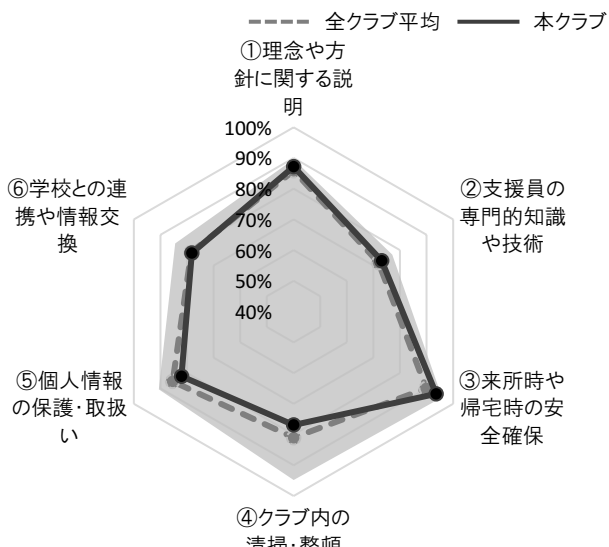


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

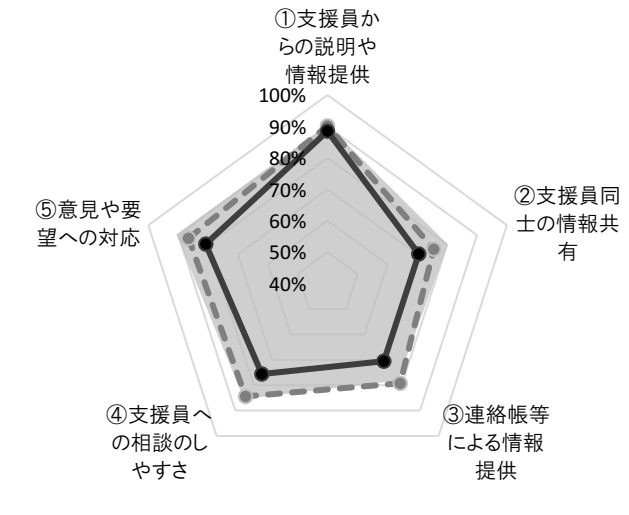
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

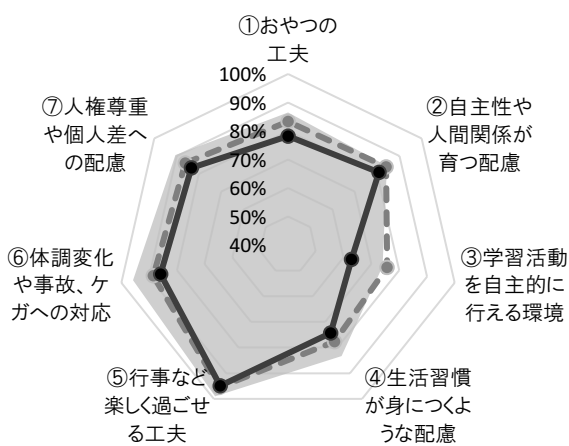


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

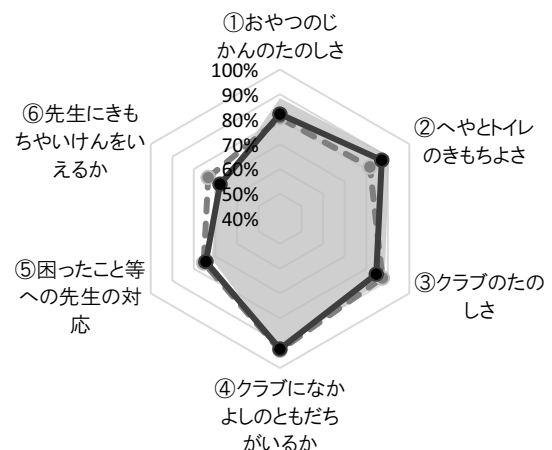


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

評価結果

令和2年度

入船小学校地区児童育成クラブ

◆クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	社会福祉法人わかみや福祉会						
クラブの所在地	浦安市入船三丁目66番1号						
クラブの連絡先	電話	047-352-1415	F A X	047-352-1415			
当該クラブの運営開始日	平成 23年 4月 1日						
開設場所	小学校校舎内／小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (令和3年1月末現在)	定 員	118人		利用者数	148人		
職員数 (令和3年1月末現在)	常勤	職員数	5人	うち、男性	3人	うち、女性	2人
		有資格者数	保育士	1人	幼稚園 教諭	1人	幼稚園以 外の教諭
	非常勤	職員数	12人	うち、男性	0人	うち、女性	12人
		有資格者数	保育士	0人	幼稚園 教諭	0人	幼稚園以 外の教諭

◆運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と職員が力を合わせ、児童により良い環境を作る ・保護者が安心、安全を感じられるよう支援の充実を目指す ・子育て相談機関としての役割を自覚し、地域に開かれたうらっこクラブの運営を目指す
-----------------------	---

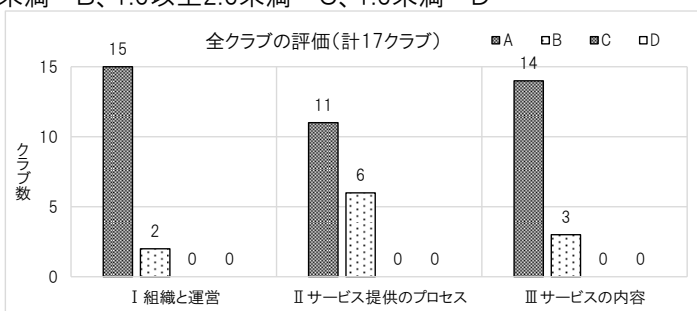
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取り組み 今後の展望
Ⅰ 組織と運営	1 運営	保育園運営実績も踏まえながら育成クラブ、放課後子ども教室運営に取り組んでいる。児童の自主性、主体性を育み、児童自らが考え、覚えたことを実践できるように支援をしている。小学校含む地域、保護者との連携を重視し、「子育て」ができる環境づくりに努めている。	児童の放課後の時間をより良い時間にするため、育成クラブと放課後子ども教室が連携して支援を行っているが、今年度は児童室確保のため、放課後子ども教室が開所出来ず、育成クラブの児童のみの支援となってしまった。放課後子ども教室職員が育成クラブに勤務することで、育成クラブの児童には様々な活動や遊びを提供することができたが、次年度以降はすべての小学生の居場所となるよう支援の内容の充実、職員の資質向上に努めていく。
	2 人事		
	3 情報		
	4 適正な会計事務の執行		
	5 危機管理		
	6 個人情報保護		
Ⅱ サービスの提供	1 利用希望者への対応	利用希望者の方には、随時見学や相談の対応・説明を行っている。出来るだけ利用者のニーズに応えられるよう小学校や同法人の保育園と情報を共有しながら、支援の質を高められるよう努力している。また、子どもの人権を尊重し、一人ひとりの思いを受け止め、愛情を持った関わりを行っている。 支援が必要な子どもや家庭環境が複雑で日々の生活に影響している子どもには、小学校と市役所青少年課と連携をとり、虐待等の早期発見や問題解決、心のケアに努めている。	新しい生活様式になっていく中で、放課後の過ごし方や育成クラブの利用の仕方とも変わってきている。保護者にも育成クラブと放課後子ども教室の両方の利用をこれまで以上に促し、子どもをただ預けるだけでなく、子どものニーズに合った過ごし方ができるように支援していく。 地域と関わる行事やイベントに関して、出来る範囲で実施できるよう検討していく。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 保護者に対するサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
Ⅲ サービスの内容	1 基本原則	子ども一人ひとりの自主性を尊重しながら、計画や見通しを持って遊びや行事、活動に取り組んでいる。気になる児童や支援児には、学校との連携を密にし、その子に添った対応をしている。職員の得意分野を活かし、子どもたちに様々な遊び、行事を提供し、かつ子ども達が自主的に参加し取り組めるよう配慮している。	コロナ禍における新しい生活様式のため、家庭でも様々な問題が起きており、今年度は家庭支援センターや児童相談所とのやり取りもあったため、常に家庭や子どもたちの様子がわかるような支援を心掛けた。在宅ワークや一人帰りのためお迎えに保護者が来ない等、保護者と直接話す機会も減っているため、情報発信や相談等の受け入れがしっかりとできるように今まで以上に子どもたちや家庭に配慮していきたい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

◆運営事業者による自己評価結果

児童育成クラブの自己評価(大項目評価)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:大項目平均値 3.5以上=A、2.5以上3.5未満=B、1.5以上2.5未満=C、1.5未満=D

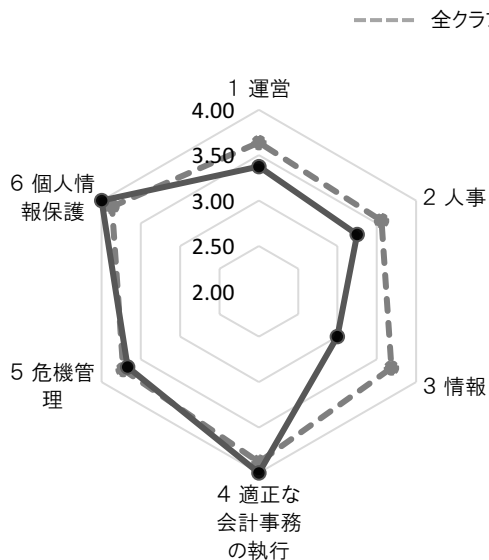
評価項目 (大項目)	令和2年度
	令和元年度
I 組織と運営	A
II. サービス提供のプロセス	B
III. サービスの内容	B



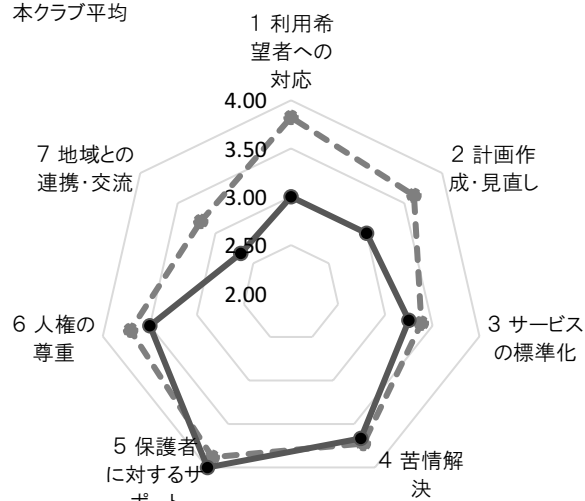
児童育成クラブの自己評価(中項目評価)

- ・各クラブの中項目の平均値と全クラブの平均値をグラフ化しています。
- ・平均値と比べることで、運営面やサービス面における本クラブの強みや弱みを把握します。
- ・評価:4=優れた取り組みができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない

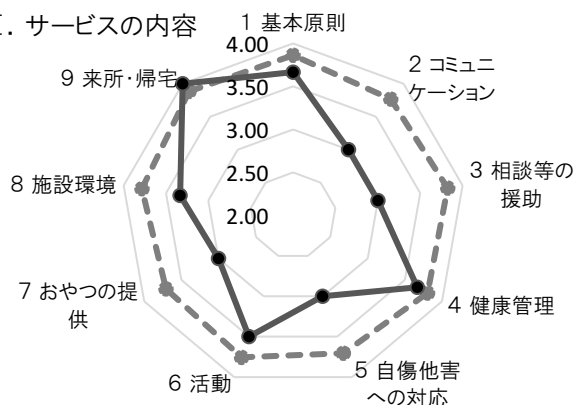
I. 組織と運営



II. サービス提供のプロセス



III. サービスの内容

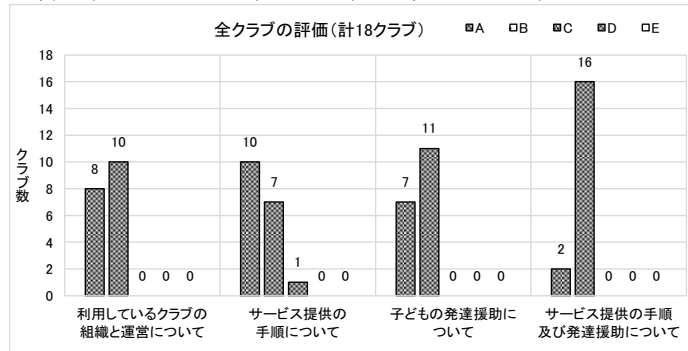


◆利用者による評価結果

児童育成クラブの利用者調査(テーマ別)

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		令和2年度
		令和元年度
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A
	サービス提供の手順について	B
	子どもの発達援助について	B
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B

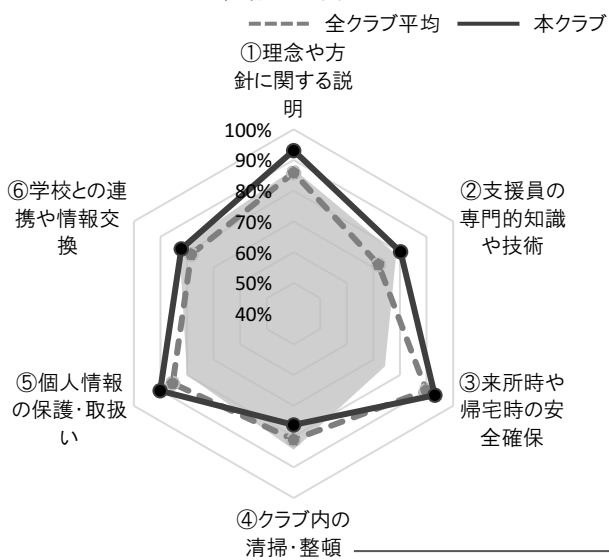


児童育成クラブの利用者調査(設問別)

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、前年度における本クラブの回答(はいの割合)を示しています。

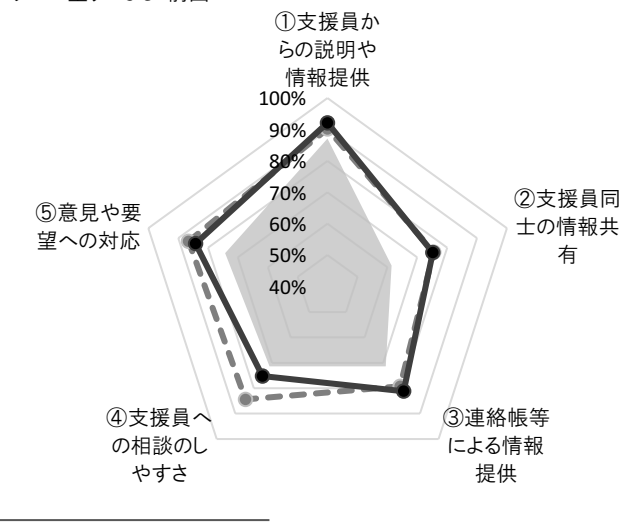
I 保護者の回答

利用しているクラブ組織と運営について

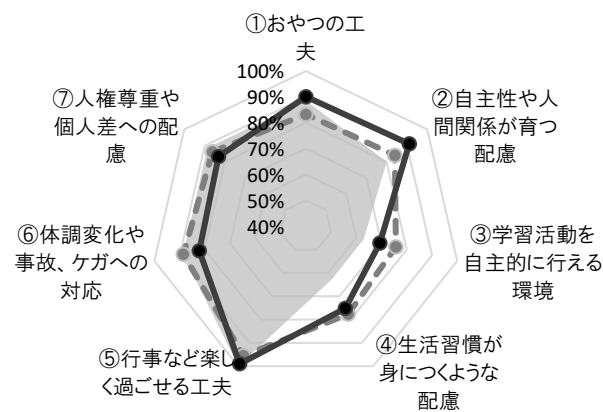


サービス提供の手順について

グレー塗りつぶし: 前回

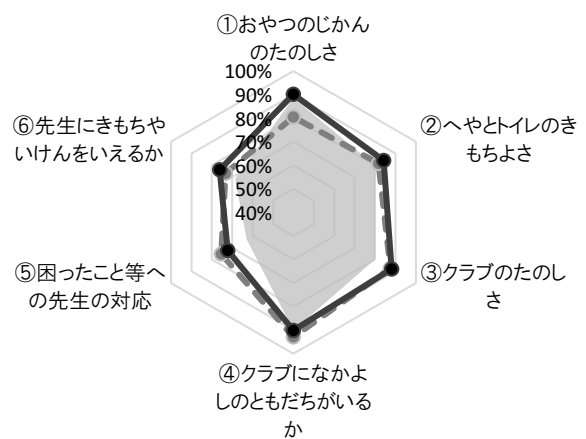


子どもの発達援助について



II 児童の回答

サービス提供の手順及び発達援助について



④クラブになかよしのともだちがいるかの前回データには今回のデータを入れていません。

資料

令和2年度 事業者自己評価シート

I. 組織と運営

■それぞれの「評価の視点」において、「自己評価」の欄に以下の4段階での記入をお願いします。

自己評価の定義	
4 : 優れた取組ができている	3 : おおむねできている
2 : あまりできていない	1 : まったくできていない

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 運営	① 放課後児童クラブ運営指針が職員に周知され、すべての職員がそれを理解し、実現に向けて取り組んでいる。		
	② 重要な決定事項について、関係する職員や保護者等に説明する場があり、十分に伝えている。		
	③ 職員が意見を言ったり、提案を出しやすい雰囲気をつくるための工夫がある。		
	④ 児童から出された意見については必ず検討し、その対応について児童や保護者への説明や報告がなされている。		
	⑤ 利用者満足度調査等を実施し、結果をもとに改善策をつくり、事業計画に活かしている。		
	⑥ 全職員でサービス改善について取り組んでいる。		
	⑦ 市に対する活動報告を適切に行い、市との情報共有に努めている。		
	⑧ 学校との連携に積極的であり、適切な情報交換を行っている。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
2 人事	① 子どもの発達の特徴や子どもとの関わり方、支援員の役割など、職員研修を行い、学んだ内容を職員間で共有している。		
	② 責任者は、面談や日々の会話等により、職員が抱えている課題や業務に対する要望等を把握し、対策を講じている。		
	③ 職員の雇用は、書類審査・面接等により適正に行い、運営事業者の理念等を理解している者を採用している。		
	④ 職員が自らの資質向上に向けた業務の目標を定めているとともに、責任者は定期的に職員のため目標の達成度を確認し評価をしている。		
3 情報	① 職員会議や日常的な引継ぎなど、指示・連絡・報告・相談の体制が確立しており、機能している。		
	② 「おたより」の発行や連絡帳などを通じて、児童の様子を保護者に定期的・具体的に伝えている。		
	③ サービス提供やクラブ運営の情報を、求めに応じて公開する仕組みがある。		
4 適正な会計事務の執行	① 現金の取り扱いが発生する場合は、複数チェック体制が構築され、遵守されている。		
	② 当施設に関する経費等は、他の事業費とは別に管理され、帳簿類も明確に区分されている。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
5 危機管理	① 災害や緊急時の対応についてマニュアルを整備し、職員に周知するとともに、定期的な避難訓練を実施している。		
	② 事故防止のため、施設や設備の安全性について点検を実施し、危険箇所に対し速やかに対処している。		
	③ クラブにおいて発生したケガや急病に対処するために、応急手当やAED操作に関する職員研修を行っている。		
	④ 児童に対する手洗いの徹底や、嘔吐物の処理方法のルール化など、感染症の拡大防止に努めている。		
	⑤ 食品や食器の取り扱いに注意し、食中毒等の防止に努めている。		
	⑥ ケガや事故の情報を記録し、再発防止のための対策を行っている。		
6 個人情報保護	① 職員への研修は、児童および保護者の個人情報の取り扱い、守秘義務に関する内容を含めて行っている。		
	② 個人情報(名簿等)が流出しないよう、具体的な取り組みを行っている。		
	③ 個人情報の利用目的を、児童や保護者に明示している。		
	④ 面談は個室で行うなど、プライバシーの保護に配慮している。		

II. サービス提供のプロセス

■それぞれの「評価の視点」において、「自己評価」の欄に以下の4段階での記入をお願いします。

自己評価の定義	4：優れた取組ができている	3：おおむねできている
	2：あまりできていない	1：まったくできていない

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 利用希望者への対応	① 入会説明会や見学は、なるべく意向に沿って受け入れ、見学者に対して、サービスの内容や規則について、正確に、わかりやすく説明するよう努めている。		
	② 入会のしおり等は読みやすく、わかりやすいものを作成している。		
2 計画作成・見直し	① 年間の支援計画は、子どもや保護者の要望、関係者の意見を取り入れて作成している。		
	② 年間の支援計画は、運営協議会や保護者会等を通じて保護者への説明を行い、同意を得ている。		
	③ 定期的に、支援計画の見直しについて検討している。		
3 サービスの標準化	① 個々のサービスについて、標準的な実施方法を定め、マニュアルなどを作成している。		
	② 新人職員に対し、業務内容を学ぶ研修を実施している。		
	③ 他施設との見学会や勉強会の実施などにより、先進的な取り組みを導入し、施設全体の底上げを図っている。		
	④ 責任者は、日頃の職員の児童や保護者に対する接し方などを把握し、アドバイスを行うなど、職員による対応のばらつきがないように心がけている。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
4 苦情解決	① 苦情を受け付ける仕組みや書式が整備されており、職員や児童・保護者に周知され、サービスの改善に活用されている。		
	② 苦情解決にあたっては、直ちに会議等で対応を検討し、迅速な解決を心掛けている。		
	③ 苦情の申し出から解決まで、一連の流れが記録され、情報として蓄積・共有化できる仕組みができており、機能している。		
5 対するサポート 保護者に	① 自宅での生活を含め、子育ての不安や悩みなど、保護者からの相談や面談に応じる体制を整えている。		
6 人権の尊重	① 職員から児童への体罰防止マニュアルの作成や研修実施など、虐待防止のための具体的な仕組みがあり、機能している。		
	② 家庭等での虐待の兆候を感じ取るなど、児童に対する虐待の早期発見やその後の見守りに努めている。		
7 地域との連携・交流	① 地域行事への参加など、施設外における活動の範囲を広げるための取り組みを行っている。		
	② ボランティア・実習生の受け入れにあたり、担当者を配置するとともに、ボランティア・実習生に対して必要な事前説明をしている。		
	③ それぞれの関係諸機関・団体とのかかわり方を明確にし、それぞれに応じた連携を図るための定期的・具体的な取り組みを行っている。		

Ⅲ. サービスの内容

■それぞれの「評価の視点」において、「自己評価」の欄に以下の4段階での記入をお願いします。

自己評価の定義	
4：優れた取組ができている	3：おおむねできている
2：あまりできていない	1：まったくできていない

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 基本原則	① 児童の人格や意思を尊重し、主体的に活動できるよう援助している。		
	② 児童の発達の特徴や発達過程を理解し、心身の状態に応じた支援方法を検討し、支援している。		
	③ 業務の実施状況に関する日誌(出欠記録や業務日誌等)等、サービスの記録を行っている。		
2 コミュニケーション	① 児童の自己決定や意見の表明を促し、それを受け止めるように心がけている。		
	② 児童の人格、価値観等を尊重したマナー、言葉づかいを心がけている。		
3 相談等の援助	① 児童が相談したい時にはその方法や相手を選択して相談することができるなど、対応する方法が定められている。		
	② 日頃から児童の行動特性や生活リズム、興味・嗜好、対人関係、服薬の状況などを観察・記録し、その結果を職員が共有し、支援に生かしている。		
4 健康管理	① 保護者との連携のもと、服薬管理が適切に行われている。		
	② 児童のケガや急病が発生した場合は速やかに対処し、保護者にも報告している。		
	③ アレルギー疾患のある児童に対する食品への配慮や、アナフィラキシーショック発症時の対処法について、全職員が情報を共有し適切に対応している。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などの危険な行為に対して、児童の心身を傷つけずに対応するための具体的な方法が定められている。		
	② 必要に応じて専門家の協力を得て、支援方法について工夫を行っている。		
6 活動	① 自然との触れ合いや社会体験など、多様な活動が用意されており、児童が選んで参加することができるようになっている。		
	② 児童が自由に遊べる時間が確保されている。		
	③ 宿題や自習などの学習活動を自主的に行える環境を整えている。		
	④ 遊びや生活を通して、豊かな人間関係が育つような配慮を行っている。		
	⑤ 児童が性差や国籍、障がいの有無、考え方の違いなどにとらわれず、互いに認め合い、尊重し合えるよう支援している。		
	⑥ 障がいのある児童が遊びや活動に参加しやすいように支援している。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
7 おやつ の提供	① 味、温度、盛り付け等の配慮、季節感を取り入れた献立など、質の高いおやつを提供している。		
	② 児童の嗜好や成長に基づき、栄養面や活力面から必要とされるおやつを提供している。		
	③ 行事や季節を織り込み、児童がおやつの時間を楽しく過ごせるように工夫している。		
8 施設環境	① 児童が落ち着いて快適に過ごせるように、音や光、室温、換気、くつろげる場所の整備等に配慮している。		
	② 部屋やトイレ、手洗い場などについて、清掃・整理された状態を維持している。		
	③ 児童が安全に活動できるように、設備・備品に配慮している。		
9 来所・ 帰宅	① 児童ひとりでの来所や帰宅にあたって、安全面での指導を行っている。		

総合評価と事業プロフィール

必ずご記入ください。空欄の場合には、再提出をお願いすることがあります。

<p>評価項目(大項目)</p>	<p>事業者の強み、 アピールしたい取り組み</p> <p>(事業者のサービスとして「良いと思うこと」、「これからも続けていきたいこと」など、具体的な取り組みの事実をあげながら記入してください。)</p>	<p>サービス改善に向けた取り組み、 今後の展望</p> <p>(サービスを提供するにあたって「改善が必要だ」ということを記入してください。また、改善に向けた具体的な取り組みがあれば書き添えてください。)</p>
<p>I 組織と運営</p> <p>P1～P3 の設問を参考にして 回答してください。</p>		
<p>II サービス提供のプロセス</p> <p>P4～P5 の設問を参考にして 回答してください。</p>		
<p>III サービスの内容</p> <p>P6～P8 の設問を参考にして 回答してください。</p>		

<p>評価シート作成日</p>	<p>令和 年 月 日</p>
<p>評価シートの作成方法 (いずれか1つ○印をつけてください。「3. その他」に○印をつけた事業者は具体的な方法もご記入ください。)</p>	<p>1. 幹部職員および一般職員による評価チームをつくり、自己評価を行った</p> <p>2. 通常の職員会議等の場を活用し、自己評価を行った</p> <p>3. その他(具体的に:)</p>

児童育成クラブの名称					
事業者の名称					
事業者の所在地					
事業者の連絡先		電話	FAX		
		E-mail			
貴法人が当該クラブの運営を開始した日		昭和／平成／令和 年 月 日			
開設場所(○印を付けてください。複数回答可)		小学校校舎内・小学校敷地内・小学校敷地外・その他()			
定員／現在の利用者数(令和3年1月末現在)		定員 人、利用者数 人			
職員数 (令和3年1月末現在) ※常勤: 週5日勤務、 かつ、30時間以上 ※非常勤: 常勤職員以外	常勤	職員数 人(うち、男性 人、女性 人)			
		有資格者数	うち	放課後児童支援員……()人	
			うち	保育士……()人	幼稚園教諭……()人
				幼稚園以外の教諭……()人	その他() ……()人
	非常勤	職員数 人(うち、男性 人、女性 人)			
		有資格者数	うち	放課後児童支援員……()人	
			うち	保育士……()人	幼稚園教諭……()人
				幼稚園以外の教諭……()人	その他() ……()人
サービスの提供にあたって大切にしていること					

「利用者調査ご協力のお願 い」の配付数	
------------------------	--

○「利用者調査ご協力のお願
い」は、原則として全員に配付してください。

事業者調査票の記入者	氏名:
------------	-----

○記入内容等について、お問合せをさせていただくことがあります。

令和2年度 浦安市児童育成クラブ利用者調査

お子さんが利用しているクラブについておたずねします。
次の質問について、あなたの気持ちに近いものを1つ選び、○をつけてください。

<利用しているクラブの組織と運営について>

質 問			はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 1	クラブの理念や方針について、保護者に十分な説明や情報提供がありましたか。	⇒	1	2	3
Q 2	支援員は、育成支援に関する専門的知識や技術を有していると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 3	出席確認や不審者対応など、来所時や帰宅時の安全確保に向けた取組みがなされていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 4	クラブ内の部屋について清掃・整頓が行き届いていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 5	支援員は、お子さんや保護者の個人情報の保護・取扱いに注意を払っていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 6	学校との連携や情報交換が適切に行われていると思いますか。	⇒	1	2	3

Q7 Q1～Q6で、「いいえ」と回答した項目について、質問番号とその理由を記載してください。

(例: Q4 いつも散らかっているから)(任意回答)

()

<サービス提供の手順について>

質 問			はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 8	支援員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。	⇒	1	2	3
Q 9	あなたは、支援員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 10	連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。	⇒	1	2	3
Q 11	お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを支援員に相談しやすいですか。	⇒	1	2	3
Q 12	クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。	⇒	1	2	3

Q13 Q8～Q12で、「いいえ」と回答した項目について、質問番号とその理由を記載してください。

(例:Q4 いつも散らかっているから)(任意回答)

()

<子どもの発達援助について>

質問			はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 14	支援員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 15	支援員は、遊びや生活を通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 16	支援員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に行える環境を整えていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 17	支援員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 18	季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 19	クラブにおいての発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 20	支援員は、子どもの人権を尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。	⇒	1	2	3

Q21 Q14～Q20で、「いいえ」と回答した項目について、質問番号とその理由を記載してください。

(例:Q4 いつも散らかっているから)(任意回答)

()

